

聖徒の道

九五八年三月十七日第三種郵便物
認可、毎月一回一日発行
第七卷第十二号 一九六三年十一月
日発行

SEITO-NO-MICHI



11 1963

末日聖徒イエス・キリスト教会

In this Issue

A Prophet's Voice : President David O. McKay...662
President's Message: The History. "Oath and covenant" of the priesthood President Dwayne N. Andersen...665
Temple Excursion Plan	668
Temple excursion plan	Brother Masao Watabe
Temple project	Elder Fillmore
President and sister Andersens' special Message	
There is much joy when received temple ordinances ...	sister Chiyo Oko
The Time when free advice is given freely	680
New life	sister Toyoko Kobayashi...682
Remembered loving brother who had passed away	685
Aaronic Priesthood: Branch Teaching Lesson	694
Church Articles	695
Genealogy Guide (for Dec.)	
Sanday School Guide for J. S. S. (for Dec.)	
Sunday School Guide (for Dec.)	
MIA Leader (for Dec.)	
Mission Mother's Message	707
Relief Society Lessons	711
Literature—Social Science—Visiting Teacher Message—Wark Meeting	
Mission Headquarters News	690
Branch News	686
GOSPEL IN ENGLISH	Sister Burkholder...729

聖徒の道

第七卷
第十一号

一九六三年十一月号

日の光榮には三種の天界、すなわち三種の階級あり。而してその最も高きものを得んために、人はこの神権の位（すなわち新しく且つ永遠の結婚誓約を言う）に入らざるべからず。

予言者のことば

デゼレト工業の二十五年祭に際して

大管長 デビド・O・マッケイ……662

伝道部長のメッセージ

神権の誓詞と誓約の歴史

ダワエン・N・アンダーセン……665

特集

「神殿行きの計画」

テンブルエクスカルジョン・プラン……渡部 正雄……668

神殿プロジェクト……ファイルモア長老……672

伝道部長夫妻のとくべつメッセージ……674

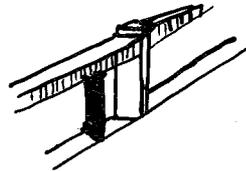
永遠なる結婚の契約……676

神殿の儀式を受けた喜び……尾古 ちよ……678

自由な助言を自由に与える時

それはどのような時であるか

680



投稿

新しき生命……………小林都代子 682
 愛する兄弟の死に思う……………三の宮「聖徒の道」委員 685

アロン神権ブランチ・ティーチング・レッスン 十二月用…………… 694

メルケゼゼク神権 第一長老定員会…………… 695
 第二長老定員会…………… 696

系図の道しるべ(十二月用)…………… 697

子供の日曜学校ガイド(十二月用)…………… 699

日曜学校ガイド(十二月用)…………… 702

M I A リーダー(十二月用)…………… 703

伝道部扶助協会長メッセージ……………ペギー・ヒュイシ・アンダーセン…………… 707

シヨセフ・スミスの生涯 (扶助協会文学用レッスン)…………… 711

扶助協会レッスン…………… 718

伝道部だより…………… 690

支部だより…………… 686

読者だより…………… 692

編集だより…………… 628

英会話テキスト…………… 729

今月の表紙

ジェレのド兄弟はシーレム山へ行って
 岩から十六の小さな石を熔し出した。

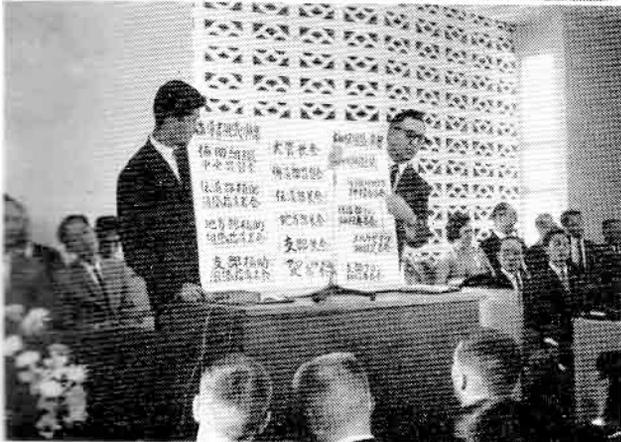
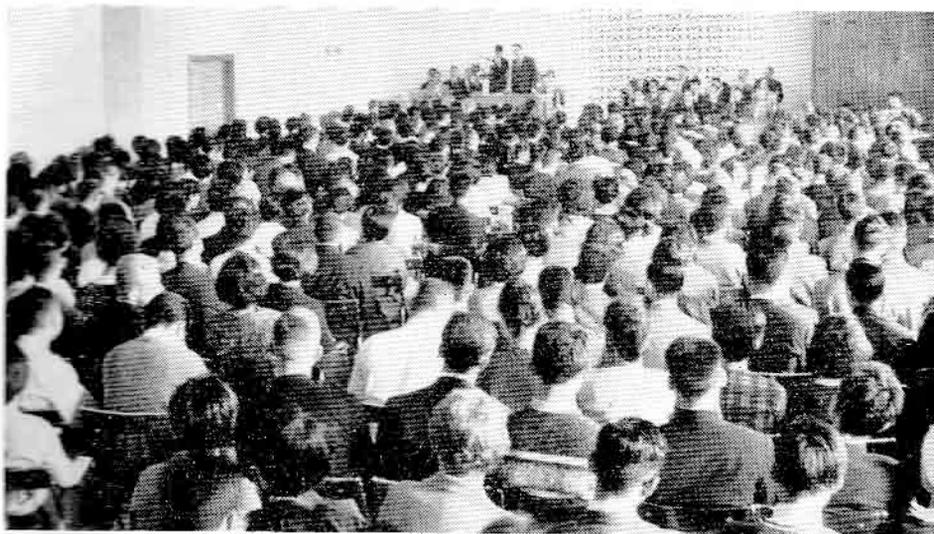
参考聖句

- イテル 1 : 33 ~ 34
 2 : 6, 8 ~ 12
 3 : 1 ~ 19
 6 : 3



東中央地方部大会

東中央地方大会が9月28日29日、東京都中野区江古田にある東京北支部教会堂で開かれた。尊い勤労奉仕宣教師の力で建られた会場に満員立錫の余地もないほど会員が詰めかけ、盛会に終わった。



↑
満員の会場

←アンダーセン伝道部長の話



↑ 横浜支部コーラス



この教会堂を建築したカトリック長老の話 →



山形支部

新教会堂を整備し、静かな環境
のもとで集会が開かれるよう
になりました。

(支部だより参照)

↑
きれいに整備なった教会堂



作業中の会員たち →



予言者のことは

「デザレト工業の

二十五年祭に

際して」

大管長

デビッド・O・マッケイ

千八百九十七年私が第一回の伝道に行
った際、ある三私はスコットランドの
メー、ンゼにある小さな、あまり気の進
まない地域でトラクトをくばっていた。
私がある家の戸口へ寄って戸を叩くと、
それにこたえてみすばらしい身なりをし

た、頬のこけたさんばら髪のやつれた一人の女が私の前に出て来た。私がさし出したトラクトを受けとったとき、この女はやや荒々しい声で「これでわたしにパンが買えるというのかい」と言った。そこで私が、それでパンが買えるばかりでなくもつとはるかに貴いものまで買えると話しはじめたとき、この女とおなじようにやつれた栄養不良の男が出てきて「それや何だ」と言った。すると女はトラクトをその男にわたして言った「福音の行商人さ。戸をしめな」。

その瞬間から私は、イエス・キリストの教会は人間の物質上の救いに心を寄せる、また心を寄せなくてはならないのだということとを前より一属強く実感した。そして、人間と神とに対して苦い感情をもっているこの夫婦はどうして福音のこぼを受ける心の態度をもっていないと感じてそこから立ち去った。この夫婦は物質上の助けを必要としていたが、私の知るかぎりでは、その助けを与えることのできる組織はスターリングにはなかった。

私たちの兄弟の福祉を心から心配するということは、回復された教会の中にも存在している一つの要素である。福祉計画の基礎は予言者ジョセフ・スミスによってわが教会員に与えられ、その精神はわたしたちの開拓者の時代とすこしも異っていない。それはヒーパー・J・グラント大管長が教会を管理して居られた間に開かれた千九百三十六年四月の総大会で「教会の福祉計画」として再発表された。

この福祉計画の主要目的というのは、教会員をして「自力更生」させるにあり、依頼を独立に、不精と怠情を儉約と働らきにかえるにある。

衣食住を必要としている人たちに、ただこれらのものを供給するというだけのことなら、完全な組織をもっている私たちの教会の、教会内部の配置と神権定員会と扶助協会とを一目見ればすぐわかるように、それは何もむづかしいことではない。

教会のいろいろな組織に属している会員の福祉に気をつけるということは、これら各々の組織がもつべき責任である。それで金銭上の報酬なしで行なわれるこの教会の義務を遂行するに当って各家族の霊の状態も財政の状態も共に監督のところへ知らされ、監督はその義務に従ってその家族の必要とするような助力を与えるのである。

予言者ジョセフ・スミスはこれまでいつも、神は怠け者をお助けにはならない、怠け者の居る所は、神の教会の中にはない、という断言をくり返し私たちに告げている。これは教会員のすべてについて言ったのであるが、教会員の中には身体障害者たちもあつた。これらの忠実な会員は、その額に汗をして各自のパンをかせぐ絶好の機会と、各自の生計を管なむとき頭を高くもたげる（誇りを以てする）機会を与えられるよう祈っていた。

今から二十五年以前、デゼレト工業がその緒についたことによつてこれらの人の必要とするところが満たされた。これらの工業はまた、年をとりすぎているので有利な雇用はできないと工業界が言っていた多くの教会員にできる仕事をもたらした。

個人の創意を奪う制度や政府や組織は健全な原理の上に立っているとは言えない。それであるから、何ら返しを要求しないで個人に助けを与える「ほどこし」の制度は、怠けぐせを次第に教えこみ、自給自足をとり去る傾向がある。

デゼレト工業においては、個人個人の労働は労働のできる能力に適するようになってゐる。全世界で最も幸福な人々がここに居ることを私は確信している。彼らは今働らいている、今生産してゐる、そして彼らはただで物をもらつてゐるのではない。

給付としてただで物を与えることは、わが教会の根本の教えに反している。デゼレト工業の眞の目的は各個人に独立を生じさせ、自給自足をさせ、そして怠惰を節儉と生産にかえることである。

デゼレト工業は、わが教会が個人の救いのために立てられたと同じように、個人の利益のために立てられた。このプログラムは次の各項目に従つて運営されている。

(一) 必要な人々に物質上の援助を与えること。

(二) これらの人々に自主独立の意識を生じさせること。

(三) 教会員がどのような働らきをするときもすべて「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわちわたしにしたのである」(マタイによる福音書二十五〇四十)という聖句を心におぼえて、キリストによる兄弟同志のまことの精神を教会員の間にも強めること。

四以上合計して、「われわれを神のまことのしもべとするために」に、与える者にも受ける者にも共にもますます霊の力を与えること。

着るもの、わずかしかな人々に着るものを与え、食卓の上にならずかしかのせるもののない人々に豊かに食を与え、働らきたくても働らく仕事がないために絶望と闘つてゐる人々に活動を与えるのはよいことであるが、つまるところ、デゼレト工業から生ずる最大の祝福は霊にかかわる祝福である。

「教義と聖約」には次のようにしるしてある。すなわち、

「この故に、われ誠に汝らに告ぐ。われにかかわるすべては靈のことなり。われは何時たりとも、いまだかつて俗世の事にかかわる律法を与えたることなし。如何なる人にも、人の子らにも、わが造りし汝らの先祖アダムにも与えたることなし。」

「見よ、われはアダムに自ら自由意志を行ふことを許したり。われは彼に誠命を与えしが、俗世にかかわる誠命を与えたることなし。わが誠命は霊にかかわるものなればなり。わが誠命は肉體のものにも俗世のものにもあらず、また肉欲のものにも情欲のものにもあらず」(「教義と聖約」二十九〇三十四—三十五参照)。

受けるよりも与えることの方にもっと霊の力があらわれてゐる。最も大きな靈の祝福はほかの人を助けることから生ずる。もしもあなたがみじめになりたいと思ふなら、ただ兄弟に対してにくしみを抱け、また人をもくみたく思ふなら、ただあなたの兄弟を侮辱せよ。しかし、もしも幸福になりたいと思ふなら、親切を施してほかの者を幸福にせよ。

われわれはまた今世の中をもっと良くするために何かをしてゐるということを実感している。わが教会は秩序と知恵とを以て互いに奉仕をする一つの仲立ちであつて、その創始者はキリストである。キリストは肉身を持つておられた間、兄弟愛と義しい生活とを身を以て示したもうた最も好い例であつた。

神権の誓詞と 誓約の歴史



伝道部長
ダワエン・N・アンダーセン

神権はこの地上で人が神の名に於て行動すべく神から与えられた権威と権能であります。それは人に与えられた神の王国の事をつかさどる権能であります。神からの権能なくして神権はなく、人は暗中模索の内に取り残されるのであります。神権そのものは永遠であります。何となればそれは神の権能を代表するものであり神は永遠であるからであります。

さて始めより在りし、この神権は、この世の終りにも在るものなり。(モーセの著六・七) 神権の歴史を最初から私たちの今日迄、辿って見ましよう。この情報の最上の出所(ソース)は、神権と教会制度の第一章に見られます。私はこれを次のように要約して見ましよう。

私たちの最初の偉いなる先祖であり又父であるアダムは墮落した後、福音及び完全な能力を持った聖なる神権及びその鍵と儀式を受けました。彼はこれらの祝福をその息子たちに結び固めました。神権のメッセラ迄の承継ぎ降下は教義と聖約百七章四十節から五十二

節迄にあります。それからノアが来ました。主はノアをその神権に按手聖任したまい、出て行きて、エノクに教えられし如く人の子らに主の福音を宣べよと、命じたまえり。(モーセの著八・一九) ノアはアダムと同じ神権の鎌を持っていました。ノアから神性なる権能は代々を通じてメルケゼデクに降下し、彼は、至高者の名に従って大祭司に聖任されました。メルケゼデクは神権をアブラハムに授けました。神権は同様にしてアブラハムからモーセに降下しました。(教義と聖約八四・六一一八) けれどもイスラエルの子孫がその心を頑固にし高度の律法に生きることが出来ませんでしたので主はメルケゼデク神権を取上げ只アロン神権だけをその民に残したのであります。(教義と聖約八四・二五、二六) この世的(物質的)なことをつかさどるアロン神権はバベツスマのヨハネの時迄この地上におかれたのであります。この神権の執行は、レビ族の神聖な権利でありました。大神権は全体としてイスラエルから取上げられましたが少数の人が特別な任務により部分的にメルケゼデクの神権を

受けて居りました。それは、エゼキエル、イザヤ、エライジャその他のような予言者であります。エライジャはキリスト以前の最後の神権の鍵を持った人でありました。それだから彼はジョセフ・スミスに福音を回復するに當つてその一部を担当したのであります。バプテスマのヨハネの伝道が恐らくユダヤ人の間でアロン神権の鍵を持ってゐた最後でありましょう。ですから彼も又、この神権時代に今日の回復の一部としてこの世に遣わされたのであります。

モルモン経の中にも予言者たちについて、いろいろ記され、又モルモン経時代の民の間にあつた神権に就て記録されてある事も又興味あることであります。キリストは復活してからアメリカ大陸に現れて十二使徒を選び、新しい世界の彼の教会をつかさどるやうに聖任したのであります(ニーフアイ第三書一・二・一)。

今日救い主が福音を完全な形でこの地上にもたらすべく来たり給うた時ら彼は神権の完全な権能をたずさえて来たのであります。過去のすべての神権時代の鍵は使徒たちに授けられたのであります。キリストが使徒たちに与えた権能は疑いの余地がありません。キリストが昇天して後、成期間教会は完全な組織を以て残りました。けれどもそれは長くありませんでした。或人々は誠命及び儀式に従ふことを拒み始めました。そして誤りか教会の中に這込んできたのであります。このよりに真の教義からの離脱はだんだん大きくなって全教会に広がりました。キリストの後約六百年たった時この福音の律法と儀式は完全に曲げられてしまつたのであります。そして権能又は神権は教会に存在しなくなつたのであります。人々は神権の永遠の誓約から離れ去り神権は彼らから取上げられてしまつたのであります。

地上に於ける人々は約紀元六百年から一八二九年迄、神権を持たなかつたのであります。一八二〇年に、父なる神とイエス・キリストは、暗黒を消散させて少年ジョセフ・スミスに現れこの末日の神権時代の神権の回復の道を備えました。一八二九年五月十五日、バプテスマのヨハネによつて、ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの頭上に神権が回復されました。バプテスマのヨハネは、時の絶

頂の時代にアロン神権の鍵を持つて居りました。一八二九年六月にキリストが十字架にかかつて後、管長会の鍵を持つていたペテロ、ヤコブ及びヨハネが現れ、彼らの手によつてジョセフ・スミス及びオリヴァ・カウドリにメルケゼデク神権が授けられました。すべての権利、権能及び鍵は現代の予言者たちに授けられ、彼らは又、他の人たちを聖任して教会の発展に備えられたのであります。神権はその完全な権能を以て、今日の予言者及び指導者たちに承継がれたのであります。大管長会の持つてゐる神権の鍵を通じて十二才以上のすべての価値ある男子会員はこの素晴らしい神権を受けることが出来るのであります。これは人間が持つてゐるもので最も貴重なものであります。

神権の権能は天の能力と固く結びつき離るべからざるものにして……(教義と聖約、一二一・三六)

これは今日、地上に於ける最大なる力であります。

誓詞及び誓約

全聖書を通じて神の民は誓約をなす民として知られて来りました。福音そのものが新しいと永遠の誓約と呼ばれます。誓約は二人又はそれ以上の人たちの同意であります。誓詞は、真理を伝えようとする厳肅な宣言であります。神権の誓約に於ては、天の父なる神と神権を受ける人の両者が含まれて居ります。神権の誓約は、教義と聖約八十四章三十三節から四十四節迄に出て居ります。

およそ忠実にしてわが今語れる二つの神権を得、而してその天よりの召を全力を尽して進行する者たちは「みたま」により聖められてその肉体再新さる。

これらの者はモーセの息子たちとなり、アロンの息子たちとなり、アゲラムの子孫となりまた教会員にして王国の民となり神の選民となる。

主は言う。またすべてこの神権を受け入るる者は、われを受くるなり。

それは、わが僕らを受け入るる者はわれを受くるればなり。また、われを受け入るる者はわが父を受くるなり。

而して、わが父を受け入るる者はわが父の王国を受くるなり。この故にわが父のもてるすべては彼に与えらるべし。

而してこの神権に属ける誓詞と誓約によりて然るなり。

この故にこの神権を受くる者はすべてわが父のこの誓詞と誓約を受け、而してこれをわが父は破ることも変えることも為したもうはずなし。

されど何人にまれ一度この誓約を受けて後これを破り、またことごとくこれに違背する者はこの世に於ても未来の世に於ても罪の赦しを受くることなかるべし。而して汝らが受けたるこの神権に來らざる者はすべて憫なるかな。この神権は今日此所に在る汝らの上に、衆群とわが声によりて今やこれを確認し、且つまたわれは正に天の衆群とわが天の使たち汝らに預けたり。

われ今汝らに一つの誠命を与えて汝ら自らを警めしむ。すなわち汝ら永遠の生命なる言に勉めて心を留めよ。

そは汝ら神の国より出るすべての言によりて生くべければなり。天の父なる神は、誓詞と誓約を以て、すべて二つの神権を受けこれを現す価値のある人に彼らの体は「みたま」により聖められ、その肉体が再新されることを約束されたのであります。彼らは神の選民となり、天父のもてるすべてのものを与えられることを約束されたのであります。

この故に彼らは誌されたる如く神々にして、すなわちまた神の子なり。(教義と聖約七六・五五—五九参照)

これは何と栄えある約束でしょうか。神権を受けてから完全にそれを捨ててしまった人には厳しい罰が伴います。彼らはこの世に於ても又來るべき世に於ても赦されません。主は又、神権を受けない人たちをも咎めて居られます。(教義と聖約、八四・四二)

教会の男子会員の唯一の道は、メルケゼデク神権を受けてその神権の内に彼らの召しを顕現することでありませう。

神権の内に彼らの召しを顕現するにはどうしたらよいでしょうか。

マリオン・G・ロムニ使徒は次の通り、それには三つのことが必

要であると言っています。

(一) 福音の知識を得ること

(二) 神の栄光は英智なり。

(三) 福音の標準に生活すること、従順が鍵である。

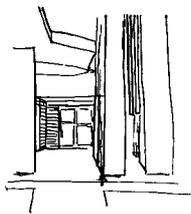
献身奉仕すること、福音を学ぶだけでは不十分である。それに生きなければならぬ。

私たちが原則を理解することは完全にその原則に従った時に出来ることでもあります。私たちは自分の一の律法に生きた時に始めて、自分の一の祝福に感謝することが出来るのです。神権は奉仕の組織であります。神権は献身的な奉仕を通じて他人の生活を祝福する人の能力を増大させるのであります。

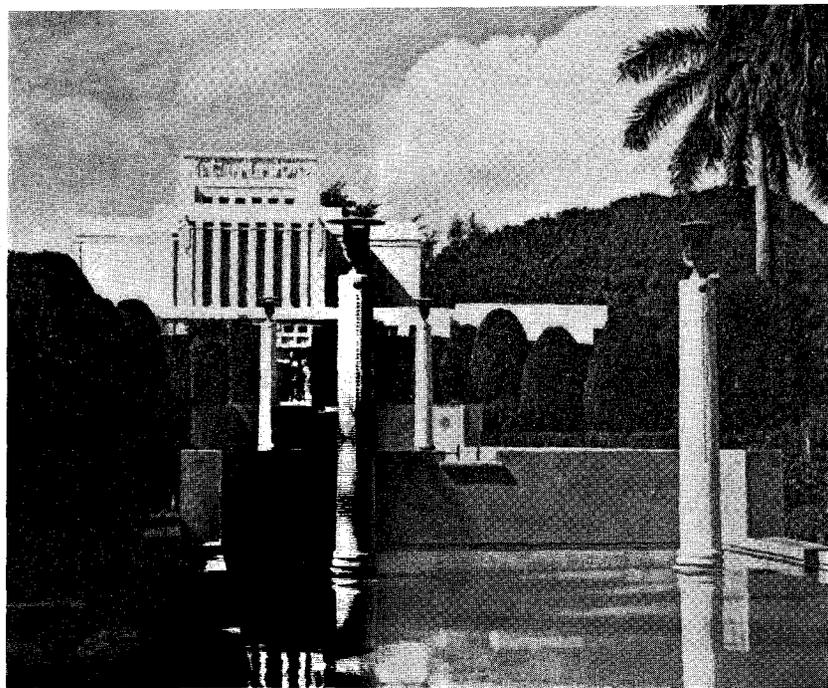
われ誠に汝らに告ぐ、人は努めて善き業に従い、多くの事をその自由意志によりて為し、多くの正しき事を為し遂げよ。

そは人自らの中に自由の意志ありて己れの事を自ら為す者なればなり。従って人善を為さば決してその報いを失わざらん。(教義と聖約五八・二七—二八)

すべての男子会員がこの要求に従って、メルケゼデク神権を受け、神権の誓詞と誓約を受ける価値あるように、その召しを顕現するようにしましょう。



「神殿行き計画」



テンプルエクスカルジョン・プラン

渡部 正雄

日の光栄には三種の天界、すなわち三種の階級あり。而してその最も高きものを得んために、人はこの神権の位（すなわち新しく且つ永遠の結婚誓約を言う）に入らざるべからず。（教義と聖約、一三一・一）

またわれ誠に汝らに告ぐ、ある男もしわが律法なるわが言によりてまた新しく且つ永遠の誓約によりて妻を娶り、これがわれによりてこの権能と神権の鍵を与えられ聖職に任ぜられたる者によりて為さる時……すなわち汝ら第一の復活に出て来るべし。……而して汝ら王位、王国、公国、その他権能領土すべての頂上と奥とを受け嗣ぐべし。……なお約束の聖きみたまによりその結婚が結び固めらるる

ならば……彼らこの世の外に去る時は充分効力あるべきなり。彼らは彼処に置かれたる諸天使諸神の前を通り過ぎ、各々その頭に結び固められたる如く、各々最高の栄に進むを得てあらゆる事に光榮を受くべし。この光榮は最高完全の光榮にして、永久にその子孫の続くことなり。それより、彼らは神々となるべし。彼らは終りなければなり。されば彼らは続く故に永遠より永遠に至るべし。それにより、彼らはすべてのものの上にあらん。すべてのもの彼らに従えばなり。それより彼らは神とならん。彼らはすべての権能を有し、諸天使彼らに従えばなり。

(教義と聖約一三二。一九一—二〇)

十四年程前私が改宗して間もなく、アメリカから仙台に越して来たモリス兄弟一家が三人の子供さんを伴って私の家を訪ねて来られました。可愛い子供さんたちを前に元気なモリス兄弟は私の部屋に入るとすぐ大きな声で「私たちは、五日前にソルトレークで結婚式を挙げて来ました」さも嬉しそうに得々と語りました。まだよく英語のわからなかった私は何か聞き間違えたのだろうと思ってたずね返しました。何度聞いても彼は同じ返事を益々声高らかに答えます。そして私はその時始めてこの素晴らしい神殿の結婚式の感激にひたる子供連れの改宗一家の喜びを目撃して、丁度その三人の子供を持っていました私にも、この喜びが待っていることを知り、言い



知れぬ歓喜と希望に胸が高鳴るのを覚えたのであります。そしてこの喜びがモルモン私たちにのみ与えられた特権、主の宮、神殿で挙げられる結婚式であることを知り、今更の如くこのモルモンに改宗したことを心から神に感謝し、それ迄幾度かカトリックの神父さんに、又プロテスタントの牧師さんに改宗をすすめられながら遂にカトリックにもプロテスタントにも入らなかつた理由をはっきりと、さつたのであります。

それから十四年間、一時も忘れることなく夜毎に夢にも見た、この夢は遂に主の認め給うところなられたのでしようか、アンダーセン伝道部長さんからハワイ神殿旅行計画の発表がありました時、私は再び喜びに高鳴る胸を抑えることが出来なかつたのであります。そしてこの計画の発案に具体化に骨を折られておられる山中兄弟とフィルモア長老に心から感謝し、そして私たち兄弟姉妹が信仰により一致協力してこの素晴らしい計画を実現させねばならないと、大きな責任を感じる次第であります。

先日私の兄が銀婚式旅行で上京しました。

久しぶりで喜びの対面をしたその夜、妻に語りました。僕たちも今年銀婚式の年だが、二年後には、ほんとに銀婚式否金婚、ダイヤモンド婚、以上の永遠の結婚式を挙げてハワイに今度こそほんとうの新婚旅行が出来るのだよ。既婚者の私たちがこの世で再び結婚

式が挙げられる。而もこれこそ其の永遠の結婚式、そして六人の子供も私たちに結び固められる。こんな素晴らしい儀式がこの地上で主の宮、神殿を除いて他の何処で行われているでしょうか？

終戦後、生き残った私の一家はこの教会によって救われ改宗した時に、二才、五才、九才であった子供たちは、その後教会の中で育てられ只今長男は教会の大学を出て、本伝道部に宣教師として召され二男は教会の大学で勉強させていただき、三男は高等学校に、又私が信者となつてから生れた長女（中二）二女（小二）四男も教会が、何処よりも好きで、学校の運動会もさぼって教会に出席する程です。家の中も教会らしい生活をさせていただいて居ります。ほんとうに、至らない一家ではありますが大いなる主の恵みによって主の教会で守り育てられ愈々尊い神権によって、この一家の愛のさずなが永遠に結ばれることを思います時、この地上に生をうけた者として、無上の幸福に感謝感激、誠に主が言われた、

人類は幸福を得ん為に現世にあるなり。
を痛感致す次第であります。

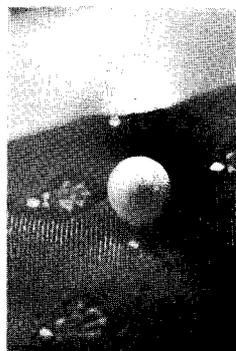
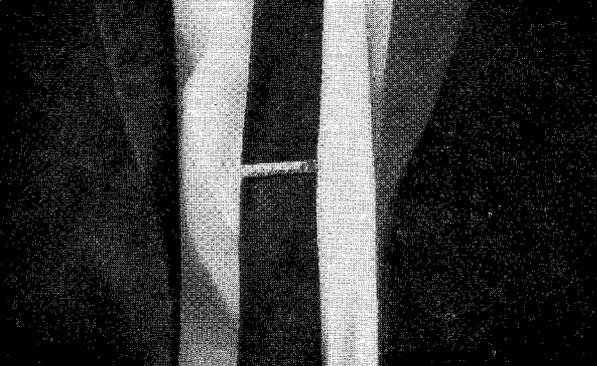
一八七八年、セントジョージの神殿で結婚式を挙げたピータソン兄弟夫妻は、五年前に結婚八十周年を祝いましたが、アメリカでも前例のないダイヤモンド婚以上の記録ですが、その時、ピータソン兄弟には、まずお二人の子供が十人、その内存命者が七人、生きている孫が四十七人、ひまごが百五十六人、やしやごが三十九人これらの子孫に配偶者を入れると総計三百二十五人という大家族です。この大家族が神権によって主の王国の一つに結ばれるのです。

誠にブリガムヤングが神殿の儀式を、曾てこの地上で行われた最大なる仕事であると言われたのも最もだと心からうなずき感謝せず

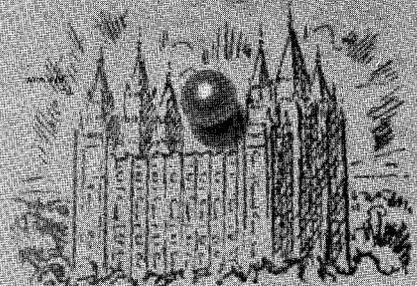
には居られないのであります。
結婚八十周年日のお祝いに来た友人たちが、結婚生活も随分長かったでしょうねと言われたの答えて、いいえほんの一瞬間です。私たちは永遠に結婚しているのですから、とこの老新婚夫妻は答えられたそうです。



真珠のネクタイピンをつけた伝道部長会
左より渡辺隴兄弟、アンダーセン伝道部長、山田五郎兄弟



あなたの胸にも「真珠のネクタイピン」を

THE CHURCH of JESUS CHRIST of
LATTER-DAY SAINTS

神 殿 プロジェクト

フィルモア長老

約二年前の話で、私が日本にきてから間もないころでした。

日本人が神権の祝福に預かることが出きたらどんなにすばらしいかと思つていました。そこで何とか計画をたてて

日本の会員が神殿へ行くようにと考へ、ついに私の計画を手紙にして大管長あてに出しました。二週間もたないうちに返事が来ましたが、私の計画つまりアメリカ人から援助してもらつて日本人を神殿へ行かせることは当分実現不可能であることが判りました。

でも二年前の夢はむだではありませんでした。なぜなら今、私は日本人が神殿へ行くための資金づくりの仕事を伝道部長にたのまれ現在いっしょうけんめいにとめているからです。

ハワイ、ホノルル東京の往復乗船券は約一七万円かかります。一番有意義に神殿を利用されるのは家族の方でありますから、最初家族の会員が行けるようにと伝道部長は思つております。

二人で行くには約三十四万円もかかることになりました。

自からの犠牲を払わなければ祝福に対して感謝を心から持てないと言われていたところに私たちは何ごとにしても自からの努力をしてから初めてそのありがたさが判ります。ですから「神殿プロジェクト」資金を利用される家族に旅費の半分を自分でためることをすすめます。

今の計画では毎年の夏にハワイの神殿へ行くことにしています。教会の役員すなわち支部長会、地方部役員、伝道部役員を最初にそれからずつと続けて会員一人残らず神殿の祝福に預かるきかいがあります様に行なっていきたいと計画しています。

これから会員一人残らずが貯金し始めていただいて、すぐでなくとも何れ結婚しますから神殿で永遠の結婚が出るように今から準備しようではありませんか。

さて「神殿プロジェクト」資金をつくるにあたって皆様には非協力していただきたいことがあります。それは会員やお友だちの皆様から寄付していただくために「真珠のネクタイピン」それから「LPレコード」を差し上げることにしたのです。普通店で二千から二千五百円ぐらいのねだんの「真珠ネクタイピン」を各一三〇〇円の寄付に対して一個を差し上げます。その一三〇〇円の中の百円は売った支部に残ります。

レコードは現在出版中「聖徒は歌う」と言う題名を使って「東京LDS合唱団」の演奏をオーケストラと合わせたもので片面は讃美歌五曲、他面は日本民謡七曲を録音する予定です。一二〇〇円寄付に対してレコード一枚を差し上げるつもりです。この一二〇〇円の中の一五〇円は売られた支部に残ります。

「神殿プロジェクト」の資金をつくりながら支部の建築資金や支部予算をつくれるためのすばらしいきかいはないかと思ひます。

アメリカの会員にも日本に居る兵隊にも寄付していただくようになってはおりますが日本人の会員が出来るだけの力を尽して自分の力でやっていこうではありませんか。

すくなくともお正月までに日本だけでネクタイピン三千個、レコード一千枚を日本人に差し上げてそれだけの寄付を集められるにちがいないと信じております。

各支部の活動を長老定員会のグルーパーリーダーが責任者になりますが各会員におねがいして助けていただきたいと思ひます。

各会員にお友だちや家族や会社学校の人に話して彼らが協力し、「神殿プロジェクト」資金に寄付して下さるよう勧めていただきたいと思ひます。協力して下さる方を長老定員会のグルーパーリーダーに紹介してグルーパーリーダーからレコードやネクタイピンを求めようにしていただきたいと思ひます。

どうか支部長さんがこのすばらしいきかいを利用して神殿へ行くための資金をつくと同時に支部予算や建築資金をつくるよう一生けんめいに会員にすめて、彼らも一生けんめいになってこのすばらしい神の一つのみわざに努力して下さいますように心よりご協力をおねがひいたします。

多くの会員がこの計画に参加されますようにそして多くの人に寄付していただくために賞品を備えて「ネクタイピン」二十五個あるいはレコード五枚を一人で上げて寄付してもらう会員にピン一個やレコード一枚を賞品として授与いたします。詳しいことをどうぞ長老定員会の指導者にお聞きになつて下さい。

日本に於ける教会の発展のため、私たち会員個人個人の進歩のために手を取り合つてこのすばらしい計画を成功させようではありませんか。

せんか。

真珠の見方について

真珠は「女性の涙」といわれる程女性には魅力的なものです、独り女性ばかりでなく男性にとつても気品の高い装身具として珍重がられています。

さてその真珠ですが、それが良質かそうでないかを見分けることは大切なことです。一般に真珠は高価なものと思ひ込まれていますが、そう言う弱点(?)につけ込んでやたらに高い値段がついていふこともしばしばありますから注意して下さい。そこで鑑定の要点を一、二挙げてご参考に供します。

一、真珠は養殖三年以上のものがよろしい。三年以下、つまり二年位いで引揚げたものは肉付が悪く、芯の小礫が表面にうす黒く浮出て見えます。いわゆる coating がうすいのです。

二、少し傷が付いているのが普通で(貝からはがすので)完全に丸く、且つ値段の非常に安いのは却つてイミテーションです。形のイビツなやシミの多いのはいけません。本物はどことなく重量感があります。

三、光たくに注意して下さい。良質のものほど深味と変化に富んでいます。

伝道部長夫妻のとくべつメッセージ

「神殿行きの計画」は私たちの完全な支持と誓いを受けています。まことに、あなたがたのすばらしい伝道部の会員方が「神殿結婚」という神聖な儀式にあずかることができるというのは、最も聖く美しい私たちの夢であります。神の宮居で執り行なわれ、結び固められた私たちの結婚は、私たち一生のうちの最高の祝福であって、この永遠の結婚という賜ものにもまさる何もかも考えることができます。その賜ものをできることならあなた方にも受けていただきたいと思っています。

「神殿結婚」についてこのように思っているのは私たちだけではありません。私たちを感動させる次の話を、私たちと一しょに味わって下さい。

最近全教会員は、マッケイ大管長にとって第一副管長であったヘンリー・D・モイル副管長の死に接して深く悲しんで居ります。大管長会の第二副管長であるブラウン副管長は、タバナクルで執行されたモイル副管長の葬儀に際して、私たちの心を動かす次のような話をなさいました。

「私たちは今から十日前に、自宅で友人たちと一しょに集っていました。アルバータ（モイル長老の夫人）は、私たちから離れて部屋の向う側に居たが、モイル副管長は私の方を向いて『神が私に与えたもうた最大の祝福はあそこに腰をかけている美しい女性だ。彼女の忠節と信仰と献身と愛とは今まで私の生活の力の源となっている』と言った。そしてさらにことばをつづけて——今から思うと、

ほどなく起ること

をほとん

ど予期し

ていたよ

うに——

『私が最

も感謝し

ているの

は、彼女

と私の家

族の全員

が永遠に

一しょに

居られる

というこ

とだ』と言

った。彼ら

は夫婦とし

て、神の宮

居で現世か

ら永遠にわ

たる結び固

めを受けた

。二人が祭

壇の前でとりかわした契約である約束によって、後に二人のもとにきた彼らの子供たちに永遠の遺産が与えられることになった。彼らは契約の子として生れたからである。

ブラウン副管長は葬儀のときさらにことばをつづけて「昨夜と今朝（葬儀の当日）私がモイル姉妹に話をしたとき、彼女は『私は心に安らぎを覚えます』と私に言った」と話をなさいました。

モイル副管長もモイル姉妹も、さきにモイル副管長の言われたこ



とばの意味に気づいては居ませんでした。しかし、二人の心はたった一つのこと、すなわち二人が神殿結婚をしたということに対し主なる神に感謝をささげる気持ちへ向いて居ました。この神殿結婚によって二人は永遠に愛し合い、また家族のすべてと永遠に、いついつまでも、一しょに居られるのであります。

アンダーセン姉妹のことば

「最近、九月十五日に私たちは結婚十五周年を祝いました。九月十五日は日曜日にあたりましたので、私たちはその日はいつものように主のみわざに従事するのであります。私の夫は土曜日の晩に今夜はせびすばらしいレストランへ行つて夕ごはんをいただくのだと言つて私をびっくりさせました。そして、お食事が終るすぐ前に夫は私の手に一つの小さな包みをわたしましたが、その中には私が今まで夫からもらつたうちで一番すばらしい贈りもの、日本の国でできた豪華な一連の真珠が入っていました。私はこんなにすばらしい嬉しさを感じたことはありません。私が夫に贈つたものは、夫が日本中を旅行するときに携帯することができるのポケットサイズの「標準聖典」でありました。しかし、この二つの贈りものよりもっと大切なのは、私たちの二人の間で分け合う愛と、私たちが神殿で結婚をしたことによつて、永遠にわたりつづけ共々に愛することができることを知っているという事実とであります」。

アンダーセン伝道部長のことば

「私の一生のうちで受けた最も楽しい経験の一つはアンダーセン姉妹と私とがハワイの神殿で祝福を一しょに受けることができたこととあります。それは今からちょうど十年すこし前の千九百五十三年の七月の下旬にあつたことであります。私がこの前日本で伝道し

ていた任務を終つて日本から帰る途中、アンダーセン姉妹はカルフォルニヤから空を飛んできてホノルルで私を待っていました。私たちはそれまで二年間日本とアメリカとに離れて暮らしていましたが、私たち二人共ひじょうに喜んだ計画は、ライエにある神殿の集會に参加するという計画を含むものであります。私たちはその五年前にメサにあるアリゾナ神殿で結婚をして居りましたが、二年間離れて暮らしてしまつた後の私たちの一番大きなねがいは、私たちがまた新しく家をもつ前に、神の聖い宮居で主なる神ともう一度新しく誓約をしたいということでした。私たちは私が始めて宣教師の働らきを完了した所であるハワイでこれをいたしました。私はその儀式の神々しさも、その時私たち二人が感じた喜びも共にけつして忘れないでしよう」。

アンダーセン伝道部長とアンダーセン姉妹のことば

「私たちの未来の夢は、ハワイ神殿の祝福と喜びとを、神のまことの教会の忠実な會員であるあなたがたにも受けていただくということです。このすばらしい出来事を実現するために今すぐ準備を始めて下さい。私たちははもう私たちの計画と貯金を始めています。あなたがたのできるどのような方法によつてもこの「神殿行きの計画」を支持して下さい。積極的にやして下さい。必要ならばぎせいを仏つて下さい。神殿の特権は地上に在る神の民に与えるために神がおもちになつてゐる最大の祝福であります。神殿へ行くためにどのようなぎせいはらつて準備をしても大きすぎるぎせではありません」。

永遠なる結婚の契約



かしながら、この型の結婚はこの世の始めからのものではなかった。

パリサイ人達に教えを与えられながら救主は非常に異った教義を彼等に示されたのである。パリサイ人達が救主の所へやって来て、離婚について彼に尋ねた時、救主はその答えの中で永遠なる結婚の契約の教義を教えられたのである。

イエスは答えて言われた、「あなたがたはまだ読んだことがないのか。『創造者は初めから人を男と女とに造られ、そして言われた、それゆえに、人は父母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである。』彼らはもはや、ふたりでなく一体である。だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない。」(マタイ伝19章4節—6節)

ここで我々は結婚の契約は永遠であるべきものと意図されているイエスの御言葉を見るのである。

結婚の契約は永遠的な性質を持ったものであるとゆうこの教義は予言者ジョセフ・スミスに啓示された。その教義はこの地上で行われた最初の結婚に関して非常に意味深長な由来を物語っている。この世に肉体の死とゆうものがもたらされている以前主は次のように言われた。

人はひとりであるのは良くない。彼のためにふさわしい助け手を造ろう。(創世記2章18節)

それ故にイヴはアダムに与えられたのであり、またこの聖句より神の意図されて居った事は夫とその妻の間の結婚は永遠にもちこた

福音の中で最も栄えある教義の一つは永遠の結婚に関してである。サドカイ人達が、出来ればイエスの巽に落し入れようと思ひ、彼の許へやって来て、七人の夫を持った女性の問題を持ち出し、次の世で一体この七人の男のうち誰が彼女の夫になるかと尋ねた時、救主は次のように言われた。

……「この世の子とは、めとったり、とついでりするが、かの世にはいって死人からの復活にあずかるにふさわしい者たちは、めとったり、とついでりすることはない。彼らは天使に等しいものであり、また復活にあずかるゆえに、神の子でもあるので、もう死ぬことはあり得ないからである」。

サドカイ人に与えられたこの救主の答から、キリスト教界ではこの死すべき世を越えては結婚はあり得ないという結論に達した。従って宗教界の聖職者によって結婚が執り行われようと充分な権威を持つた司法界の係官によってそれが執り行われようと、その結婚は死がその契約の当事者である夫婦を分つまでのものなのである。し

えるものであるゆう事が明瞭である。何故ならその当時地上には死とゆうものが存在しなかったからである。パウロがコリントの聖徒達へ次のように記した時、彼の心中にはこの教義があつたに違いない。ただ、主にあつては男なしには女はないし、女なしには男はない。(コリント人への第一の手紙11章11節)

その上、パウロはエペソの教会の人達にあてて次のように記しているのである。

こういうわけで、わたしはひびをかかめて、天上にあり地上にあつて「父」と呼ばれているあらゆるもの本源なる父に祈る。(エペソ人への手紙3章14と15節。訳者注、英語の聖書によると「天上にあり地上にある全ての家族がその方のために名づけられた即ち主イエス・キリストの御父にわがひびをかかめて祈る」となつて居り日本語版より一層はつきりと天上にある家族のことを摘している)

だから地上におけると同様に天上にあつても神の家族が存在することになるが、では誰がその家族の正当な世継になれるのであろうか。当然、その家族は主の神殿で永遠の結婚した人々によつて構成されるのである。何故なら主が次のように申されたからである。

見よ、わが家は秩序の家にして混乱の家にあらずと主なる神言う。主また言う。わが名によりて為されざる捧物をわれいかで受くべきか。または、わが命ぜざりしものを汝らの手より受け入ることをせんや。主は言う。正にわれとわが父が創世の前より汝らに定めたる律法によらずして汝らに命ずることを為さん。われらは主なる汝の神なり。われこの誠命を汝に与う。すなわち人はわれに由らずまたわが律法なるわが言によらずして父に來るべからず、と主は言う。主なる汝らの神言う。この世にあるあらゆるものは、たとえ人

により王により公によりまたはそのほか権力によりまたは名義上のことにより、何にてもあれわれに由らずまたはわが言によらずして定めたることは、崩れ去りて人の死にたる後復活に於てもその以後に於ても遺ることなかるべし。(教義と聖約14章8節と13節)

もし男女が結婚して神の家族の一員となり、復活後も増し殖えてゆく祝福にあずかろうとするなら、その結婚の儀式と契約は勿論神聖な権能によるものでなければならぬ。そのような神聖な結婚を執り行ふ特権は、乱りに他人や牧師によつては得られるものではなく、そのような神聖な鍵を持つて居る方はその一時代に唯一人だけなのです。彼は永遠の結婚を執り行ふその権能を他人に委任する権能を有して居り、この権能(権能)が与えられるのでなければ、その結婚は死を越えてまでも二人を結びつけはしないのであろう、又勿論、結婚する当事者達は国の法律に従わねばならない。牧師やまたこの教会の長老であっても、この神聖な鍵を有している一人の方、即ち当教会の大管長より正当にその権能を委任されているのでなければ結婚式を執り行い永遠に結び固める権能を有してはいないこととなるのである。

神殿の儀式を受けた喜び

尾 古 ち よ (東京北支部)



一九六二年四月十一日午後五時よりの神殿の儀式にいい出るこ
とがきまりました。私
の聖地ソートレーク
を訪れたその目的は、
かねてから望んで願
求めている、祖先の
人たちのために、死者

バプテマスを受けること、全世界各地より集り、大管長デビ
ド・マッケイ御自身が営まれる大会にぜひ出席したいと、願う希
望からでした。

教会の教義の中で特に私の関心をもちましたのは、死者のために
神殿の儀式を受け、バプテスマも信者が代って受けることができる
特に祝福された制度のあることでした。若い時代に、一女、二男と
恵まれながら、幼時に次々と先だたれ、夫も亡くなり未亡人の家族
の無い私に残された大きな責任は神殿の儀式を受けることで、先だ
ち一人たちのバプテスマを受けることでした。

当日は今迄待ちこがれていた儀式に参列することになりました。

語学にハンディキャプの私は多少の不安に胸打つものでありまし
た。何やかやと気を配り母親でもいたわるように、ユタ大学で勉強
中の宮昭子姉妹が付添ってくわしい説明をされることになりました
た。彼女は渡米早々にハワイの神殿、ソートレークの神殿と幾度も
経験済みで勝手も心得ておられました。またこの日のために前々か
ら一諸に参列するはずの、以前日本で伝道された、リチャード・N
・スミス長老御夫婦は用事で出席できなくなりました。スミス姉
妹の御実家の御両親が代って出席されました。日本人の第一支部扶
助協会から会長の平西姉妹と竹内姉妹が友情出席で六名、神殿の行
事の係りのそれぞれの指導に従いまして、会堂に一五〇人位程入り
兄弟姉妹が式を受けることになりました。

大部分の会員は私同様に、四月の大会に出席後この儀式を受ける
ようでした。

また結婚前夜、翌日の式のための儀式の人々も七人程見えました
身も心も洗い清められたような清々しい身心を純白な儀式用の服に
包まれ身の引締る思で心を新にし式を終了致しました。この尊い儀
式の内容は神聖にして犯すことのできない聖なるものであります。

儀式の内容は誓約により同じ儀式を受けました仲間以外の人々には
経々しく語ることはできません。偲ばれることは尊崇、静粛、神の

楽園を想像する事と思います。

一九四九年一月八日晴天でしたが非常に冷たい風の吹く日に奈良兄弟にバプテスマを受けました。祝福はマックダニエル長老より受け私は新しい信者の生活に入りその折の感激も今もお身内が熱くなる位憶えておりますが、神殿の儀式は又違った意味で更により以上の重い責任を感じる事が出来ます。

最初のエンダーメント、次はシーリング、で家族の結固め、結婚養子親子の結固め等のごこと一つ一つが私たち教会員にとって必要欠くことのできない儀式でありますことを改めて深く認識させられました。

全部の儀式終了の私の場合は遠方よりの参会であり度々神殿を訪れる機会もないだろうとの暖い心遣りから改めて別室で式順により質問や説明を受けました。又偶然にも以前池袋支部時代に伝道されたアステン長老が翌日結婚式を挙げるために花嫁になる美しい姉妹と両方の両親等と同じ儀式を受ける機会に恵まれました。突然に式場に入る前にバツたり顔を合したとたんに私を指差し口も聞けずにもがもがした彼の様子。また末娘のエレス姉妹を日本に召された、お母様もこの聖なる場所であつてお出になり儀式を受ける間中特に親切にして下さったことなど忘れない思出でございます。

日本では未だに神殿が恵まれておりません。教会堂で結婚された兄弟、姉妹は皆同じように、永遠迄もつづく大なる祝福が約束されていることを私はよく知っております。

また多くの老も若きもすべての信者たちはそれぞれ系図を調べ先祖の救われる日を待っております。先日の大会にフィルモア長老が日本の多くの信者のために神殿の行事を受けられる素晴らしい案をお

話しになりました。この事で一人でも多くの信者が神殿の儀式を一日でも早く受けられる日の早い事を祈っております。

もう一つの大きな願望はこの日本の地上にも神殿の建てられる日のごとであります。十四年程前に（今は天に召された十二使徒のカウリー長老が）日本にお出になられました、その折にやがてこの日本の地にも神殿が建てられると予言されたことを聞きました。

日本の多くの会員が心より願ひ祈るならば、そして一人でもより多くの会員を各自の愛の行動を通して求めるならばやがてワード部となり、ステーク部と発展して私たちの国日本にも神殿が授かることもできると信じます。

神殿の儀式のすみまし後に日本人の小さな私が何の功績もないのに多くの人達の中から選ばれて大会に、神殿の儀式に出られたのわ特に大きな祝福と恩寵に恵まれ姉妹と呼ばれたこの尊い儀式を受けた姉妹は日本に帰らずアメリカに留るようにも申されました。そして日本人としてはるばるモルモンの本部の神殿で儀式を受けた私は日本に神殿が建てられた時は最初にその聖なる場所の仕事をしなければとも申されました。

数十年か数年後か解りませんが私の生命のあるうちに実現したならば髪は白く腰もまがり老いてもその所で立働きたいと念じております。この言葉は私の証であり召される日迄の願ひでもあります。

自由な助言を自由に与える時

それはどのような時であるか

他人に助言をしようとする人は大きな責任を負わなくてはなりません。それにもかかわらず、口をきく資格がほとんどないか、または少しもない人々が勝手におびただしい助言をしております。

良い助言は役に立つし、またしばしば大へん価値がありますが、悪い助言は大きな損害を与えることがあります。しかし良いにせよ悪いにせよ助言をする人々は、その助言にもとづく結果と密接な関係があります。

ある人々は財政上のことについて助言をします。ある人はその友人にときつけられてある企業に投資をして損をするかも知れません。また別な人は得をして金持ちになるかも知れません。

またほかの人々は家庭のことについて助言をします。人々は、夫婦間の問題について力を借す資格のない人々から、時々離婚をしたるあるいは結婚をしたりせよと言われます。家族の生活を全く変えるかもしれない助言をすることはひじょうに重大なことであります。

それから、教会そのほかの団体の評議員として、またはある商社の管理職の一員として任命を受けている人々があります。このような人々は自分の経験と知識によってだけ助言をすべきであって、未

熟な考えや、偏見や、急速な判断をもとにして助言をすべきではありません。

ある評議員がワード部の監督にまたはある団体の管理者に助言を行うとき、十分根拠のない知識を与えるとしたらその評議員の責任はどうでしょう。それは間違った道に旅行者を送りこむよりもまだ劣っています。教会の会員の間で行なわれる助言は、仲の良い生活に影響を及ぼし、またおそらく多くの人の将来の行く先にも影響を及ぼすかも知れません。助言を与える人には軽々しくなれません。

助言を与えることについて起る最もむづかしい事態の一つは、隣人もしくは「親友」が助言する資格がないのに助言をするところにあります。

とくに若い年ごろの人々の中には、重大な困難におつかったときに、指導をする資格のない人々のところへ行つて助言を受け入れ、もっとひどい不幸におち入っている者があります。

助言を必要としている人々は、自分を助ける力をもっている賢明な助言者を探し出さなくてはなりません。

ワード部の会員（もしくは支部の会員）は、助言と指示を受ける

ために各々の監督（もしくは支部長）のところへ行くべきであり、また監督（もしくは支部長）に家へ来てもらうことができます。

私たちの教会の組織は完全な組織であります。私たちの教会はワード部（もしくは支部）の教師たちが、ワード部（もしくは支部）の中で助けを与えることを許します。また、定員会の会長会も同様であります。私たちの教会は大幹部の一番上に「予言者、聖見、啓示を受ける者」である大管長を置いています。

専門の助力が必要なときには、以上の兄弟たちはこのような助けを手に入れることができるほど賢明でありますから、そうするにちがひありません。

監督（もしくは支部長）は、イスラエルにおける一般の判事であり、啓示と按手によって、神により召されてこの働らきをするよう聖任されています。監督（もしくは支部長）はその召しに関する靈感を受ける資格を充分持つていまずから、その靈感を求めるときに必ずそれを受けます。教会員が導きを受けるために求め行かなければならないのは、監督（もしくは支部長）であります。

子供たちは各自の両親に相談すべきであります。なるほど世の中には助言をする資格のない親たちがありまして自分の子供たちをほって置きますが、子供たちはそれでも助力を求めて各自の監督（もしくは支部長）のところへ行くことができます。しかし善良な家庭では末日聖徒の特色である家庭の団結があつて、両親と子供たちとともに理解し合い、各自の問題を相談し合う十分な相互の信頼を可能にさせなくてはなりません。このような家庭でもしも両親がさら

に助けを必要とするときには、また監督（もしくは支部長）に家へ来てもらうことができます。

私たちが教会の組織は完全な組織であります。私たちの教会はワード部（もしくは支部）の教師たちが、ワード部（もしくは支部）の中で助けを与えることを許します。また、定員会の会長会も同様であります。私たちの教会は大幹部の一番上に「予言者、聖見、啓示を受ける者」である大管長を置いています。

だれでも良い助言を必要とするときにはそれを得ることができません。その助言は、各々の方面で充分資格のある人々が注意深く祈りの心持ちを以て与えるであります。

しかしだれでも、医者や弁護士や看護士の資格のない人のところへ行つてその方面の助けを求めようとしないと同じように、個人的の問題に助けを与える資格のない地位に居る人のところへ行くべきではありません。

それで思い出すのですが、資格のない人々は自分の無能力なことを認めるべきであります。資格のない人々は、医者でないのに病人に医療上の助言をしたり、弁護士や教師でないのにその方面の助言をしないと同じ様に、専門の人の助けが必要なところに助けを与えようとすべきではありません。

他人に助言をするのはもっとも重大なことであります。しかし、助言を受け入れることもそれと同じであります。助言をする人が立派に資格のある人であるという保証があるときにだけ、その助言を聞く人に確信が生ずるのであります。

（チャーチニュースより——アンダーセン伝道部長）。

親切な外人牧師

入院中の親子に贈物

「新らしき生命」



小林都代子（松本支部）

白衣着し我子のほほえみ目に痛し

神よ見ませと 我は祈らん

緊張にやや蒼ざめし 愛し子の

小さきあかし 胸にしみくる

教会の帰り急げる 我子の背に

赤き夕日が 今暮れなんとす

ひんやりとした初秋の風が身にしみると、思うのもつかのま、もうここ信濃大町市の北アルプスには、三度目の雪が降り、すっかり秋も深まって参りました。私はこの片田舎の小さな街の病院のベットの上で「聖徒の道」にのせるべく、この原稿を書かせて頂く光栄を心から感謝申し上げます。

私達親子三人は、ふとノした不思議なめぐり合いから、たった一カ月半の後九月八日長女俊子（十五才）長男修（十三才）と私がバプテスマを受けさせて頂きました。私の体の都合により、八日と決めたのに、其の日教会へ出席し聞くところによると、意外にもその日はモルモン教会のデビット・O・マッケイ大管長の九十才のお誕生日と伺い私達の感激は又ひとしを深いものがりました。

思い返せば過去三十九年間の罪深い私が子供二人を相つれて、この光栄によくしました事は、一重に松本支部長のライザー長老、グバラ長老の暖い愛の導びき、無言の中にも言い知れぬ信仰の深さから来る、ほほ笑み、であった事を強く感じます。私は前世に、どんな罪をおかして来たのか、生れながらの、股関節脱臼でした。医学の進歩した現在なら整形手術も出来たのに、生れながらのピッコと

して生い立ち、その上満一才の時、いろりに転び面手と顔に焼道を背い、その傷跡は手にも顔にも残りました。私は女の子です。そんな幼い頃から人知れず悩み苦しみつづけました。小学校入学で泣き、進学で苦しみ、就職で悩み、又結婚で悩みました。幾度自殺しようと思った事か？ 何時も肉体の苦しみに泣きました。しかし私は看護婦になる決心をしました。それは私よりも、もっともっと不幸な人々の中に働く事によって、自分の不幸を忘れられると、思ったからでした。そして当時戦争の時代でしたので自分は身の不自由をも取り見ず、血書のタン願書を書き志願して特志陸軍看護婦として朝鮮平壤まで行き、私は忠実に、当時のみ国への御奉公をしてとうとう結核になり看護婦をやめて帰って来ました。そんな私でしたので、青春時代から宗教も色々迷いました。しかし私は結局何の宗教へも入る事が出来なかつたのです。

私は四月中旬から急に疲れ易く、夕方疲れが増すと、熱が出て来て、咽頭が痛く声が出なくなつて来ました。私の現職の保健婦の任務は重く、多忙な毎日でした。来る日も来る日も結核患者訪問、乳児、妊婦、産婦、高血圧患者訪問、そして又婦人会、母親クラブに衛生保健指導と数限りなく仕事は山積された。疲れる体をむち打つて私は精一杯この無医村（現在は町）の健康管理のためにガンバリ続けましたが、とうとう私の体にも限度がありました。私は全く声が出なく熱が出て来ました。至る所の医者に通うけど、仲々診断はまちまちでした。私自身も非常に不安になり、七月十八日、四十キロ南の松本市にある国立病院の門をたたきました。そして又一週間の後七月二十三日再び松本の病院へそして、「声帯嚢人結核」と診断された。「暫く入院して様子を見て悪化する様なら八月の末手術

をするよう」命令され、私は中食もとらず重い心で松本駅へ来ました。発車すれすれの電車に飛び乗った。間もなく発車したがすわれた安下感から、私はふッと横を見た、すると若い外人青年が二人部厚い本を二、三冊かかえて何かしきりに、ほほ笑み合いながら英語で語り合っていました。どうしてなのか今考えても、不思議なのですが、私は瞬間的に、何んのためらいもなく、彼等に言葉をかけました。

「コンニチワ。ミナサンドコハイラッシャイマスカ。」

「ハイ。コンニチワ。ワタクシタチ、ホタカハイキタイデス、トオイデスカ？」

たどたどしい日本語で優しくほほ笑みながら、話は次々とつきなかつた。そしてまもなく穂高の駅に着いた。彼等はおりた、すると私は思わず立上つて彼等の後についておりた？ なぜなのか今もはっきりわからないけど、それが不思議なめぐり合いであり導びぎでした。そしてそこで彼等は「末日聖徒イエス・キリスト教会」の長老である事を知りました。

。導びぎの日。

八月二日、長男修が又病院へ入院した。そして盲腸炎ですぐ手術された。私たち母子は同室でベットを並べた。そんなある夜、突然二人の長老がはるばる松本からプレゼントを持って見舞に来てくれた。修も私も飛び上らんばかり喜こんだ。その夜ライザー長老は修の枕許で色々な話をしてくれ本を見せた。修は熱心に聞いていた。それから私達はまるでジシヤクにでも引きつけられる様に急速度に今日の日まで導びかれて実に不思議な多くの恵みを与えられて来ました。それから毎週二度家庭集會に遠路わざわざ来て頂き私達母子

三人は熱心に講義を受けた。ある時私はライザー長老に尋ねた。「入院中にバプテスマを受けてもよろしいのでしょうか？ それとも退院出来るまでのばしませうか？」と、すると「ワタクシニキイテモワカリマセン。神様にキイテクダサイ。」と、言われました。私はびびくりしましたライザー長老にわからない事を、どうして神様に私が尋ねる事が出来るのか、又どうして神様が私に答えてくれるのか？ と、すると、彼は又言いました。「お祈りをして下さい」と、私は一生懸命朝に夕にお祈りをささげました。

然し来る朝も来る朝も同じ朝でした。そんな或る日、日曜学校へ行きました。そして又家庭集会もありました。ある朝ふっとノ目をさますと、となりの患者さんのつきそいさんに私は「今日は幾日かしら？」と尋ねた。九月三日だと言われた。間もなく朝の六時検温の時間看護婦さんが来た。すると又私は「今日は何曜日かしら？」と尋ねた。そして又朝食を持って来た看護婦さんに、十時頃注射に来た又看護婦さんに、来る人見る人私は無意識に日と曜日を聞いていた。するととなりの人が「小林さん今日はどうかしているネ今朝から、おっとそんな事ばかり聞いて……」と、言われ、私はびびくりした。入院中にこんなにも、ケン忘症になってしまったのかと、しかし私はハッキリと、心の中では今日は幾日でも何曜日でも家庭集会のある日だと知っていたのだった。そうだと私は早くバプテスマを受ける日曜を待っているのだ。そのために日々の過ぎゆくのが待遠しいのだと思った。すると不思議に私は昨日の朝方の夢を思い出した。

「ふる里の山道を私の家から若い数人の人達がお祭りのハッピを着てハチマキをし、ワッショイノワッショイノとおみこしをかつい

で元氣よく走って来ます。私はこちらの山道を一人でそちらに向って急いで歩いて行きます。しかし私とおみこしとの真中辺に小さな一つの谷川が流れています。彼等みこしはその谷川を境に又ひき返して行くならわしなので、私はそのみこしに追いつくべく急ぎました。そして今、その谷川でパツタリ合ったシユン間、ふっと目をさました。看護婦さんが私の枕もとに立って、「小林さん六時の検温ですよ、よく眠っていましたね」と体温計を持って立っておりました事を私は急に思い出して、何故か急いでバプテスマを受けたいと心があせった。それと同時に「ああ神様は私に早く受ける様に」と私の心に示しているのだ」とハッキリ思う事が出来ました。その日の夕方病院へ来た長男も「お母さん僕早くバプテスマ受けたと思うよお母さんは？」と同じ事を言いに来た。長女は長女で、「お母さんノ私この頃とっても学校が楽しいヨ、今まで意地悪だっと思ったお友達も、とても仲良くなつたし校庭で遊んでいるお友達にも私が遠くからオースノと、言うともみんなオースノと書いてとても楽しいヨ」と、喜こんだのです。中学三年連続副ルーム長をやり校友会の議長も選ばれてやっているのに、女の子の中では色々としつがあり何時も様々な圧力で精神的に苦しんで学校が嫌だ嫌だと言う日が多かったのです。それ故にバプテスマの事を話すと喜こんで、「モチロンノ受ケタイシ、受ケルノ」と大張切り私達は何んの強制も、何んの反対もなくスムーズに喜びの日を迎える事が出来ました。その上主人も会社を休み、私達のバプテスマのために教会に始めて訪れました。多くの長老と兄弟姉妹の暖い愛にささえられ、主人も九月二十二日バプテスマを受けさせて頂き、これで始めて真のモルモン家庭としての新しい出発が祝福されました。

愛する兄弟の死に思う



(三の官文部「聖徒の道」委員投稿)

宮崎兄弟が思いがけない事故により、現世を去ってから、早くも二ヶ月の月日が過ぎました。宮崎昌洋兄弟（十九才）通称デンちゃん、それはいつも胸にデンデン豆のバッチを付けて居りましたので、そう呼ばれて居ました。会員になったのは一九六三年四月ですが、まだ日は浅かったのですが、此の愛称を聞けば、あああの人、と思いつく人も居る事でしょう。八月十六日、十七日と武庫川の上流生瀬に於て、会員グループの計画したキャンプに元気で参加した彼でしたが、一日目のお昼頃からその姿が見えないのに気が付きました。驚いた兄弟姉妹達が、八方に手分けして探しましたが、見つからず、ようやく不安になって来た会員一同は、早速支部長会に連絡しました。間もなく田口支部長が到着し、すぐに警察署に届出しました。

又地元の青年団や消防署の協力を得て搜索の方法は一変しました。やがて宮崎兄弟の御家族が到着されましたが、心配のあまり当然の非難の言葉にも、どうする事も出来ませんでした。しかし会員達は、それぞれの果すべき責任を分担され統一のとれた搜索の方法により努力が続けられました。搜索の一日目はむなしく過ぎてしまいました。そして二日

目、新聞や会員の連絡で知った、兄弟姉妹達が、次々に駆けつけましたが、昨夜の大雨で水はすっかり濁ってしまい、搜索はいよいよ困難をきわめました。

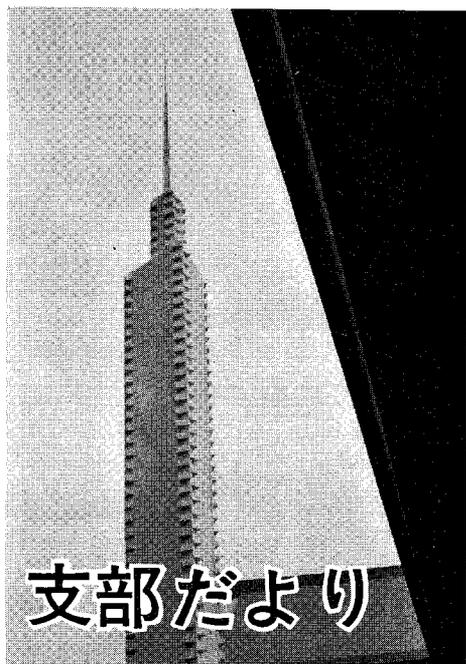
そうして三日目の夕方すべての期待、祈り努力もむなしく、現地よりも約十八キロはなれた宝塚歌劇場のかたわらの新橋の下に、再度帰らぬ姿となって発見されました。原因は、心臓麻痺に依る溺死と診断されました。

二十日のお葬式を終えた後、涙にくれる兄弟姉妹達は現地におもむき、事故現場に花束を投じて讃美歌八四番、神よ又逢ふまで。彼の霊を見送りました。ありし日の彼も、何度か口づさんだであらう、此のメロディーは流れの音に乗って遠くに消えて行きました。家族の方から身に余る感謝の御言葉を頂きましたが、それはあまりにも過分なお言葉でした。ただ教会の会員として最後迄その応答さ変へる事なく、行動出来た事が、少しでも皆様の気持をやはらげる事が出来たら、と思うのみです。

宮崎兄弟は、私達に得難い経験を通してとても沢山の教訓を与えて下さいました。

来世に於て彼が必要であったから、神がお召しになったに違いありません。

今はありし日の彼を偲び、永世の住いで、やすらかに、と心から御祈りするばかりです



支部だより

旭川支部

九月に入って旭川支部では何かと催しが相次ぎました。

七日。土曜の午後の一ときを過ごす為、近くの高砂台に集いました。旭川の街を一望の下に見下ろす岡の上で、静かな散策や楽しいゲームで、去る夏を惜しみました。

十四日(土)夜は、地方部宣教師主催のお汁粉パーティ。四人の姉妹の皆さん、いつも御苦労様。皆さんが建築資金にこの様に努力して下されば、教会堂は見る見るうちに建つでしょう。

二十二日(日)夜は、フェローシップン

グ・スクールの第一日です。三十数人が二人一組となって、互いに相手の紹介をし合いました。ウィットに富んだ面白い即興の紹介が相次ぎ和やかな雰囲気が一堂を包みました。新会員・求道者の皆様に幸あれ。

二十四日(火)の祭日は好天に恵まれ近くの名勝の地神居古潭にピクニックです。若くイキのよい神権者や宣教師、姉

妹の幾人かは一時間余のサイクリングで、他人で即製の豚汁を囲んで大騒ぎでした。冬の早い北国には珍しい好日でした。夜は教会堂に集まって、近く日本を去るトーマス長老の送別会を行いました。

組織の拡充に伴い、補助組織の一部に変動がありました。新しい血が補給されて、支部の一大飛躍が期待されます。

- 日曜学校 会長 遠藤 均(留)
- 第一副会長 熊谷政雄(留)
- 第二副会長 小田雄久
- 書記 熊谷 厚(留)

子供日曜学校 責任者兼教師 三上 道子

M I A Y M 会長

- 第一副会長 木崎 正己(留)
- 第二副会長 山田 次美
- YW 会長 阿部 修二
- 第一副会長 神野 豊子
- 第二副会長 稲葉田鶴子
- 書記 吉田 順子
- 扶協会長 狩野 昌子(留)
- 第一副会長 田中 静穂
- 第二副会長 福原 生子(留)
- 書記兼会計 高丸 美枝
- 近藤澄子(留)

今月の神権授与は、小田兄弟(執事)。

山形支部

「ああ腹へった」「疲れたね」「もう少し我慢して」と毎日夕飯時ともなれば若者達の偉大な胃袋は鳴りだして止まない時刻である。写真を見てください。

壁をプチ抜きベニヤを張りつけペンキを塗りそしてラッカーに酔っぱらいながらの大奮闘です。ほんとうに長老達の熱心さには驚く、アチラ特有のイタズラも時より入れたの活躍ぶり、又八月十三日に帰国したキャンプル長老は例の大きな体をベニキと汗にまみれて一日も早く教会をど働き回った姿はきつといつまでも皆な心を残っていることだろう。

又学生諸君の夏休みの時で又特にエンサイローレルの会員の働きぶりには素晴らしい

物があつた。この様にして苦しみと楽しさの内には『やれば必ず出来る』と確心出来たことは労働に参加した人達にとって大きな収穫となつたことだろう。広々とした教会堂とコートの完成。素晴らしいこの日。数多くの集會がこの汝等組織して必要な物をこつとく調えよ。而して祈りの家、断食の家、信仰の家、学問の家、栄光の家、教序の家、神の家なる一つの家を建てし。正義と聖約御章117と119を大会テーマと掲げ、ベニア、ペンキの香もなまなましい会堂で特別地方部長今井一男兄弟、第一顧問田中秀夫兄弟が訪問されて山形支部大会が開かれました。神権會、扶助協會、一般大会、聖餐式、証詞會と特に証詞した人々はあんなに貧弱でみすばらしい幽霊屋敷みだつた建物かと感激のあまり声もくもりがち……。一層心をひきしめ証詞を強めてすべての會を無事終了した。

より

だ

支

この新しい教会堂での最初の集會
八月十日(土)

支部長バートン長老管理の元に胸はずませ
て、若人等が待ちに待ったM.I.A.大会。フォ
ークダンス、デモストレーション等、心いく
まで広々とした会堂で楽しさを満喫した。
八月十一日(日)

されば、我等誠に汝らに告ぐ、我友よ。汝

等我命たる如く聖會を招集すべし、そは必ず
求め、すべての人信仰なきが故に汝等努め
求め互いに智慧ある言葉を教うべし。然り最
も良き書より智慧ある言葉を探し求めよ。又
正に研究と信仰とによりて学問を求むべし。

甲 府 支 部

盛夏もすぎ、いよいよ秋になりました。各
支部の兄弟姉妹にはお変わりございませんか、
甲府支部の會員達も皆元気で快い季節を迎え
ました。それぞれ職場に学校に家庭にそして
會会にと頑張つて。

さて、この度甲府支部では新しく若い人達
だけの會を作りました。名づけて Youth
Missionary Committee 略して Y.M.C.とい
います。主な目的は

- 若い人達の親睦をはかる
- 新しく来られた方を歓迎する
- モルモン経、バイブルについての研究会
もちろんレクリエーションも行います。ある
兄弟の御好意によりバレーボールが入手し皆
で良く遊んでいます。五月の中旬ころ発足し
毎日曜ごといろいろな話し合っています。

Y.M.C.會員一同若さある限りがんばりまし
ようと頑張つてます。今迄の活動したことを
あげてみますと(主なものだけです。沢山し
ました)

○六月二十九日 ルンペンパーティー

各自が食料品持参で行いました。お料理が
得意のグループ、ゲームなど好きなグルー
プとわけて、初夏の半日を楽しく過しました。

その時のパーティーに来た方で現在會員とな
っている人もいます。

○八月三日 身延山へハイキング

親睦とレクリエーションをかねて日蓮宗總
本山身延山久遠寺を見学いたしました。一五
八もある石段をのぼる時苦勞したことなどは
きつと良い思い出となることでしょう。

○八月十日 伝道の実践

真夏の太陽がキラキラ照りつける中を伝道
に行きました。素直にうけ入れてくれた家、
その反対に追い出しをされた家など、さまざ
までしたがお互いによい経験をしました。長
老達の苦勞がしのはれた一日でした。

ざつとこのようなことですが、これからの
よい季節にもっといろいろなことをしようと今
計画中です。Y.M.C.を發展させるため頑張つ
ています。各支部でこのような會を作つた時
の体験談を何に何にお気づきの点がありま
したらどうぞ聞かせて下さい。それらも参考
にしまして将来性のある會、頼りにされる會
へとさらに發展させようと思ひますので。
甲府支部は今がちょうどよい季節です。各
支部の皆様、機會がありましたら、ぜひ来て
下さい。ではその時を楽しみに
(Y.M.C. 三井姉妹記)

○現在甲府支部宣教師

ウーテン長老、リー長老
バンデン長老、ベア長老

群 馬 支 部

灼熱の大暑も過ぎかり、軒の風鈴、吊りし

のぶ動かす夕風の涼味を感じさせる今日この頃ですが、各支部の皆様おかわりございませうか。私達群馬支部も御国建設のために日夜元気に励んでおります。

○MIAの改組に伴い、ここにその新役員を御紹介致します。彼等は全て、フアイトを燃やしその任務を適切に遂行しています。

- | | |
|---------|-------|
| YM会長 | 浜田 哲 |
| YM第一副会長 | 藤井 重男 |
| YM第二〃 | 福田 丞書 |
| YW会長 | 飯塚 道江 |
| YW副会長 | 小川 皓子 |
| 書記 | 小林 英一 |
| | 高橋 昭恵 |

○今年度、最期のMIAが八月二十九日、雨余の清涼なる霽困気の中で、ロードショウが盛大に開催されました。今年度、最後のMIAとあって狭い会堂には多数の兄弟、姉妹やお友達が集って見ました。それぞれ今日のプログラムに期待しながら。

この日のプログラム内容としては、他会には見られぬ充実したものでした。歌あり日舞あり、オルガン、ソロありその他、ギター、トランペット等の楽器演奏それに長老たちの出し物(?)など本当に盛り沢山で充実したものでした。

私たちがこれらのプログラムにみいっているところの支部にも種々な分野で才能を発揮している人が随分いることを新たに認識させられます。

なかでもこの日の圧巻は、長老たちでした

その演技は各支部の皆様にもぜひお見せしたかった程です。六人の長老たちがそれぞれ三人は女装他の、三人は男装(?)でアメリカの時代に扮し、その熱演たるや最たるものでした。私たちも思わずニコリではなしに鼓腹爆笑の盛観でした。

その他、松本兄弟の珍卒業論文なども興味をそそりました。最後に藤井兄弟を初めとした合唱団で中に塩沢姉妹の詩篇朗読を織り交ぜ、讚美歌を唱い霊的霽困気の内閉会致しました。

○九月五日、獮友と友に、楽しく開催!! この日の準備のために苦勞した事は動物の面作りでした。しかし、役員的一致協力した態度はすばらしいもので一日で全てを準備したの日に備えることができました。当日は、ゲームに遊び、フォーク・ダンスに楽しみ、相互の親睦をさらに一層深め無事に閉会することができました。

○系図委員会誕生!! その具体案決定!! 九月八日、東京より第一副地方部長でいらっしゃいます渡部兄弟が支部訪問を為さって下さいましたのでこれを機にと藤井兄弟が系図委員会設置の件につき渡部兄弟に相談し、支部に設置するための具体案をお聞きしました。活動時期は未だ不明ですが渡部兄弟も非常にこの事については賛成の意を示めておりました。藤井兄弟は北村兄弟の援助の下にこの系図委員会を立派なものにしようと思望と情熱を燃やしております。

那 覇 支 部

各支部では建築計画が次々と進められ、今や建築ブームで大にぎわいのことと思えます。ここ沖縄でも建築計画にもとずき毎月食べよう会で資金を集めるほか、耕地を借り受け砂糖キビを植えることになりました。およそ三百坪の荒地を二十人以上の兄弟姉妹たちと、長老たちで二日でみごとにきれいな畑にすることができました。耕作の経験者は、わずかに二、三人で、ほかは全く素人です。九月の末といえ沖縄では、まだ暑さがきびしいころですがその暑さにもまげず働く者の倅をじっくりとあじわいつついっしょうけんめいでした。チャップマン長老や三池長老、その他多くの兄弟姉妹の手のひらは大きな豆がいくつもできてしまいました。しかし全員が一つの目的に向って一心に働けたことは天の父の大きな恵みと導びきによるものであります。なかには初めて経験であるので、その喜びのために羊の豆やかかれなどでんで忘れ去られたようにはいっしょいきました。

新垣朝儀兄弟(第一副支部長)は九月一日にモルモン二世をさすかりました。美智子夫人も子供日曜学校の世話をしながら新垣兄弟のかげの力となって働いています。

宣教師の移動

- | | | |
|------------|--------|-------|
| グッド・ヘロー姉妹 | 九月三日 | 名古屋へ |
| クリスチャンセン長老 | 九月二十九日 | 晋天間へ |
| 小川姉妹 | 九月七日 | ハワイから |

支部役員

YM・MIA 会長に 平良光男兄弟

YM・MIA 副会長に 謝花良康兄弟

支部書記に 当真健二兄弟

東京北支部

お元氣ですか。今までずっと北支部については何も書かなくなりましたけれど、今月から毎月書くから読んでくれる？ しかし今月は多分知っていることだけかもしれない。

まず地方部大会の事。よく知っているでしょう。今、建設中の東京北支部の教会堂で開行なわれたけど、あの時は余り大勢なので、うしろのステージの上まで腰かけを持ち出さなければならなかったんだから驚きだったね

ただあの場所、中野区江古田二丁目の教会周辺というのは食堂みたいなものがないので、お昼は困る。大会の時は扶助協会で食事が出たけど（その値段が高いか安いかの評判は残念ながら聞きもらしたけど……）もつとバラエティーに富んだものを食べたい時はやつぱり食堂位ないとね。その件についてちゃ、兄弟達がモルモン食堂（又はフルーツパーラー）を建設地の一部を借りてやろうかと真剣（？）に考えている。ところが、森村兄弟は「俺はドアボーイをやるよ」また酒井兄弟は給仕頭をやるっていうし、織本兄弟などは使い走りでもいいよというし、どうして北支部の兄弟はこう、ひかえ目なのだろうね。これじゃ、支配人や経営者のなり手がなくなってしまう

うので食堂が立つのは何年先のことやら。ただ夢を持つことは何事においてもいいことだと思ふ。そしてその夢は必ず実現するはずです。

横道にそれてしまったけど、大会の次の日九月三十日は新教会堂にての結婚式第一号が行なわれました。その光栄ある兄弟姉妹は、細野兄弟姉妹（どうだい細野姉妹、矢仲姉妹から細野姉妹と書かれるのは始めてだろう）雨が朝から降る天気であつたけど、会員達が多数、また御親類も大勢、盛大な結婚式でした。神聖なる式が終り披露会に入ってから話だけど、ケーキを切るでしょう。あつ、その決定的瞬間。

そのケーキを切つてから司会者の神崎先生（この先生については後述）が「では花嫁にケーキを食べさせて下さい」といった時、細野新太郎は切つたナイフの切先にケーキをさし、それを花嫁の口元へ、それは正に会の緊張をやらげけるのに十分な促進剤だった。これが本当のけがの巧名かな（けがをしなかつたけど）

それから前述の神崎先生の件、これも愉快なもので、細野姉妹方の知人の一人のお話の中で、「ただいま神崎先生から……」と云つたので、本人の神崎兄弟も驚いたろうが、聞いている皆んなも後で、神崎兄弟もついに先生にされた大騒ぎ。それ以来先生をつけて呼ぶことが北支部では流行している。とにかくすばらしい結婚式だったよ。やはり本当の礼拝堂での式というものは、結婚、その意義

を霧囲気がおのずと語っているようだった。今月はこの辺で終るけど、来月も又結婚式の事を書く破目に落入りそうなんだ。というのは、荒兄弟と成田姉妹が十一月九日、新しい教会での第二号としてあるから。十月の赤い羽、いつもの年なら、まだシャツスタイルの胸につけている人が多い時期なのに今年は赤い羽は全部上着の上。それだけに今年は寒くなるのが早い見たい。それについてもお身体大切に。じゃまた来月。



宇津木 澄子	東京北	善次
芳沢 徹	谷川	善次
山城 俊昭	高橋	義高
仙台 憲二	山形	
阿倍 啓子	市村	トヨ子
早坂 静枝	柳井	
阿部 康子	日下	三重子
三浦 美代子	イト	ノブコ
中川 美代子	横浜	
佐藤 くに子	浅香	忠雄
高島 喜栄	芦野	糸子
寺島 喜栄	後藤	明弘
東京東	原	義勝
秋葉 高仁	加藤	義勝
青木 千鶴子	河合	正人
春名 昌輝	古財	美子
広田 三枝子	栗山	勇二
中条 正夫	津久井	寿代
重山 義雄	新田	祥二
久保田 金代	新田	文江
渡辺 泰男	新田	正文
田口 悦代	尾形	清信
渡辺 留美	那覇	
渡辺 留美	照屋	林四郎

神 権

阿倍野	アサミ	ヒロオ (執)
モリカワ	トシオ (ク)	
ナカジマ	アキラ (ク)	
ニシカワ	ヨウタロ (ク)	
コレガワ	シュウジ (ク)	
ミヤガワ	キヨシ (教)	
ツノヤマ	テルオ (祭)	
イチミチ	キハチロウ (長)	
旭川		
アオヤマ	テルミ (教)	
タマガイ	アツシ (ク)	
シンタニ	セツオ (ク)	
ワカマツ	ノリオ (長)	
福岡		
ヤノ	ノブヤス (教)	
オサム	イシカワ (ク)	
イマイ	コウイチ (執)	
群馬		
ヤマダ	マシノ	ヒロシ (教)
ヤツマル		(祭)

広島	アオキ	ヨシモリ (執)
ヒキシ	タダヨシ (ク)	
コキ	ノブオ (祭)	
金沢		
イシシロ	マサノブ (祭)	
甲府		
ホシノ	オサム	
イチノセ	フミアキ	
ヤマシタ	タトル	
京都		
カネマル	シヨシ (執)	
ナカムラ	ハルヨシ (ク)	
松本		
ツチャ	タダシ (教)	
イイダ	カズミ (祭)	
名古屋		
ハヤシ	ユタカ (執)	
イワサ	ヒロシ (ク)	
イソムラ	マサヨシ (長)	
ヤタギダ	タカオ (ク)	
岡町		
カマイシ	カズトモ (執)	

三の宮

ヨコタ	カツユキ (執)
ナカガワ	ヒロシ (長)
札幌	
アカマ	ヒロシ (執)
サト	ヨシヨリ (祭)
カワグチ	テツオ (執)
東京東	
ミヤギ	ハルオ (執)
柳井	
フサカ	アキラ (祭)
ヒロツ	ハジメ (執)

吉岡美智子

(仙台支部・二十才)

私が、この教会「末日聖徒イエス・キリスト教会」に入り神を知るよりも信仰を持つよりも前にすっかり気に入ってしまった事は祈りの初めに「御在天の心から愛するお父様」ということばでした。

なぜなら私の父は私が生れてすぐに死んでしまったので私は今だから誰れをも「お父さん」と呼んだことがありませんでした。幼い頃友達にお父さんがいるのを見て私も一度でいいからよんでみたいと何度も思いました。そして今、私は心から愛する天の父を呼ぶことが出来非常に幸せです。

さて、私には神様の力により又私が神様というお方を少しでも知ったことにより人間がこのようにも変わるものかと思ひ何とすばらしい強いものであるかを知りました。

そのすばらしい力によりここに私の新しい人生がスタートし神様を知る前の自分がどんなに親不幸でおろか者であったかを思い知らされます。私は元來皆様に知られているかぎりでは想像すること

は出来ないと思ひますが非常にさびしがりやである悩みのために苦しんでおりました。その気持ちをどうすることも出来ない時なにかにあたりたい気持ちでバカ騒ぎに興じ……しかしそしてそれも静けさに帰った時の自分はますますすみじめでした。

そんなある日この教会を知るきかひがありそこに私の神様を知る道が開けたのです。この教会

に出来るようになつてからの私は神様をたより多くの人々を愛しそして神様はつねに私達をみまもっていて下さるといふことで心の安らぎを感じここに私は大きな収穫をえた気持ちです。その他あらゆる点で私は成長いたしました。ですから私は私の体験をとうして感じるのですがややもすれば悪の道に入りがちなすべての若い青年男女がこの教会に入ることが出来たらどんなにすばらしいかと思ひます。「人は信仰を通して成長する」といふことがあります。これ

読

者だより



白亜の教会堂

小泉 裕 功
(勞働宣教師)

白亜の壁 灰色の屋根
優美に積まれた数種のブロック
青空に突き出た塔
すべては調和をかもし
通る人の心を覆い

は本当だと思ひます。私は神様の力は偉大なほどすばらしく強い事を知り又自分がこの教会のその強い神様の下にふつつかにも働らく一員であることを感謝し、この話を終りたいと思ひます。すべて主イエス・キリストの御名をとうして申上げました。

アーメン

必ず 誰れでも 眺めます。
働く私達も
いつも 美しさにみとれます。
兄弟 姉妹 お友達は
ときめきを覚え
うれしさにみなぎり 叫びます。
まさに
歡喜の時
贊美の時
栄え行く時
奇しきみわざの成就の時です。
この感慨無量の事実を
この大いなる驚嘆を
神の証詞の現われを——
何人が否定することが出来ましようか。
誰れが止めることが出来ましようか。

敬虔なる伴奏の中に
ただ、恍惚と聞きいるばかりです
強い靈感に満たされ
ほんとに、心から幸せを感じます
聖なる御座の天の父の愛を
今したすらに
この胸に深く納めて
主イエスの苦難と慈悲を思えば
感激にむせび涙を止める力を失います。

霜田ノリ子

(東京北支部：二十才)

あなた方のうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に願ひ求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。ただ、うたがわないうで信仰をもって願ひ求めなさい……。

ヤコブ書一章 五、六節

私は、この言葉が真実である事を心の中で良く知って居ります。

今年の四月、母が白内障手術の為千葉医大に入院する際私が二ヶ月ほど付添う事になりました。家から二時間以上もかかる所なので、評判も良く、良い紹介者を得ましたので、結局そこに決めたのです。それまで勤めていた職場の關係上、一月にバプテスマを受けて以来、二、三度聖餐を頂いたさりでしたし不勉強この上なく、私の靈の器は全く貧しい状態でした。そういう時に母の看病という事になり、増々福音から離れてしまうのではと思つて、モルモン經を持つていく事になりました。

安息日毎に十時半になるとお祈りをして教義を勉強致しました。

といつても勿論、豊かな知識などある人は、ろうはずはなく、つくづく普段の不勉強を後悔いたして居りました。五月も中半の安息日の事。数日前より疑問を持つていた教義を、また思い起して居りました。(その事で私の気持は、二、三日の間、居りだち、仕事も手につかないで居りました)モルモン經だけを頼りに、必死になつて行間からその

私がかつてお父様を信じお願い致しました。その時疑うという気持は全く起きませんでした。「こゝうして願ひ求めればお与え下さるのだ」という事しか考えられなかつたのです。祈り終つて、いらだつていた私の心は安らぎを得ました。和やかな氣持になりふとモルモン經に手をとり、何気なく開いた所を見ると、そこにこの数日間思い続けてきた疑問をとぎあかす聖句を発見したので、私は感謝と感激にうち震えながら繰返し繰返し読みました。「お父様は私の様な者にまでも、御心を掛けていて下さるのだなあ」と胸がいばいになり、泣けてしまいました。単調な病院生活で一時はノイローゼになってしまひ、母を恨む氣さえ起した私ですが、それは愚などんでもない事でした。神様は、あの言葉が真実である事を教えて下さるために、私を病院へおやりになったので、数々の恵を受ける事が出来、

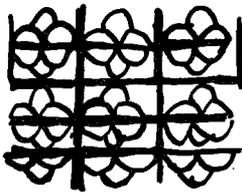
「読者だより」応募規定

1. 内容自由
2. 原稿用紙二枚以上
3. 支部名、氏名、年令

明記

「私達は祈る時、神様は此の祈りに答えて下さらなければならぬのだと思つて祈り、祈り終つたらこの祈りをきいてもらう責任は自分にあると思つて一生懸命働け」とある方がおっしゃいました。いつもそう有りたいと思います。私は、末日聖徒イエス・キリスト教会にある神権は、誠に神より人間に委託されたものである事を確信して居ります。全て御子イエス・キリストの御名によりて申しました。アーメン。

答を得ようと頁をくつてみました。何も得られませんが、その時、私は家庭集會中、宣教師から頂いたカードのあの聖句を思い出しました。あなた方のうち、知恵に不足している者があれば……お祈り致しました。本心に心からお祈り致しました。あまり理屈屋で強情に、そして強い証を持たせるため



訪問教師のメッセージ

(千九百六十三年十二月の第一週に)

私たちの死者(先祖)をたずねる

予言者たちは私たちが先祖なくして完成されないことを教えて来ました。救いの計画は福音の知識なくして死んだ人も同じように聞けるように考えられているのであります。そして若し彼らが受入れるなら彼らも又永遠の生命の賜を受けることが出来るのであります

ペテロは第一の手紙の中でこのことをはっきりさせて居ります。
 死人にさえ福音が宣べ伝えられたのは彼らは肉に於ては人間としてさばきを受けるが、霊においては神に従って生きるようになるためである。(ペテロの第一の手紙 四・六)
 福音は変わりません。生ける者の救いの為に適用されると同一の原則、儀式、条件が死者にも適用されます。福音がこの地上に存在しない時に生存したか又は生存中にそれを聞く機会がなかった死者も、若し彼らが永遠の生命を得ようとするならば同様に神殿の儀式を受けなければなりません。彼らの為にこれら

の祝福を得るのに一つの道があります。それは生者による代理の儀式を通じてであり、主の家は秩序の家でありますから、死者は正しく身分証明されねばなりません。儀式を施すべき死者の重要な統計事項が発見され証明されねばなりません。

貴方の先祖の状態は如何ですか？ 貴方はこの大切な探求の仕事を始めていますか？

若しまだ始めていないならいつ始めるつもりですか？ 若しも神殿に行くなら探求に応じて貴方は貴方自身の先祖の為に働らくのです。貴方はこの特権を楽しむことが出来ますか？

神殿を開けて働かせるには多くの探求の完成が必要であります。或場合には代理の仕事の完成よりも探求の方が時間がかかります。それに加えて探求者は屢々、各氏名を確保する毎に若干の代価を支払わねばなりません。

神殿に行つて死者の為の仕事をする事は高い霊的な経験でありまして私たち各人はそれが殆ど出来るように計画すべきであります。私たちが求めている神殿に行く平和な喜びが若し、直接私たちの先祖に対してでなく誰か

他の人の為に働らくことからもたらされているとしたら、私たちは無視しているのではないのでしょうか？、神殿に行くことによって最大な祝福を得られる道は私たち自身の死者の為に仕事をするのであります。若しも私たちが彼らの為に何もしなかったら私たちがこの世を去つて行く時に私たちの死んだ先祖からどのようにして迎えられるでしょうか？

或人たちはその家族の系図探求に決して成功しないかも知れません。けれども私たちは決してこの責任から解放されることなく探求を続けるべきであります。

今日、いろいろの施設を利用出来るようになりましてので以前よりも探求が容易になりました。以前よりもより多くの記録が可能となつて居ります。教会の記録のマイクロフィルム化、国の内外に於ける主要経歴統計などが私たちに優秀な資料を提供して居ります。若しも私たちが探求に成功しましたら探求途上で壁におつかつて時間のある、多くの人たちが私たちの神殿の仕事を援けようとして待つて居るのであります。

第一長老定員会

本年は寒さが早く到来している様です。第一長老定員会の皆様御元氣にてお過ごしでしょうか、去る九月二十八、二十九日は新装なった東京北支部の会堂に於いて東地方部大会が盛大裡に催され又八人の大神権者が誕生しました、日進月歩の当道部、本當に心強い限りであります。これは

宣教師はもとより多くの指導者の献身的な活動の賜と信じています。しかし今までの当道部に於ける活動は全く變則的なものであつたのです。何故なら本来教会は二つの分野に於いて活動して行かねばならないのです。即ち指導者組織と神権組織活動のみが行われて来たのであります。

本當に我々が多くの靈的は祝福又物的祝福を受け又与える為には神権組織が主体になつて活動していかなければならないのです。

最近各地でステーク部ムードが湧き上つています。又實際伝道部長はじめ各地方部長又巡回宣教師らが主になって早くステーク部が出来来る様に努力しておられる様であります。

ステーク部になれば神殿の事業はじめ諸々の靈的活動又宣教師活動も一段と活潑になり地方福祉計画も実現し物的な祝福を受ける機会にも恵まれるのでありますがこの様な仕事はすべて神権組織の責任になつて来るのであります。この様な面から考えてみますと神権組織こそこの教会のバックボーンであらねばならぬと思つております。

この地に長老定員会が組織されて早や三年になろうとしております。これからは組織も大體確立しましたので我々各員が神権とその組織の重要性を認謝して出来るだけ神の御業達成の為に努力して行きたいものであります。次に現在計画している事柄について若干のべてみます。

先づ京浜地区は大体月二回のグループブリーダーのセミナーを開き京浜地区グループの活動を充実させ又各支部の団結力を強めこれが京浜地区の発展の一翼になう様にするこ

と。又地方のグループブリーダーには二カ月に一回位京浜地区に集結して合同のセミナーを開きこの効果も發揮したいと考えています。北海道地方部は北山兄弟を中心にして独自でやつて頂きます。

次に来年の八月頃に定員会のシンポジウムを聞く計画であります。これは第一副会長の山田義郎兄弟が今草案を作成していますので出来次第皆様に発表します。

第三は来る十二月四日(水)にリキスポートパレス(プロレスラー力道山経邑)に於いて

楽団バッキー白片とアロハ、ハワイアンズで大ダンスパーティーを定員会ダンスソサエティ主催で行い相当多額の収益を予想しています。これを機会に資金調達委員が具体的に又活潑に動きはじめ定員会活動がより円滑に行われる様に計画しております。その節は皆様の御協力を切に願ひします。

定員会会長の各自の責任分担を発表してをきます。

役職	姓名	所属支部	責任
會長	堀田秀司	東京南支部	総括責任
第一副會長	山田義郎	東京中央支部	文化活動並に組織
第二副會長	中村利雄	東京南支部	福音研究活動
書記	相良健一	横浜支部	記録並に資金調達
會長候補佐	北山栄通	札幌支部	北海道地方総括責任

尚この他に各委員を近い中に任命したいと思つております。

定員会会員と家族に主の豊かな御恵と導きがあります様に祈つています。

阿倍野福岡 広島 金沢 京都 第二長老定員会 岡町 岡山 三ノ宮 柳井

永らく定員会会長として定員会発展のため働られた渡辺驥兄弟は、今度副伝道部長として新しい召しを受けられましたので会長会が新しく次の様に組織され去る八月二十五日の西中央地方部地区大会に於き福岡、大阪の両地で支持を受け、伝道部長会によって、按手聖任されました。

第二長老定員会会長 坂本吉章（岡町）

第一副会長 成田好和（名古屋）

第二副会長 阿部初男（岡町）

私共は新らしく会長会として皆様の支持を頂き、この責任の重大性を一層強く感じております。今後共皆様の良き助言を受けることが出来るように希望していますので、岡町支部内第二長老定員会事務室まで御意見等をお知らせ下さい。

ピクニック

長老定員会では九月二十四日京阪神地区の

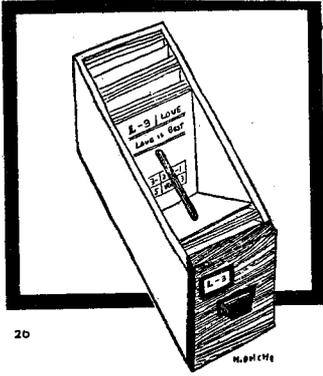
グループリーダーと協力して秋空の爽やかな天氣に恵まれ神戸市水道の源である千疋貯水池に楽しい一日を過しました。

会長会としては初めての催しであり参加者を百名として計画を考えておりましたが当日京都支部が別の計画を持って不参加となりましたが、当日駅から目的地迄の道程長蛇の列が並び参加者は百七十名余の大集団となり定員会が用意した缶詰、菓子類は子供達から求道者、会員と順次配られました。主権者の長老達から行き届かない苦情が笑顔で聞かれる有様でした。

参加者それぞれダンスにゲームに又談笑に楽しい愉快な時間でした。

将来長老となり、或は良き協力者となる若人の姿は天父が生きて居り給うとの強い証詞に感じられました。

系図の道しるべ



記念の書

(東京北支部系図委員会会長 斎藤稔男)

系図探求の目的は勿論皆さんの先祖や其他の親戚の姓名を探り研究し、教会の系図記録文庫に送って神殿でこれらの人々に対して、適切な儀式を執行してもらおう事ですが、皆さん、そこで、私の存在を忘れないで下さい。私は誰ですか？ 私の名は記念の書です。又の名は覚えの書といえます。

私の使命は、皆さんの家庭環境の感覚を把握して、興味ある情報特に皆さん自身及び皆さんの子孫に価値ある重要事項を、靈感を与えるように、神聖な記録として書き綴ることなのです。そして私は、皆さんが個性を生かして作って下さる事を望んでおります。

私は、六枚の白い着物(白紙)をまとい、そこに皆さんのバプテスマの証明書・出生証明書・神権聖任証明書又は結婚証明書等々それに付け加え、皆さん自身の写真、家族の写真等を、私にさせて下さい。そのようにして着かざった私は、責任を持って皆さんの子孫へ、子孫へと皆さんを伝え、伝えることによって私は成長し、だんだんと厚い書物に育っていくわけなのです。

こんなに大切である私は、往々にして皆さんから目を離され、いつも教会の片隅に捨て置かれてしまい、皆さんの前に表われてゆく機会がなかったのです。そんなこんなで皆さんとの間が遠ざかってゆくばかりでしたが、幸にして兄弟により、私もやっとひのめを見れる状態になり、今日こうして東京北支部の十数人の兄弟姉妹の前に、明るい顔を出すことが出来たのです。

私は東京北支部系図委員会の兄弟姉妹の手によって次のようなものを用意されました。

一人に付き板目紙……………四枚(単価拾円)
画用紙……………六枚(単価五円)
個人の記録……………一枚(単価参円)
系図の用紙……………二枚(単価参円)
家族史誌……………二枚(単価参円)
家族の記録……………二枚(単価参円)
これだけの用紙を整え、又私を一冊の書とする為に、

一人に付きリボン……………三十センチ

(兄弟には緑色、姉妹には赤)

色穴あけ器又は千枚通し……………二つ

糊……………(五拾円)……………一つ

筆・絵ノ具・定規・鉛筆等

を準備し、とりあえず十五人分だけ作れる

ように何もかも用意され、私は初秋の気がひしひと追る九月八日(第二日曜日)武蔵野ドレメの地下(東京北支部日曜学校集会所)に於いて、一冊の書として皆さんに永遠に保存して戴けるように、身体が出来上ったのです。

1 板目紙二枚を一組とし(一枚ですと表紙として弱い為)表紙を作る為に糊付けし貼り合わせ二組の厚紙を作る。

(注) 折り曲げが容易に出来る様、穴をあけてある側二センチないし二・五センチ折っておくとよい。

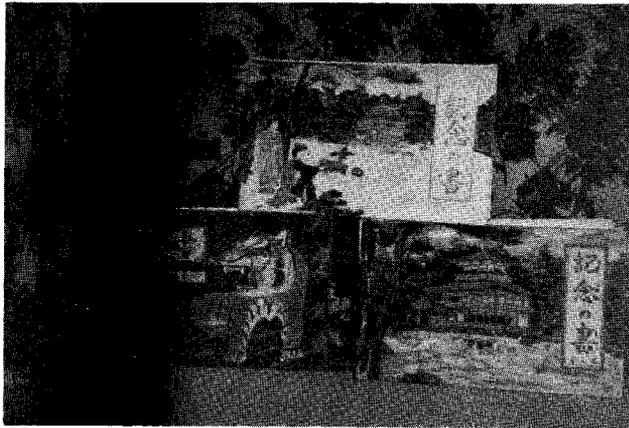
2 二組の厚紙が出来るとその一組に表紙書きをする。

記念の書又は覚えの書又は Book of Remembrance と表題を書き、又最低名前も書く。あとは余白に絵を描くなりして個性を生かした表紙を作る。

3 表紙が出来上ると組み合わせにうつる訳ですが。

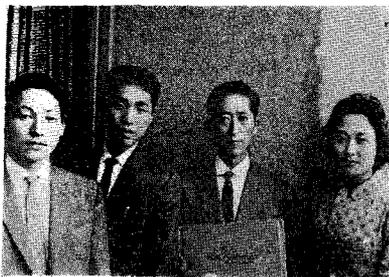
まず画用紙六枚が私の使命である白衣として表紙の次に、その後、個人の記録系図の用紙、家族の記録、家族史誌の順にはさみ込む。

4 一組に組み合わせたらいいよ仕上げ



表紙にあわせ、穴を完全にあげ、リボンで結び、仕上げる。
私は、総費用金九拾壹円で出来上がる訳なのですが、支部の兄弟姉妹には金百円也で作って戴き、残りの九円分は東京北部系図委員会の費用にまわされることになりました。

このようにして私は作り出され、皆さんに活用されます事を本当に感謝しております。
一時間猶余の時間をかけ、皆さんの個性を持って作り出された私は、未代迄の記念となり、私の名は永遠に消える事なく、記念の書として残る事でしよう。
一つ他の支部の兄弟、姉妹も私を作って保存して下さい。





子供日曜学校ガイド

12 月 用

子供達にとって、色々と、美しい夢をえがくクリスマスがやってまいりました。そろそろ早い支部ではその準備にかかったことと思われれます。毎年のことながら、この時期には子供の数が増えてまいります。出来ることなら各人に一つずつ責任を与え、劇、歌、紙芝居、そしてフランクフルト等に参加出来るよう取計ってください。

当日のプログラムは、各支部にて作製されましようが、一応、六二年度、十一月号を参考までに御覧になってください、注意事項も読まれるようお願いいたします。

次に載せましたものは、上級の生徒さんには是非作ってもらいたい絵物語です。そして下級生にみせてあげてください。物語は『ボウヨミ』にならないよう、先生がたはよく導いてあげてください。

指人形劇（教材）

三匹の子ぶた

ここはお山のお山のそのまたお山のそのまた遠く

楽しい村で知られたビッグ村という所

小春日よりのあたたかい日に

三匹の子ぶたが遊んでいます

何時も三匹は一緒

遊ぶ時も勉強をする時も

すぐに笑い出すケラ子さん

ころころふとった丸夫君

せいたかのっぱの長助君

今日も今日とて三匹が

ヒソヒソ話で何事か

楽しそうにうれしそうに

ああでもないこうでもない
と相談をしています

いったい何が始まるのでしょう

オヤオヤ

長助さんがポント手を打ち

そうだそうだこれにしようといいました

長助さんの云うことにや

野原も畑も山々も今はとても暖か

どこでも遊んでいられるが

やがて暑い夏がきて

涼しい遊び場はしくなる

暑い暑いと云ううちに

すぐに嵐を向えます

どんなに強い雨風にも

しっかりと僕たち守ってくれる

そんな遊び場欲しくなる

だんだん木の葉もサヨウナラ

坊主頭のその上に

白い冷たい綿ボウシ

ふんわりそーとかぶせませす

寒い寒いと首すくめずに暖かい遊び場欲しくなるそこで僕は考えた今のうちからしつかりと遊び場作っておきましょうと

丸夫君もケラ子さんも大喜びで賛成です

すぐに作り始めましょう

丸夫君は

ドロンコいじりが大好きで素敵なアイデア浮びました

ケラ子さんは

ケラケラと頭の中で可愛いお家が

出来ました

長助さんはゆっくりとどんな家にしようかとあれやこれやと考えます

「ネエ皆んな

皆な別々のお家を造ろうよ

その方がお客様ごっこも出来るだろう」と丸夫君

「ホントニそうネ

それも又面白いわ」とケラ子さん「そうだア

ジャ皆な別々に

自分の家を建てようネ」と長助君

そこで皆なそろって家造り

せつせと始めましたとサ

丸夫君はドロンコを

鼻歌まじりのケラ子さん

カゴにいっぱい葉っぱをもつて

ウンコラシヨドッコイシヨ

ひたいに汗をにじませて

レンガを運ぶ長助君

三匹の子ぶたは一生懸命

自分の家を造るのに

脇目もふらずに働きます

とうとうお家も出来ました

ドロンコの丸いお家は丸夫君

木の葉のお家はケラ子さん

色んな型のハツパが並ぶ

おしゃれのケラ子さんにふさわしいお家が出来ました

三匹の子ぶたは喜んで

お客さんごっこやかれんぼ

楽しく過すそのうちに

何時の間にやら

雲が出てあやしい風が

ビュービュー

何んでも知ってる長助君

「フムフムこれはどおやらあれてくる

台風が近づいているぞ」

ビュービュー

木の葉もとつせん舞いあがり

上にのぼったかと思うと

サート下に下りてくる

大粒の雨がぼつんぼつん

しだいに数をまし

まるで滝のように

ザアザアと

いままで静かだった

この村も急に

さわがしくなりました

そして夜もしだいに

更けてゆきます

三匹の子ぶたは嵐のすむまで

長助君の家で

まつことになりました

東の空が赤々と

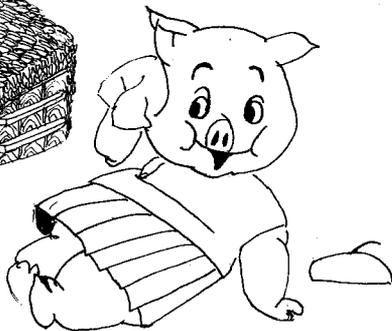
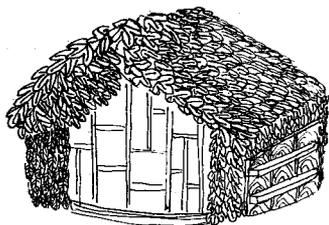
暖かに太陽が昇り始める頃
嵐もいずこへか
去りました

そうこうするうちに
だんだんとえりまき
恋しくなりました
いちようさんもみじさんも
美しいお洋服と変ります

寒い寒い北のお国から
冷たい北風さんが顔だして
皆さん今日はお元氣かネ
と呼んでいます

そして白い可愛い
雪こんこんが舞をまいつつ
降ってきます あたり一面真白け
ふんわりふんわり雪さんが
真綿のオフトンしています
三匹の子ぶたはもう外で遊ばせん
長助君のお家で仲良く
クリスマス準備です
まっかに燃えただんろの側に
きれいな飾りをたくさんつけて
プレゼントをソーとしかかえた
クリスマスツリー
ニコニコ皆さんをみつめています
三匹の子ぶたは日曜学校で習った
聖しの夜の歌を口をそろえて歌っています
静かに静かに夜は更けてゆきます

窓越しにすーと通る雪さんも
仲良し三匹の子ぶたをみてニコニコしながら
舞ってます
三匹の子ぶたは心からイエス様のお誕生をお祝いしましたとサ



日曜学校ガイド

十二月用

一九六四年度テキスト

全支部役員、教師へ

いよいよ年末になり、あわただしい日を伝道部日曜学校会長委員は過している一つには来年のテキストの整備、翻訳、予約注文、送付などです。このように準備して待っても最近、日曜学校にテキストをもってこない会員が目につき大変残念に思っております。学校に行くのにテキスト、ノート、ペンをもつていかない学生はおるでしょうか？ あなたの支部では訪問者を除いたすべての会員が、真の日曜学校の生徒としての自覚をもつよう注意して下さい。

今年の十一月、十二月の日曜学校のテーマは是非「日曜学校には、聖典、ノート、テキスト、ペンを持ってこよう」を旗印にして大きな効果をあげ、今年の最後を飾ろうではありませんか。

又伝道部日曜学校もこの企画に、次の点で皆様方に協力したいと思っております。

- 1 テキストは誰でも買える手頃な値段に
- 2 出版した本は仕方がないとしても、新しく翻訳したもの、再版するものは、やさしく、読み易い日本語を用いる。
- 3 資料のついた日曜学校ノートを実費より安く皆様に提供する。
- 4 欲しいと思ったらすぐ支部内で買える

ように、支部内にも各五冊〜十冊を在庫して頂く。(今支部長さんをお願いしております)まず、多分許可して下さいさるはずですが

5 注文を頂いたらすぐ送付できるように伝道部では準備しておく。

今年度は去年のように見本はお送りしません。新しいのは「奇しきみわざ(下)」で、しかもこの内容装丁は(上)と殆んど同じです。皆様の御存知だと思います。

来年度のテキストは次の通りで、十一月中に各クラスで注文をとり、前金で十二月五日までに本部に、支部長を通して申し込んで下さい。

- A コース(十二才〜十四才) 中学生 百円
- B コース(十五才〜十七才) 百円
- C コース(十八才以上) 求道者、一年未満の会員のクラス「福音の紹介」二百円
- D コース(十八才以上) 系図のクラス「家督権の祝福」百円
- E コース(十八才以上) ゴスペルクラス「奇しきみわざ(下)」二百円
- ノート 全員がもつ 二十円

「練習の讚美歌」の著者変る

今まで長い間、書いて頂いたのは北支部の山岸清子姉で今度アメリカに留学するため執筆不能となりました。今までの永い間の

御奉仕を感謝し、元気に帰国されることを祈りたいと思います。十二月より中央支部の高柳亜貴子姉姉がこの欄を書いて頂くことになりました。高柳姉姉は武蔵野音楽大学卒業でピアノを専攻なさいます。会社の仕事を生かして、よりよい指導をして下さると思います。

クリスマス特別プログラム

残念ながらソルトレックの本部からの指示が未だにありませんので、今年度は各支部で適当に考えてやって下さい。聖徒の道では毎年十月号に載せておりますので御参考にして下さい。日曜学校中央管理会から指示がありましたら、直ぐに各支部へ翻訳しますので、期待しないで(?) 待って下さい。

日曜学校ハンドブック

だいぶ遅れましたが漸く刊行できるようになりました。値段、注文は追ってお知らせ致します。

教師養成会

現在伝道部でテキストを作成中で来年春までに刊行したいと思っております。聖徒の道に載せた資料、チャート、地図、年表などを附録にした教師として最低限必要なテクニック及び基本的な福音の知識、文献の調べ方、などが主なテーマで各支部で一日一時間十回やれるように組みたいと思っております。

MIA Leader



教師養成用レッスン

良く教え、指導する為の六つの基本的標準

第五課（前月号の続き）

かくて、生徒達の振る舞いを変えようとする教師は、何時も物語りや喩え話、例証等生徒達にふさわしいものに注意をして、彼等が自分達の生活に少しでもその内容を生かして呉れるようにと期待するのである。ソルトレークバレーのグラニット高等学校や末日聖徒の大学、その他、いろいろの学校で教鞭をとっていたジェームス・E・モース氏は彼の物語りや話を使って生活の中に福音をとり入れることにかけては名人であった。彼の昔の教え子達はお互いに会うと恩師の噂をし、彼がよく口にした言葉を引き合いに出したりした。それは次のような言葉である。

弁解をするのが上手な者は何もしないのが得意である。習慣は麻ロープのようなものである。毎日、その麻ロープの一本、一本を織ることによって誰も切ることの出来ない丈夫なロープにする事が出来る。

私は、曾って日曜学校で十代の少年達の教師をしていたエバ・リンドキスト姉妹の事を

思い出す。月一度の証詞会では日曜学校のクラスを回るのが彼女の習慣となっていた。若し教師が単に「今日は皆さん一人残らず証詞をして下さい」と云えば、少年達だけのこのクラスでは一ざんげん言が起るだろうと思います。

リンドキスト姉妹はもっと賢明な指導をした。その方法は間接的であって、我々がいろいろな経験な思い起させて呉れるように導いた。彼女は証詞に就ては何も云わなかった。彼女はただ「私は皆さんの一人、一人があなた方の御両親、兄弟、姉妹などの肉親を除いて、最も好きな人に就て話してみなさい。また、その理由を述べなさい」とだけ云った。

そこでクラスの子供達は素晴らしい人々を考え出してその人に就て語り合った。人格に注意の焦点を合らし、その人に尊敬の念を払う立証をさせる方法は子供達を無意識のうちにそのような人間になりたい、と云う願いを抱かれる因となったのである。全く自由に、ほんのわずかな指導だけで、教師の故意の暗示によつて、我々に真実の理想像を選ばせるように仕向けてしまふのであった。今日まで、私は日曜学校で話をする時はいつもあの教師を思い出し、愛し、尊敬し、理想化して話すの

である。この素晴らしい教師こそ私に理想像を
発見させる手助けをして呉れたのである。

経験を通して教えること

経験は偉大な教師である。ある人がこんな
事を云った事がある―私はもつと甘く評価し
たいが―人間は聞いたうちの10%を覚え、見
るものの50%、実際に行う90%を記憶に留め
ておく。兎に角、人生は記憶の積み立てであ
る。福音の原則も生活の良き習慣も熟知する
ように経験しなければならぬ。理解するこ
とは大切であるが、これもまた、経験と共に
もたらされるものである。福音に生きるよう
に生徒達を指導しようとする教師は、福音の
ような経験をさせるように仕向けなければ
ならない。福音の原則に生きる事によって、
それを知らうと導かれる人は福音の原則に報
われるのが解る、と云う信仰を持っている。
また、燃えるような信仰、悔い改めから得
られる一切のもの、施しや崇拜や他の人達を
幸わせにする喜びを知るであろう。福音は依
頼感、自由、自尊等の人間の根本的な欲望を
満足させて呉れる。福音生活は人間の生来の
欲望を実現し、直接、満足させて呉れるので
ある。アミュレクの言葉はその事を如実に表
している。

私のはらからよ。あなたたちはすでにこ
のように多くの証拠を得て、聖文にもこれ
らのことを証拠立てている所があると認め
たから、道を踏んで悔改めの実を結んでも
らいたい。また、あなたたちが道を踏んで
この上心をかたくなにしないで欲しい。ご
らん、今こそあなたたちの救われる時であ
って、しかもまたその救いの日である。そ
れであるから、もし悔い改めて心をかたく
なれないならば、偉大な贖いの計画はす
ぐにあなたたちにその効果を及ぼすであ
ろう。(アルマ書34章31、32節)

事実、宣教師達は信仰を深めていく。何故
なら、彼等は信仰を培う環境に置かれてい
からである。監督、大祭司らは愛の奉仕を進
めている。彼等の職場は奉仕の職場だからで
ある。母親達は自己を捨てて犠牲の精神を学
ぶ。かくの如くして生徒達は信仰、奉仕、犠
牲を経験するように導かれなければならぬ
。これこそイエス・キリストの行動面に於
ける福音なのである。

私は、反抗的でけんか好きな十四才の息子
を持ってほとほと手を焼いていたある家族を
知っていた。両親は子供に近付けないので途
方にくれていた。彼は家族や教会や上の両者

が賛成するものには明らかに反抗した。兩
親の界限の無い説教も全く徒勞に終ってしま
った。

そんな或る日、父親は急病に罹って、重態
に陥り、二、三ヶ月後に他界してしまった。
病気の間、父親は息子に何も教えようとはし
なかった。そうする必要がなかった。息子の
善なるものの全てが目前に現われたからであ
った。彼は強制されることなく助け、働いて
家庭にあって父親の代りをしたのである。家
族の収入を手助けする為仕事を待た。彼の父
や母に喜びと安心をもたらす為に試みないも
のは何も無かった。

何とかして教師は生徒達に信仰、礼拝、愛
奉仕、兄弟愛の経験を持たせるよう指導せね
ばならない。週日に開かれるMIAはプログ
ラムのあらゆる活動を具体化し、経験を通し
て宗教を知るよう、人々を導かなければなら
ない。次の事は実践されなければならない幾
つかの例証である。(来月号に続く)

佐藤要二訳

二月十三日 エンサイン活動計画 III

十二月からはじまった「活動計画」ですが
今年八月迄に五回あります。今月は丁度、
三回目で、真中にあたり、そろそろ活動の成

果や目標についての目鼻がついてきたと思えます。各支部のエンサインの方々が、前進している姿は、将来のこの教会の姿を見るようで、実に頼しいものです。慈善活動をしている支部、支部予質を作っている支部、或は、知識を広めるために多くのことを見学して歩いている支部、色々あると思います。免角何かやっていると言うこと、じっとしていないで、何かをやっているということ、それが若い人達の特長なのです。私達が何かをすることによって、今よりも更に多くのものを知ることが出来、理解することが出来て、我々の知識は増して行くのです。エンサインの指導者は、彼等の方向が正しい方に向いているかどうか、また、彼等の質問や相談の良き相手になって、その活動を見守り導いて下さい。

(E記)

ローレル「アダバール」

今月は智慧の真珠をつける月です。「エンサイン・ローレルの手引き」112頁、113頁を参照して下さい。

二月二十七日 「年令別一般活動」

Mメン・グリーンナー

この日はMメンと、グリーンナーが別れてクラスを聞きます。少くとも一ヶ月前にクラス

の人達が何をしたいかと言うことを知っているなければなりません。Mメン・グリーンナー・クラスのリーダーは、早くから計画を立てて委員を選び、準備して下さい。今迄、Mメンと、グリーンナーが別れて活動することはありませんでしたので、こんな機会に、女性はモルモンとしての女性のあり方、男性は、神権者としての男性のあり方などを話し合うのも良いチャンスでしょう。時間が充分ありますので、単なるオシャベリの会にならない様に計画して下さい。Mメンと、グリーンナーがそれぞれ異なったものをやりたいと、日頃意見が対立している支部があるとすれば、この日の来るのが待ち遠しいことでしょうね。

エンサイン

三月は春の訪れと言われています。戸外のスポーツも盛んになって来ます。これから八月迄に行われるスポーツのことを考えて、練習のこと、どの支部と試合をするか等この日に計画して下さい。それぞれ、やりたいスポーツについて話し合ったり、知人の中に良いコーチャーがいるかどうか考えてみたり祭日を利用してピクニックとスポーツをいっしょにやることを計画したり、或は、今から計画して貯金し、汽車に乗って近い支部に試

合に出かけるのもいいではありませんか、エンサインにとって春休みや夏休みは、こんなことのためにまたとないチャンスのように思えます。それ等のためには、よく準備し計画を完全に立てておかなければなりません。試合を申込む手紙を書いたり、皆で資金集めのアルバイトをさがしたり、計画を立てる時は、リーダーが共にその席にいて、彼等にとつてむづかし過ぎたり、教会の標準からはずれていたりした時は、それを指導して下さい。計画会に、少しのお菓子と麦湯などを用意すると、なごやかな雰囲気やれるかもしれませんね。

ローレル

ローレルにとって、とても嬉しいひとときになることでしょうね。冬の夜静かに手芸をするのはとってもいいものです。手芸には色々なものがあります、幾つかのものをあげてみましょう。

糸糸編・レース編・マンダリアン編み・日本刺繍や、フランス刺繍、スエーデン刺繍・木彫・モザイク・染物・ビーズ細工・陶器やガラス細工も手工芸品と言われるでしょう。とにかく、MIAの夜にやれるものを選んで

(70頁に続く)



ペギー・ヒュイシ・アンダーセン姉妹

今から十五年以上前、私は走る車の前部の座席に、二人の青年の間に席を占めて居りました。私の心はしあわせていっばいでした。というのは、私は車を走らせている青年に愛の心持ちを持っていたからであり、またその青年の兄弟であるもう一人の青年にはすばらしい心からの友情を持っていたからであります。私たちはこの時この二人の立派な青年のお母さまと週末を過しに行く途中でありましたけれども、私の胸には一抹の不安がありました。「そのお母さまはどんな方か知ら」、「その方は私のことを良い女だと思つて下さるか知ら」と私は自分で自分にたずねました。間もなく私は、私の胸を走りすぎたこれらの考えに対する答えの一部分を得ました。というの、私たちが美しい花や常緑樹やいろいろな木にかこまれた白い石造建築の家の屋敷内の車道に車を留めたからであります。当時私の心をとらえていた青年は、そ

のなつかしい家の居間へ私をさらうようにして連れて行きました。が、私たちはそのときへや着とエプロン姿で静かに掃除をしていた女の方にもうすこしで突き当るばかりでした。この方が家事をすることに慣れておいでになって、しかもそれを楽しんでおいでになったことはよくわかりました。あとからわかったことですが、その美しい居間の中にあるほとんど全部がその方自身の手になる物でありました。この方の私になさった挨拶は物しずかで愛想のよい挨拶でしたが、たしかに私の思っていた通りではありませんでした。それとほとんど同時に私はお父さまに紹介されましたが、お父さまが私を生けんめいもてなして下さいましたので私はひじょうに気持ちが悪くなりました。

その週末のうちに私はいろいろの発見をしました。が、それによって私は大へん感動しました。ここに、家族の者一人一人にあふれるばかりの理解と愛がある家庭がありました。ここに、互いに信じて合つて事を行ない、そしてその子供たちにあらゆる福音の原則を教えただばかりでなく自分たちもその原則を完全に実行した夫婦がありました。ここに、その子供たちと互いの考えも感情も知らせ合った夫婦がありました。その感情も考えも悲しさも嬉しさもみな自由に発表されて大きな幸福がありました。お父さまは通常最も言うことに遠慮しない、支配的な親でありましたが、日々交際をつづけて行くうちに、私は間もなく第一印象が必ずしも真相を語っていないことを発見しました。私はそのお母さまである家庭を作る人、その家庭の女王であるお方からも偉大な力がでて来ているのを知りようになりました。そのお父さまは、神権の威厳によって家庭を管理し皆から愛され尊敬されておいでになりましたが、大い教会の仕事と

町の活動をするために家を留守にしていच्छやいました。それで、このお母さまは家に居て正しい生き方をその子供たちに教育なさったの實、あまり時のたたないうちにこのすばらしいお母さまの能力と長所とがみつかりました。

それから、その始めてのきわめて興味のある週末からもう何年もたちました。そして、一年一年が過ぎて行く度、ことに、私の夫の人格をつくり上げたこの女の方を私はますます愛するようになりしました。本当にこの女の方こそ、ダウエン・N・アンダーセン伝道部長その人のうしろにいらच्छやるお母さままであります。

間もなく伝道部長のお母さまは、このすばらしい日本を訪問するために伝道本部へ来て私たちの所で滞在なさいました。私たちはあなたがた会員の方やお友だちの方がみないろいろな大会でお目にかかって下さりたいと思つて居ります。そして、お母さまが、私たちがこの極東の地に居ることをなせそんなに幸福に思っているかもとよくわかつて下さいますために、あなたがたみなさまと知り合いになつていただきたいと思つて居ります。

扶助協会という組織にはいろいろ大きな目的がありますが、そのうちの一つは末日聖徒である女性を訓練してイスラエルの眞の母親とすることであり、母親たちがその子供たちに福音の原則を教える手助けをすることであり、また家庭の中で主なる神さまの前に、模範を示すことであります。あなたがたの伝道部長のお母さまであるオラ・N・アンダーセン夫人はこれらのことを十二分になさいました。最近アメリカで、お母さまは國家の最高賞をお受けになりました。毎年、その年の「アメリカの母親」となるためアメリカのすべての婦人の中から最もすぐれた婦人を選ぶコンテストがあります。

このコンテストを首尾よく行なうために、各州は國のコンテストでその州を代表する婦人を一人、州のコンテストで選びます。オラ・N・アンダーセン夫人はその年の「ユタの母親」としてまず選ばれました。お母さまは、教会の中で立派な名聲のあるすばらしい末日聖徒の婦人であるたくさんのすぐれた方の中から選ばれなされたのでそのこと自身が大へんな名譽であります。このように選ばれなされたので、お母さまはニューヨークへ行って、アメリカ國中から選ばれた五十人の相手と共にコンテストへ御出になりました。このコンテストに出た一人一人は、アメリカ合衆國の各州とハワイおよびアラスカを代表する方々でありました。そして全國の集會で、そこに集つた五十人の婦人の中からさらに選ばれた最高の榮譽を荷う五人の婦人の中の一人となり「家政の技術に特別熟練していること」に対して特別の感状をお受けになりました。お母さまは「その年のアメリカの母親」につぐ最初の次点者でありました。ユタ州で「その年の母親」として選ばれなされた時には、「母性のかげやき」をあらわす小さな像をお受けになりました。そして全國の集會では「その年の母親」が発表される直前にとくべつの感状をお受けになったのであります。

お母さまの生涯は、これらの立派な名譽にふさわしいものとしてそれ自身が語つています。アンダーセン夫人は自分の子供たちに行なえと教えたような生活、とりもなおさず独立の生活を現在送つていらच्छやるお方でありました。お父さまのデビッド・O・アンダーセンさまはちょうど五年前にお亡くなりになりました。そして、お母さまはユタ州ブリガム市にある自宅でひとり暮らしていच्छやいます。お母さまは男女合せて七人の子持ちであつて孫が二十

七人あります。そして自分の大きな名譽を發表されたことに対して次のようにお答えになりました。「わたし困りましたわ。ほかにたくさん立派なお母さま方がいらっしやるんですけど、困りましたわ、ほんとに」。お母さまはまた母親の受ける困難について解説しておっしゃいました、「私は女の子の方が男の子よりも育て易いと思います。ほかの方はそう

はお思いにならないかも知れませんが、私は女の子よりも男の子の方をたくさん持ちました。男の子は女の子よりも家を離れて出て行くのが普通ですが、女の子はいつも家の近くに居ります」。新聞記者たちにかこまれていろいろ聞かれたとき、母親として最も幸福であったときは「自分の子供たちがみな愛らしい相手と結婚するのを見たとき」。

一番悲しかったのは「夫と死にわかれたとき」とおっしゃいました。

お母さまは、高等学校時代の意中の人と結婚なさいましたが、花むこは結婚してわずか二週間で第一世界大戦に出征したのでありません。その結婚は神殿結婚でありまして、この美しい神殿結婚はそれ以来お母さまにとって力の大きな源になって居ります。それ



はすべての子供たちに、その両親とお互いとは一層密接に結び合わされると感じさせる大きな要素になって居ります。子供たちの一人が、永遠にこの美しい家族関係で結び合わされることを待ちのぞんでいるからであります。母親がその子たちから受けることのできる一番立派なおくり物は、その子たちが世の中の人々にとって役に立つ模範的の生活をするということ

とあります。これはお母さまの子供たちについても言うことができず。お母さまのお生みになった七人の子供たちはみな神殿で結婚しました。七人のうち六人は大学卒業の資格を持ち、一人は完成した音楽家でありました。子供たちのことを一々挙げると、ニードは四人の子供の母親、ブリガムヤング大学の優等生としてB・S・の資格を受ける。ダウエンは長男、北部極東伝道部・伝道部長、四人の子供の父親、ブリガムヤング大学でB・A・およびM・A

の資格を受ける。カルマは六人の子供の母親で有資格看護婦。オードルは今陸軍少佐としてアメリカ空軍に勤務、ユタ大学卒業、三人の子供の父親。ロイドはニュージールランド教会学校LDS神学部の校長、ワード部監督、ニュージールランド神殿管理者、五人の子供の父親、ブリガムヤング大学で学位を得る。リネットは著名な音楽家ならびに音楽家で四人の子供の母親。末の息子のポールはニュージ

ーランドで宗教の教師をして居ますが、かつて陸軍に勤務していたとき隊附教師補助でありました。プリガムヤング大学を卒業、学位を得ています。

子供たちが成長し、その数が増し始めるにつれて、お母さまはますます裁縫の技能をみがき、自分自身の着物と子供たちの着物は全部自分でおつくりになりました。そして結婚生活を通じて、家族の人の着物は一度もほかの人の手にかけてことはありませんでした。お母さまは、自分の娘たちの通学服はもちろん結婚式の服にいたるまでみんな自分でつくったことに誇りをもっていらっしやいます。また葬儀屋のために埋葬用の着物をつくっていらっしやいます。お父さまは生前いつも教会や町の重要な地位を占めていらっしやいましたから、すこしのひまもありませんでした。それでありましたから、子供たちの養育は大部分お母さまの責任にまかせられました。しかしお母さまは、お父さまの成功なざるためにこの責任を喜び勇んでお引き受けになりました。お母さまは小学校六年のときに自分のワード部の初等協会で音楽の指揮を始めなさいました。それから教会の中でいろいろな地位につき、ワード部の初等協会長、扶助協会長を始め、ステーク部初等協会委員となり、扶助協会やMIAで教師をしていらっしやいました。また近ごろ、二年間のステーク部宣教師の任を終って解任されなさいました。またPTAの会長を二度勤め、市のいろいろの団体でも活躍なさいました。お母さまは、才能のある話し手であり長年の間聖歌隊の一員として歌っていらっしやいます。お声は独唱に適した美しい声で、気ばらしのためにピアノをひくのを楽しんでいらっしやいます。

お母さまはだれか困っている人があればどんなに忙しくてもこの

人をお助けになりました。お母さまの子供たちは、病気をしている人たちや困っている人たちのところへ、お母さまがいつもどんなに度々食べ物とどけておやりになったことか、また自宅の食卓にいつもどんなに度々お客さまたちをお招きになったことか、みんなよくお覚えて居ります。お母さまは、自宅でたくさんの果物や野菜を栽培していつも夏になるとこれらの食料を冬のためにかんづめにして取ってお置きになります。

お母さまは手が器用で創造的の才能がおありになるばかりでなく、頭も進歩することを信じていらっしやいます。お母さまは文学が大そう好きで、聖典はもちろんのこと何冊かの本を一度に読んでいらっしやいます。そしてほかの人たちが眠っているとき、本を読んでも何時間もお過しになります。お母さまは自分のそばにいつも何冊の本と標準聖典をお置きになりますが、長年の間福音の勉強をしておいでになりますから、自分の子供たちに福音の知識をわけ与えておいでになって、これまで何んべとなく家族の集りを開いては福音の原則の討論が行なわれてきました。お父さまがいらした時には自然を学ぶために森の中へキャンピング旅行やハイキングをしたり、神がめぐみたもうている私たちの国の驚異を見つげるために見学旅行をしたりするために、子供たちやお孫さんたちと一しよに何べんもお出かけになりました。お父さまとお母さまとは一生仲の良い夫婦であって、まわりに居る者たちにとって受と献身の良い模範でありました。このお二人は、家族の者たちは一しよに時を過して離ればなれに時を過してはいけないという主の戒しめを信じていらっしやいました。

お母さまはいつでも自分よりほかの人のことを考えるお方であり

ました。私のはっきり思い出すことのできるとくべつの出来事というの、お母さまが大手術を受けて入院しておいでになった時のこととあります。お母さまは今にも死にそうにおなりでしたので、いつでも側にだれかがきちんとついていなくてはなりません。お父さまは病院のベッドのそばに簡単な寝台を置いて日夜つききりで看護なさいました。ある晩私たちがお見舞にあがりましたとき、お母さまはやつと口が利ける状態でした。しかし、お母さまは自分のことを一こともおっしゃらずに、聞こえるかきこえないかの小さな声で、自分の側に寝ていらっしゃるお父さまの方を弱々しく指さしながらおっしゃいました。「しずかにおし。お父さまは長い間私をみとりなすつた末、とうとう知らないうちに眠っておしまいなったの。声を立ててお父さまを起さないで。お父さまは眠らなくてはいけません。」このときお母さまはとても衰弱していて、死の一步手前にいらしたと思えるほどでしたのに、お父さまのためばかり心にかけていらしたのです。

本当に、お母さまはその子供たちにとって、またすぐれた末日聖徒の「女性」の世界にとって模範となつていらっしゃいます。私のところからのねがいはこのお母さまのようになることとございませう。いたるところの女の方々がみなこのような立派な模範を見ならうようにというのが、私のけんそんな希望でございませう。

(88頁の続き)

見ましよう。また、支部内に良い先生がいらつしやるようでしたら、お願いして指導していただきましよう。(榮子記)

MIA会長会及び書記の方へ

(一) 今月はMIAレポートを七日に締切りました。MIAレポートの締切日を毎月七日にしました。どうぞ、それ迄に必ず到着するようにして下さい、今迄締切日が五日でしたが遠い支部もありますので七日にあらためました。但し七日以後に到着したものは伝道部の集計に入りませんので、遅れない様にして下さい。

締切日迄にレポートを提出しなかった支部名

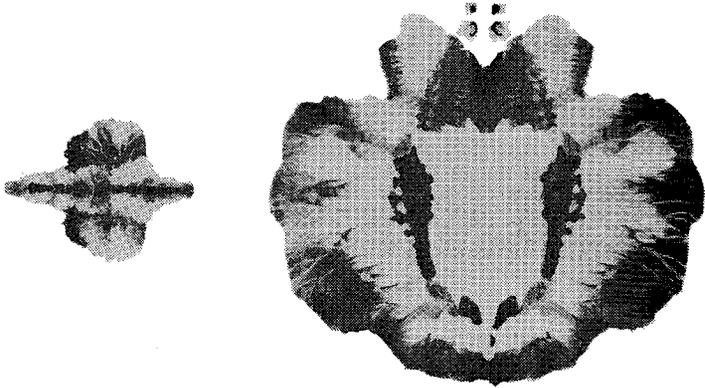
小樽支部・札幌支部・群馬支部・新潟支部
仙台支部・東京東支部・東京西支部・横浜支部・広島支部・京都支部・名古屋支部・岡山支部・三ノ宮支部・柳井支部・普天間支部・那覇支部 以上16支部

(二) MIA全国アンケートを、まだ提出していない支部は至急提出して下さい。

(三) YWMA登録会員十二才〜二十九才迄の人(非教会員も含む)の氏、住所・年令を提出していない支部は至急お知らせ下さい。アメリカの中央管理局YWMAに登録するためです。

(四) 各部に送付したMIAカレンダーの代金(二部三十五円)を納入していない支部は至急MIA事務局へ御送金下さい。

(五) ヤング・マリイ・クラスのある支部では、登録人教を至急知らせして下さい。テキストを御送りします。



母親ルシイ・マック・スミスの語る

ジョセフ・スミスの生涯 (十三)

第二十二章 ジョセフ・スミス金版を家に持ち帰る。

マーテン・ハリス夫妻紹介される。翻訳の開始。

ハリス夫人翻訳の仕事に反対。

ジョセフは金版を家に持って帰ってから、自分が用心をすることのできる範囲内にある宝（金版）のできるだけ近くに居るため、農場で父や兄弟と一しょに働らきました。

その後ある午後のこと、ジョセフは仕事からあがってきました、少し休んでから彼の大きな上着を着て家を出て行きました。私はそのとき、画をかくための油布の用意をしようとして二階で仕事をしていました、彼は帰って来ると、私に下へおりてきてくださいと言いました。私はちようど手をはなすことができないと申しましたが、彼がしきりに下りてくるように言いますので、とうとう二階からおりて、何をしてもらいたがっているのか知ろうと心にきめました。そして私が下へおりますと、彼は私に、彼の書いた伝記の中で「胸当」と言っているものを私の手にわたしました。

それはうすいメリンスの布に包んでありましたが、それがうすい地のものであったので、外から容易にその大きさをさわって知ることができました。それは一面がなか高で、他の面はまん中がひっこんでいました。そして首のところから、並はずれて大きな人の胃の真中まで覆うようにできていました。それには同じ材料でできている四本の紐がついていて、それで胸に結びつけるようになっていました、その中の二本を肩からうしろへまわして別の二本と腰のところで結び合わせるようになっていました。この紐は私の二本の指と

ちょうど同じ巾があつて（私が自分で測つてみましたら）、各々の端には結ぶのに便利なように穴がついていました。私がこれを調べたしようと、ジョセフは「ウリムとトミム」と一しよにこれを箱の中に納めました。

それから長くもたないうちに、ジョセフは大急ぎで家の中へはいつてきました、家のまわりに男の連中が居はしなかつたかとたずねました。お前が家を出てからだれ一人家へ来なかつたよ、と私が申しますと、ジョセフは今までに来なかつたらきつと今夜連中が金版を探しにやってくるから、すぐにどこかへ金版を移さなくてはならない、と申しました。

それから間もなく、私たちが大へん信頼をしているブラーマンという名前の男の人がリヴォニヤ村から家へ来しました。実際この人は私たちに信頼される立派なねうちの人であつた人でした。ジョセフはこの人に、その晩暴徒におそわれる心配があるので、これを追いはらう用意をしなければなりません、何よりもまずしなくてはならないのは金版と「胸当」を確保することですと話しました。

これらの事を考えて、家の中にある炬の一部をとりはずし、金版と「胸当」とをはずしたあとへ埋めてから、疑惑を招かないようにまた元のように直しておくことにきめました。

この作業はできるだけ大急ぎで行なわれましたが、炬を元のようになし終るか終わらないかに、充分武装をした大勢の男がどやどやと家の中へ入ってきました。ジョセフは扉をぱつと明けはなすと、祖父のマックが用いた計略にヒントを得て大勢の部下をもっているかのように大声で呼びかけ、とかくするうちに力を入れて大声で命令を下すや、家中の男という男は父親から小さなカルロスにいたるま

で、すさまじい勢いで暴徒にかかつて行きましたので、暴徒は恐怖ろうばい置くところを知らず、この剛勇な小さな群に追われて森の中へ逃げこみました。そこから彼らは各自の家へちりぢりに帰つて行ったのであります。

それからまもなくジョセフはまたまた、暴徒が近づいてくることと、金版と「胸当」とを隠し場所から移さなくてはならぬという知らせを受けましたので、彼はそれらの入っている箱を隠し場所から取り出して布に包み、道路の向う側にあるクーパーの店へ運んで店の屋根裏につめこんであるたくさんの亜麻の繊維の中へ入れました。

夜がくるや否や暴徒もまたやつてきて隠し場所をあさり始めました。暴徒たちは家のまわりをくまなく探し、また屋敷の中もすっかり探しましたが家の中へは入つてきませんでした。そして満足するまで探すと出て行きました。

翌る朝になってみると、クーパーの店の床がはがされて、床の下へ入れて置いた箱がばらばらにこわしてありました。

それから二三日たつて、どうして暴徒たちがクーパーの店を目指してくるようになったのか、そのわけが私たちにわかりました。ウイラード・チェースの女きようだいで、チェースという名前の若い女の人が一つの緑色のガラスを発見し、このガラスをすかして見るといういろいろ不思議なものを見ることのできました。そして、数々の大発見をしました。その一つで彼女は「ジョー・スミスが彼の黄金の聖書」をかくした場所をはっきり見たと言いました。それで、彼女の指図に従つて暴徒が彼らの仲間を集めてクーパーの店を包囲したのでした。

暴徒たちはクーパーの店の中で金版をみつけることができなくて失望をしたにもかかわらず、チェース女史の言うことにはいささかも信頼を失いませんでした。というのは暴徒たちが、できるなら彼らがぜひ手に入れたいと思つて探しているものを得たいと決意して、彼女の指図に従つて方々を探しまわつていかつたのであります。

註。ここに述べたいろいろの出来事は千八百二十七年の秋もしくは千八百二十八年の初冬に起つたものと思われる。

暴徒たちがクーパーの店え入つて箱をばらばらにこわした事があつてから間もなく、ジョセフは金版の鑿訳を完成しようとする準備を始めました。この鑿訳の仕事をするために指示された第一段階は改良エジプト文字といわれた文字をそっくり写しとり、これを当代第一と言われる学者のところへ送つてこの鑿訳をおねがいすることでありました。

読者のみなさまはここで、金版が世に出る二、三年ほど前にそうした版があることだけをうち明けた腹心の友が私の夫にあつたと私が申したことにお気づきになるでしょう。それこそ金版が鑿訳された後でその見証者の一人となつたマーテン・ハリスその人でありませう。金版鑿訳の仕事の始めた上にこれを事情のゆるすかぎり急速に進める考えで、ジョセフはある日の午後私のところへまいりまして私にこのハリス氏のところへ行つてジョセフが金版を手に入れたことを告げ、またこの事に関してハリス氏に会いたがつていと話して下さいと言いました。これは本当に私の大へんいやな使いでした。ハリス氏のおくさんというのが生れつき大したしつと深い性質のひじょうに愛つた人であつたからであります。その上やや耳が遠くて、人の言つたことがはつきり聞きとれないことがあると、こと

さら自分に聞かえないようにかくしているのだと感ぐりました。

註。パルマイラの人々の言い伝えによると、マーテン・ハリスの妻ルシイ・ハリスは彼のいとこであつたと言う。

それで私はジョセフに、始めにこのことをハリス夫人に話してもよいのでなければ、むしろ行きたくないと言いました。この申出にジョセフが同意してくれましたので彼のたのみに応じてハリス氏の家へ行きました。

ハリス氏の家に着くと私はできるだけ知恵をはたらかせ、ハリス夫人の好奇心を満足させるために必要なことをすっかり述べて、ジョセフがああ版を見つけた事の次第を注意深くこまかに話しました。しかし、ハリス夫人は私がまだみんな話してしまわないうちに、手もとに持っているかなりのお金を出してさあおとりなさいとしきりにすすめ始めました。ハリス氏は夫人の変つた氣質を満足させるためいつも私用の財布を夫人にあずけておくのでしたから、夫人が私に受けとつて下さいと言つたのはこの財布から出したお金でした。ハリス夫人はまた一人の妹と同居していましたが、その人がまたあの版から鑿訳をする一助にかなりのお金、七十五ドルほどだと思ひますが、それを受けとつてほしいと申しました。

そこで私はハリス夫人に、私はそのような用事でまいつたのではございませんからあなたのお金をいただきたいとは思つて居りません。ジョセフは自分で自分の事をいたしますでしょう。しかし私はちよつとハリス氏にお会いしてからおいとましたいと思ひます。家の者は私がまもなく帰ると思つていましようから、と申しました。しかし私がそう申しても、ハリス夫人はあなたがたはお金があるにきまつています、私は二百ドルそこらのご用立てできますからと言

って、翻譯の仕事を手助けすることにきめていました。

そして私を数分ひきとめてから、私と一しよにハリス氏の居るところへまいりました。それで私はハリス氏にちよつとお話したいのですがと申しますと、ハリス氏は、いや今ちよつど妬のところへ最後のレンガをすえつけようとしているのでちよつと手が放せませんと答えました。

そして、「ごらんの通り、これが私の家に手を加えなければならぬ一番おしまいの仕事です。そしてまた一年の中に家や農園についてする最後の仕事になるでしょう。これが終ると、も一度家に落ちつくまで一年間旅行に出ますので、その間私のかわりに職人を一人やとうつもりです」と言いました。

ハリス氏はそれまでやっていた仕事を仕上げたしようと、家を出て行きましたが、ちよつとの間留守にただけですぐ戻ってきました。戻ってくると私のところへきて言いました。

「さあ私は自由な人間です。私の手は両方ともみな束縛されて居ません。私は自分の思う通り行ったり来たりができます」と言いました。

そこで私は手みじかに、私がここへ来た用事を話しました。するとハリス氏は、では二、三日のうちにジョセフと会いましょうと言いましたが、これを聞くとハリス夫人は大きな声を立てて「そうです、私も会いに行きます。私は火曜日の午後に行つて一晩泊ります」と言いました。

火曜日の午後になりますとハリス夫人は言葉通りに顔を見せて、充分に腰をおろすすぐに、ジョセフがあ版についてさきに言ったことの真相をせひ聞かせてもらいたいとしよく頼み始め、もし

本当にその版をもっているなら見せて下さい、それらを出版する助力をすることに私はきめていますとはつきり言いました。

これに答えてジョセフが、あなたは間違つていらつしやる、主なる神さまが見証者として任命なさる人々のほかだれにも見せるわけに行きませんから、あなたにお目にかけることはできません。また援助については、私はいつもおおくさん方と交渉するよりもその御主人方と交渉する方を好みますと述べますと、ハリス夫人はひじょうに腹を立てました。夫人は自分の方が夫よりも全然すぐれていると思つていたからです。そして、前のようにしよく要求しつづけて「では、あなたは私にうそを言つてゐるのではないだろうね。あなたは持つてゐるふりをしてゐるその版を本当に見つけたと、私の顔をまともに見て神さまの前で言えますか」と言うのでした。

これに対してジョセフはむしろ無関心な様子で答えました。「ええと、そうですわねおおくさん。もしあなたに御満足がゆくなら、あなたの顔をのぞきこんでむしろそう申し上げたいですね」。

それを聞くとハリス夫人は言いました、「私のしよつとすることをお聞きなさい、ジョセフ。もしあなたの言うことが本当だということの証人を見つけることができたなら、私はあなたがそれについて言つてゐることをすつかり信じましょう。そして私は翻譯について何かしたい、つまり何としても助けてあげたいんです」。

これでその晩の会話はおしまひになりました。その翌朝、ハリス夫人は床を出るとすぐに昨晩見たというひじょうに不思議な夢の話をしました。ハリス夫人のことはによると、その夢の中に一人の人があらわれて、お前は主のしもべと議論をしてそのことは信用が出来ないと言ひ、いろいろ正しくない質問をしたが、それは神の御

前に正しくないことをしたのである、と言いました。そう言っただけで「見よ、ここにその版がある。お前はそれをよく見て信ぜよ」と言ったそうです。ハリス夫人は自分の見た夢のことを説明してから、夢の中で見たその版のことをひじょうにくわしく言っただけで済ました。そして、私はこれからどうとする方針を心にきめました、すなわち私は、私の母が亡くなるすぐ前に私にくれた二十八ドルのお金を持っているが、これをジョセフにせひ受けとってもらいたいです。もしもそれを受けとるなら覚え書をくれてもよいが、たしかにある条件をつけてせひ受けとってもらいたい、と私たちに言いました。

ジョセフはこの最後の申出を受け入れました。それはこれ以上あの問題についてうるさくたのまれるのを免かれるためでありました。

これからじきに、ジョセフの妻の兄弟に当るアルヴァ・ヘールがペンシルベニヤから私たちの家へやってまいりました。それはジョセフが用事を片つけてしまうことができたらずに妻の父の家へ引き移りたいと思つてと言つてをしておいたので、ジョセフを妻の父の家へ移転させるためでありました。アルヴァが私の家に滞在していた短い間に、彼とジョセフとはある日売上の取引きをするためにバルマイラの旅館へ行って居りました。

註。エマ・ヘール・スミスの兄弟に当るアルヴァ・ヘールは、ジョセフとエマとをヘール氏の宅に移転させるためにハリモニ

ーからバルマイラまで百五十五マイルに及ぶ旅をした。

二人がこのように取引きに従事していたとき、ハリス氏が入ってきた。入って来ると、まっすぐに私の息子のところへ寄つてき

てその手をとらえ、「スミスさん、こんにちば」と挨拶をしました。挨拶をするときなどは、ポケットから一袋の銀貨をとり出して「さあ、スミスさん、五十ドルあります。私はあなたがこれで以て主のみわぎをなさるようになさしあげます、いや、主のみわぎのために主にささげるのです」と言いました。

ジョセフはこれを聞いて、「いえ、私たちは覚え書をさしあげます。ヘールさんは私と一しよに署名して下さいようね」と言いました。

するとアルヴァは「そうです。私は署名します」と言いました。ハリス氏は、いやいや私はこのお金を主にささげるのですと言ひ張り、その場に居合せた人々に、私はこのお金をだれからもたのまれず自由に与えて何のつぐないも求めていない、またそれはスミスさんが主のみわぎをするのを援助するためであるということの証人になつてもらいたいと言ひました。そして、私がこれまでに聞いていますように、この場に居合せて同じことを実際に見聞きした人がたくさんありました。

ジョセフは間もなく仕事をまとめていつでも旅行ができるようになりました。金版と「胸当」とは安全のために箱に入れて釘づけにし、さらにまたこれを丈夫な樽の中へ入れました。そしてこの樽へ豆をいっぱい入れてからもう一度その上へのせました。

ジョセフがペンシルベニヤへひっこしをししようとしているということが一般に知れわたつたとき、五十人の暴徒が寄り集つてダクタ・マキンタイヤのところへ行き、ジョー・スミスのあとをつけて行って、彼から「黄金の聖書」をとるときめたのでわれわれの隊の指揮をとつてもらいたいと言ひました。しかしダクタの考えと感

情は必らずしも彼らと一致していませんでしたので、ダクターは彼らにむかって、お前らは極悪なばか者たちである、早く家へ帰ってよけいなことに手を出すな。たとえジョセフ・スマイスがそのような仕事をもっていたと彼にはそれをする能力がある。人のことをかまうよりは自分のことを一生けんめいにした方がよかるうと言いました。

こう言われたので、だれが隊長になるかについて仲間げんかが起り、とうとうひどいけんかになって仲間われがしてしまいました。

ジョセフが無事にペンシルベニヤへひっこし、金版に刻んであるエジプト文字を写しとってしまつたとき、マーテン・ハリスはジョセフ・スマイスの居るところへ来て、そのエジプト文字の写しを東部へ持つて行き、その途中、エジプト文字の翻譯をしてその才能を示す機会を与えるために専門の言語学者を一人のこらはずたずねることという約束ができました。

マーテン・ハリス氏が何を計画しているかということがハリス夫人の耳に入ったとき、夫人は自分も一しょに行くことと決意をしました。しかしハリス氏は夫人を同伴しない方がよいときめましたので、私の息子のハイラムをつれ夫人にだまつて突然旅立つてしまいました。

ハリス夫人は間もなくハリス氏の居ないのに気がつき、ハリス氏の居所をたしかめるために私をたずねてまいりました。そこで、私はハリス氏が夫人について言つたことは申しませんが、ここを立つことについて言つていたことをこらず話しました。

ハリス夫人は私のことを聞くと真赤になつて怒り、これはみんな私がたくらんだことだと言つて私をたいへん非難しました。しか

し私は、その計画に關係もしていなければその実行に關係もしていませんとはつきり言つて抗議をし、さらに、私が指図をしようとするか、夫か息子にたのまれて始めて手を出すのはみんな女が当然世話をするはずの家の仕事だけだと言いました。

そうするとハリス夫人は、私は財産をもつていますがそれを自分で処理することができまうと言つて、私になつとくさせようと言いました。

そこで私は「ちよつとおくさま。私たちが一度もお金や財産をいただきたいと申しあげなかつたことはご存じでございますわね。また、もしあなたの物惜しみなさらない気持ちを利用する気があつたら、すくなくともあなたの現金二百ドルを手に入れることもできたことをご存じでございますわね」と申しました。

ハリス夫人はそれに答えて、その通りですと言いましたが、それでもかんかんに怒つて家へ帰り、こんな目にあわせたからにはあやまらせてやると決心しました。

まもなくハリス氏は帰宅しましたが、夫の顔を見るとハリス夫人の怒りは再び燃え上り、夫のために別の部屋とベットとを用意し、何と言われてもその部屋へ入りませんでした。

ところで、ダイクという名の青年がマーテン・ハリス氏の長女のルシイに心をひかれていましたが、ハリス氏自身がこの青年をすっかり可愛がっていましたので、ハリス氏の娘であるルシイはけつして彼に反対ではありませんでした。しかし、もちろんハリス夫人は断然反対でありました。ところが、ちょうどこの危機に際してハリス夫人の頭にある計画が浮んだので、ダイク青年に対するハリス夫人の態度がいちじるしくわかりました。ハリス夫人はダイク青年

に、もしあなたがハリス氏のもっているエジプト文字を何とかして手に入れ、それからパルマイラで一室を借りてその文字を写し、そして、その写しを自分のところへ持ってきてくれるなら、娘のルシイと結婚させてあげると言いました。

ダイク青年は大喜びでこのことばに同意し、言うまでもなくハリス夫人の満足の行くように首尾よく写しを持ってきて約束通り結婚を許されました。

ハリス氏がジョセフのために書き役となる考えで再びペンシルベニアへ旅立とうと準備をし始めたとき、夫人はハリス氏にむかって私もおとむをするすっきり心にきめましたと言いました。ハリス氏は何もとくに反対するわけがありませんでしたので、よかろう、私と一しょに行つて一二週間滞在し、それから家へつれてきてあげよう、そうしたら私はもう一べん戻つてジョセフのために書き役をつづけようと言いました。ハリス夫人はこの申出に大喜びで同意しました。しかしハリス氏は、この行動によつて出会わなくてはならないことにほとんど感ずいていませんでした。ハリス氏がさきに言ったエジプト文字を始めて出して見せたとき、ハリス夫人は自分のポケットからそのエジプト文字とすこしもちがっていない写しをとり出して、そこに居た人々に「ジョー・スミス」はこの珍らしいものを持っている唯一人の人間ではない、私も同じものを持っている、そしてこれはハリス氏が今見せたものと同様全く本物である、と申しました、そして夫人は、二人がジョセフの家に着くまでこの行為をやめずにつづけました。

夫人はジョセフの家に着くとすぐに、私がこの度来た目的はあの版を見せてもらうことである、この目的を達しないうちはけつして

帰らないとジョセフに言いました。その通り、夫人はすぐさま家の中のいたるところを、箱からトランクから台所戸棚に至るまでくまなく探索し始めました。それでですから、ジョセフは「胸当」も金版も家から移してどこかほかのところへかくさなければなりません。夫人は家の中のどこを探しても見つからなかったので、ジョセフがどこか埋めてしまったときめて、あくる日家のそとを探し始めてこれを午後の二時までつづけました。それからややひねくれて家へ入つてきて、すこし温まつてから、ジョセフのよめにこの地方には冬にへびが居るのですかとたずねました。よめが、居りませんと答えますと、ハリス夫人は「私は今まであなたの所の位置をながめるために森の中を歩きまわっていました、私が向をかえて戻ろうとしたとき、大きなくろ蛇が私にむかつてかま首をあげしゅうしゅうという音を立てました」と言いました。

夫人はどうしてよいかわからず、なにをやつてもみな失望したので私の家を出て、ペンシルベニアに居る間すぐ近所の人の家に宿をとっていました、この人に次のように言いました。「私は先日あの版を探していましたが、あきあきするほど探しまつた末、とうとうあたりの様子から見るとどうしても埋めてあるにちがいないと思つた場所へ来ました。しかし、その事実を確かめるために腰をかがめて木の葉と雪をかきのけようとすると、おそろしいくろ蛇が目の前に出てきたのでびっくり仰天して足のつずくかぎり走つて家へ帰りました。」

扶助協会レッスン

「神学」—教義と聖約

(千九百六十四年一月第一週)

第五十二課 聖文

テキスト「教義と聖約」六十六、

六十七、六十八〇—一六、六十

九

目的—聖文の作られた方法をより

よく完全に理解し、聖文を知る

に必要な準備をし、啓示が聖典

に進展したことを識別する。

復習

前回のレッスンで、この地上に

回復されたイエス・キリストの教

会、神の王国の予言の成就に就て

強調しました。この教会又は神の

王国は福千年の間に天の王国と結

合して民を治めるのであります。

神の王国はそのようにして遂に全

地を覆うのであります。このレッ

スンの最初はその王国で働らく者

に就て私たちに情報を与えて居り

ます。

六十六章、ウイリアム・イー・

ムレリン

一八三一年十月二十五日、オハ

命を得てこの末の世に顕るべき栄光に与える者」となせようとするものであります。(五十一課参照)

ムレリン兄弟は最近バプテスマを受けたばかりであるにもかかわらず三節で、汝は潔くなれり」と告げられました。けれども全部ではなく主の見て喜ばない処を悔い改めるように言われたのです。教義と聖約六十六〇(三)このムレリンの評価は恐らく全教会員に対するメッセージにもなります。私たちは或罪は他の罪よりも重大であることを知って居りますが、聖文はすべての人が悔改めの必要なことを主張して居ります。(ヨハネ第一書一〇八、伝道の書七二〇)七福音の目標は完全であります。(ニ一ファイ第三書十二〇四十八)チャールス・W・ペンローズ部長はこれに就て次のように言っています。私たちの内で完全な者は一人もいません。けれども私たちは主の御意志と、み言葉を守ることによって、完全に向って進むむよう

に期待します。

ムレリン兄弟は東部各地で、予言者の兄弟サムエル・エッチ・スミス長老を伴って福音を説くように任命されました。(教義と聖約

六十六〇四一八)病人を癒すことと主の意を知ることがムレリンの或祝福と約束されたのでした(同上九節)そして主は彼の弱点は姦淫を犯すことであると注告しました。主の前に潔くなるにはこの誘惑から解放されねばなりません。(十節)

主は罪を見ていささかも許されない真理を思い起すべきであります。けれども誠実にその弱点を克服しようとする人を主は赦そうとされます。(教義と聖約一〇三十一—三十三)

私たちは不完全であります、それだから主は私たちが彼を彼の王国に召したのであります。彼は彼の御業を進めるべく召された者は彼らの欠点を克服するであろうと期待しています。(十節)

或人とその人が働らきかけ又は仕える人の赦いを効果的に促進させるにはその人が主のみたまを持つていなければならぬ。(教義と聖約十一〇十一—四)ここにこの事に関してロレンツ・スノー大管長の言葉があります。

……私はよく堪え忍び親切に常に人を赦し、神の意を行おうとする人に対し最高の愛を持つことが私たちの務めであると思いま

命を得てこの末の世に顕るべき栄光に与える者」となせようとするものであります。(五十一課参照)

ムレリン兄弟は最近バプテスマを受けたばかりであるにもかかわらず三節で、汝は潔くなれり」と告げられました。けれども全部ではなく主の見て喜ばない処を悔い改めるように言われたのです。教義と聖約六十六〇(三)このムレリンの評価は恐らく全教会員に対するメッセージにもなります。私たちは或罪は他の罪よりも重大であることを知って居りますが、聖文はすべての人が悔改めの必要なことを主張して居ります。(ヨハネ第一書一〇八、伝道の書七二〇)七福音の目標は完全であります。(ニ一ファイ第三書十二〇四十八)チャールス・W・ペンローズ部長はこれに就て次のように言っています。私たちの内で完全な者は一人もいません。けれども私たちは主の御意志と、み言葉を守ることによって、完全に向って進むむよう

に期待します。

ムレリン兄弟は東部各地で、予言者の兄弟サムエル・エッチ・スミス長老を伴って福音を説くように任命されました。(教義と聖約

六十六〇四一八)病人を癒すことと主の意を知ることがムレリンの或祝福と約束されたのでした(同上九節)そして主は彼の弱点は姦淫を犯すことであると注告しました。主の前に潔くなるにはこの誘惑から解放されねばなりません。(十節)

主は罪を見ていささかも許されない真理を思い起すべきであります。けれども誠実にその弱点を克服しようとする人を主は赦そうとされます。(教義と聖約一〇三十一—三十三)

私たちは不完全であります、それだから主は私たちが彼を彼の王国に召したのであります。彼は彼の御業を進めるべく召された者は彼らの欠点を克服するであろうと期待しています。(十節)

或人とその人が働らきかけ又は仕える人の赦いを効果的に促進させるにはその人が主のみたまを持つていなければならぬ。(教義と聖約十一〇十一—四)ここにこの事に関してロレンツ・スノー大管長の言葉があります。

……私はよく堪え忍び親切に常に人を赦し、神の意を行おうとする人に対し最高の愛を持つことが私たちの務めであると思いま

す。兄弟たちよ落胆しないように、若し貴方がすぐ完全になれないとしても又貴方が何か弱点があつて問題を起したとしても失望しないで下さい。貴方が多少なりとも主のみたまを失つた貴方の悪事に就て悔改めなさい。主に貴方がなしたことを告げ、再び繰返さないことを心に誓いなさい。そうすれば主のみたまは貴方の上にあるでしょう。(一八九八年十月大会報告五十六頁)

神の王国は不完全な働き手を持つて居ります。けれど若しも彼らが真にシオンを建てることを求めるなら天父がその忠実な子供たちに備えた最高の祝福を克ち取ることが出来るでしょう。啓示でウイリヤム・イー・ムレリンに示されたことは六十六章の十一節から十三節迄で完結しているのであります。

誠命の書

予言者がオハイオ州のオレンジの大会から帰った時、ハイラムで二日間の特別大会が開かれました。この時期に多くの啓示が与えられました。その中に教義と聖約の主の前文として知られている第一章も含まれていました。この一八三二年十一月の大会に於て予言

者が一八三十年の夏から編集し始めた啓示の出版に関する特別な事務がなされた。この仕事で彼は後に教会の歴史家になつたジョン・ホイットマーに援けられました。

(教会歴史録一卷一〇四頁教義と聖約四十七七〇一) 誠命の書として知られている啓示の編集、一万冊の出版が許可されました。一八三一年五月一日に教会の評議會で三千冊の印刷が決定されました。或兄弟たちは七十章一節はミーズリ州インデペンデンスのヘルブス印刷社でその印刷を準備することを言つていと指摘しています(教会歴史録一卷二七〇頁) 一八三一年十一月の大会で受けた六十九章の中でオリヴァ・カウドリとジョン・ホイットマーは啓示と若干の金銭を印刷所に持つて行くように任命されました。(教会歴史録一卷二二九頁 教義と聖約六十九〇一—二二)

誠命の書に就てのそれ以上の情報は一九五七年八月号扶助協会雜誌第二課にあります。この資料は印刷機の破壊と、その後の教義と聖約の出版の成功に就て告げて居ります。

六十七章

予言者の歴史の中に彼は啓示と

言葉に就ての或議論の為主にたずね六十七章を受けたと記してあります。(教会歴史録) 一卷二二四頁)

大会に於て或長老たちによつて啓示そのものが不完全であるとされ彼らは予言者に優る言を以て言い表そうと望みました。(教義と聖約六十七〇五) このつぶやきの為に集会の兄弟たちに挑戦がなされたのであります。(教義と聖約六十七〇六一—九)

このグループの中に六十六章の啓示で誠められたウイリヤム・イー・ムレリンが居りましたが学校の教師であつた彼は明らかに啓示を批判した首謀者でありました。とにかくこの人は挑戦に對し同等であると感じ啓示を書いてこれに應戦しようとしたのであります。この企面に就ての予言者の声明は私たちにムレリンの性格を見せ又神より通信を受けるジョセフ・スミス

の証を与えて居ります。前の啓示を受けてからウイリヤム・イー・ムレリンは自ら最も賢い人として良識以上に学び主の誠命の一つでも書こうと努めたが失敗しました。主の名に於て書くことは大變な責任であります。長老たち及びその場に在庫したすべて

の者はこのイエス・キリストの言葉をまねようとする無駄な企画を誠め、完全な福音及び主がその道具である私を通じて教会に与え給うた誠命及び啓示に對する信仰を再び新にし、長老たちはその真理を全世界に証しようとする意志を表明したものであります。(教会歴史録一卷、二二六頁)

全世界に於てジョセフ・スミス以外に神々によつて神性な通信を受けるべく正しく任命された者はいませんでした。

教育のある人が啓示のような言葉を組立てることが出来ること、出来ることは、ほんとうでありませぬ。けれどもその言葉そのものは、みたま、を与えませぬ。この点に關してオルソン・エフ・ホイットニー長老は次のように言つておられます。

ものごとくに生命のみたまを入れると言ふことはそうたやすいことではありませぬ。人は体をつくることが出来ますけれども神さまだけが、みたま、をつくる事が出来ます。貴方は科学者が一粒の麦を取上げてそれと同じものをつくらうとしたことを聞きませんでしたか？先づ彼はその麦の構成されてい

くら、けい土がいくら、この要素がいくらあの要素がいくらと、それから彼はこれと同等の要素を集め彼の化学的的技巧によってこれを結合して見たところ天然の麦と少しも変りない、麦をつくりました。けれどもこれには大きな相違があるのであります。そしてそれはこの二つの麦を植えた時に表明されました。神のつくったものものは芽を吹きまて居ります。何放でしようか？人がつくった麦には生命がないのです、ただ体があるだけです。靈魂のない体は死んだものであります。人は物体に生命の息をふき入れることは出来ません。それは神の機能であり特権であります。神からの啓示を形成することは容易なことではありません。虚栄心の強い人がソロモンの箴言を馬鹿にして、誰でも箴言をつくる事が出来る。と言いました。彼の友人が、では少しためてごらんないか。と答えました。その会話はそれで終りました（一九一七年四月大会報告四十二頁）

教義と聖約に対する証言

ムレリンの失敗と大会に於ける彼の告白の報告に次いでジョセフ

・スミスは記録しています。従って私は次のものを受けました。誠の書に対する証、最初の啓示の編集に対する題目を与えられた。この証は教義と聖約の各書の解説の中に印刷されました。この声明を証して長老たちは主は聖靈の力により彼らの心にこの啓示は昔から来たものであるから不義はなく真理であることを証し給うたと言へました。啓示は神から来た以上世々の住民にとつて最も価値あるものであります。教義と聖約の第一章は主が啓示を与えた目的及びこの啓示に従うことによつて世の受ける便益に就て述べてあります。（扶助協会雑誌一九五七年九月第三課）

教義と聖約の解説には、この神権時代の十二使徒会の証も含まれて居ります。彼らの証は教義と聖約として再版された一八三五年に与えられたものであります。

約束された祝福

十一月の大会でこの長老たちに与えられた祝福のはっきりした性格を表さず（教義と聖約六十七〇三）啓示はこの長老たち如何に実際に見ることを示し続けて居ります。彼らはねたみと恐怖をとり棄

てて十分に謙遜になることによつてのみ、この祝福を受けれるのであると告げられました（同上十節）又、靈的に対象した（肉体的な人）が参照されました（同上十二節）モルモン経のベンジャミン王は、人の救いの為のキリストの贖いに就て説き、これがこの二つの状態に就ての重要な真理を備えていると説明して居ります（モーサヤ書三〇一八―一九参照）

肉体的な人は神のみたまの作用を受けず、彼の生命が靈的に又は聖徒に変化してないものであります。主のみ言葉とみ意に完全に従う聖徒は終り迄義に堪える者にもたらされる永遠の生命の祝福を受けるに価するのであります。（扶助協会雑誌一九六一年十二月第三十八課）

神のみ前に来るには人は誇りと憎しみと、無慈悲と不誠実と虚偽とみだらな思いと行いとその他の根本的な罪を取り去らなければなりません。肉体に宿るいろいろな罪を悔改めなければなりません。この啓示に（六十七章）宛名された人たちは主のみ前又はその天使たちと出席する用意が出来ていないと告げられました。けれども若しも彼らが堪え忍んでその生活

を完成するならば、主の時が訪れた時にそのみ前に約束を得るであらうと告げられました。肉体的な人に見て又モーセが靈の眼を以て神を就た経験を参照し、神をよみえるべく準備する必要があることの指示が与えられました。（モーセの著一〇十一、教義と聖約六十七〇十一）

人は主のみ前に出る為の完全さに到達することが出来ます。マーク・E・ピータソン長老が言つて居るように生活の多くの方面に亘つてこの生涯に於て完成出来ることがあるのです。

私はここで今この生涯で、多くの面に於て、私たち自身を完成し始める事が出来る。と信じます。私はそれが百パーセント出来る。と信じます。例えば茶とコーヒーを断つこと、完全な正直な仕分の一を払うこと、私たちが断食した二食分に価する献金を監督に納めることなどであります。

神の名を冒瀆してはならないと言ふ誠命を守る。又私たちが、あなたは姦淫してはならない。（出エジプト二十〇四）と言ふ誠命を守る。又、あなたは盗んではいけません。（同上十五）と言ふ誠命、その他主が与え給う

たいろの誠命を守ることに完全となるが出来ます。(一九〇年四月大会報告一五三頁)

オルソン・ハイドの伝道

六十八章一節はオルソン・ハイドを召し多くの国々へ行き福音を説き人々に教え聖文を説明するように命じて居ります。この召して予言的であった事がその後実証されました。十年後に彼は、ユダヤ人にその郷土へ帰るようにパレスティナの地を献納するよう任命されました。彼はパレスティナに旅する途中各地で教え、彼の任務を一八四一年の十月二十四日に遂行致しました。(教会歴史録四巻四五六―四五九頁) 今日世界はユダヤ民族がこの地に帰ることに就ての予言の成就を証明して居ります。

聖文は如何にして作られたか
六十八章前部の最も大切なメッセージは、聖文に就て、この長老たちに与えている注告でありま

す。
見よ、見よ、こはかくの如き神権に按手聖任されて出て行く使命を受けたる皆の者にたりて一つの範例なり。すなわち、また聖霊によりて感ずるままに語るべきことは、彼らに対する範例なり、お

よそ聖霊に感じたる時語るところは、意とごとく聖典の言となり、主の意となり、主の精神となり、主の言となり、主の声となり、世を救いに導く神の能力となるべし。見よ、わが僕らよ、これ主の汝らに約束するところなり。(教義と聖約、六八〇―二一五)

この注告は伝道にたずさわる長老たちに与えられたものであることに注目すべきであります。求道者たちに基本原則を教える宣教師たちは聖霊に感じて説き、忠実な宣教師は、みたま、によって教えるので求道者は、みたま、に感じるのであります。(教義と聖約、五二〇―二二二)

教会幹部の兄弟たちの間に、予言者、聖見者及び啓示を受ける者、として支持された者が居ますが彼らは人々に福音を教えるべく特別な能力を与えられました。ジー・ルーベン・ジュニヤ管長は次のように言いました。彼らはすべての上に権能と権威を持ってゐる教会の大管長の下にあって人々に神の心と意志を伝える権利と権能と権威を持って居ります。その他の教会幹部及びこの外、如何なる教会の役員又は会員でも、そのような権能を与えられて居りま

せん。私たちが既に学びましたように教会の大管長だけが教会の為に啓示を受け又教会に適用される聖文の権威ある解釈をする権利を持つて居るのであります。(教義と聖約、百七〇―八、六十五―六十六、九十一―九十二)

聖文は予言者、聖見者及び啓示を受ける者が聖霊に靈感されて出来たものであります。

過去に於て聖文が旧約及び新約聖書の使徒及び予言者たちによって作られたように今日に於ても予言者たちが聖霊に動かされて作成されるものであります。

考察のための質問

(一) ウィリヤム・イー・ムレリンに就ての

声明、汝は潔くなれり。されどことごとくは潔きにあらざ、は教会の会員に如何に適用されますか。そしてそれに就てどうしたうよいでしょうか？

(二) 肉体的な人、と、霊的な人の区別をして人は如何にすれば霊的になるかを述べなさい。

(三) 聖文は聖霊の能力によって今も又将来も続けて作成されるであらうことに就て討議しなさい。

訪問教師のメッセージ

(千九百六十四年一月第一週)
「教義と聖約」はもとずいて実践する真理

メッセージ第五十二「求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。」(教義と聖約 六六〇―九)

目的「私たちの為に祝福を得る為に私たちは勤勉に主に頼みそれを求めねばならない事実を強調する。」

私たち自身の幸福と進歩の為にこの教義と聖約から引用された聖句は恐らくないでしょう。求めよさらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。(教義と聖約六六〇―九) 実際にこの勧告は主が各神権時代に繰返して強調する程、大切な聖句であります。昔、主は予言者を通じてその民に彼を離れることなく常に彼を求めなさいとすすめて居られます。モーセはその民に主を離れるなど注告して言っています。

あなたを堅く立てられたあなたの父ではないか……

あなたの父に問え

彼はあなたに告げるであらう。(申命記、三二〇―六一七)
ソロモンも同様の考えを述べて

居ります。

すべての道で主を認めよ

そうすれば、主はあなたの道を
まっすぐにされる。(箴言三〇
六)

主は予言者エレミヤを通して言
われました。

わたしに呼び求めよ、そうすれ
ば、わたしはあなたに答える。
(エレミヤ書 三十三〇三)

山上の垂訓で主イエス・キリス
トは再び同じ言葉ある呼びかけを
して居ります。

求めよ、そうすれば、与えられ
るであろう。捜せ、そうすれば、
見いだすであろう。門をたたけ、
そうすれば、あけてもらえるであ
らう。(マタイ伝七〇七)それか
ら主は更に追加して居ります。

すべて求める者は得、捜す者は
見だし、門をたたく者はあけて
もらえるからである。

あなたがたのうちで、自分の子
がパンを求めるのに、石を与える
者があるか……

このように、あなたがたは悪い
者であっても、自分の子供には、
良い贈り物をするのを知ってい
るとすれば、天にいますあなたが
たの父は、なおさら、求めて来る
者に良いものを下さらないことが

あろうか。(マタイ伝七〇八一十
一)

救い主たちがアメリカ大陸のニ
ーファイ人たちの間に彼の教会を
組織した時に彼は同様の注告と招
きを強調したのであります。
(ニーファイ第三書十四〇七—八
参照)

更にこの注告の重要さを実例で
示し昇天する直前に救主は再び言
われました。

さて、われは今御父のもとへ行
くべきか、われは今御父のもとへ行
く、および汝らがわが名によりて
御父に願ひ求むるものは、汝らに
与えらる。

すなわち、乞い求めよ、さらば
求むるものを、与えらる。門を叩
け、さらば汝らのため門には開か
る。(ニーファイ第三書 二十七
〇二八—二十九)

この注告又は招きは、何故主が
繰返して強調される程重要なので
しよか。

この門に対する最上の答えの一
つはイザヤが主を待ち望み、主に
求める者に主が畜えて居られる祝
福の若干を述べた時に与えられま
した。彼は言いました。

いにしえからこのかた、あなた
のほか神を待ち望む者にこのよう

な事を行われた神を聞いたことは
なく耳に入れたこともなく、目に
見たこともない。(イザヤ書 六
十四〇四)

使徒パウロはコリント人たちへ
の手紙の中で、この同じ約束を再
び述べて次のように、言つて居り
ます。

目がまだ見えず、耳がまだ聞かず
人の心に思い浮びもしなかったこ
とを、神はご自分を愛する者たち
のため備えられた。(コリント前
書 二〇九)

若し私たちが誠実に求めるな
ら主によって私たちの理解を越え
るのであります。けれども、それ
を求めるには、私たちは頼まなけ
ればなりません。約束の主の家に
入るには私たちが叩かねばなりま
せん。使徒ヤコブは早期のクリス
チャンに告げました。

……あなたがたは求めないから
得られないのだ。(ヤコブ書 四
〇二)

けれども、これらの祝福は自動
的には来ません。私たちはそれに
値いせねばならず、疑ないで、信
仰を以て願ひ求めねばなりません
(ヤコブ書一〇六参照) 救い主は
言いました。また祈りるとき、

信じて求めるものは、みな与えら
れるであろう。(マタイ伝二十一
〇二二)

成有る必要が主に祝福を求め
る時に必要な四つの要求事項を定
めました。貴方の希望を審査し
なさい。それは貴方の為に、よい
ですか? 貴方は今それを受ける
準備が出来はいますか? それは
すべての、他の関係者に対し公平
でしようか? 貴方は心からそれ
が神の意志に従つていると感じま
すか(アレノ・チャーセス) 貴方
の欲するものを如何にして得られ
るか 七十九頁) 若しも私たちが
今、真にこれらの四つの質問に、
はい、と答えることが出来るな
ら私たちは、その希望を頼むこと
が出来ます。けれども私たちが完
全な少しも疑いのない信仰を以て
信じなう願ひ求めるべきであり
ます。

私たちが主の祝福を受けるには
まだ他の要求があります。この要
求は予言者、ジョセフ・スミスと
オリヴァ・カウドリがモルモン経
の翻訳に従事した時の経験に強調
されました。その時、オリヴァは
予言者の許しを得て翻訳に見よ
うとしましたがウリムとトムミム
を使うことが出来ませんでした。

そこで彼とジョセフは主にその理由をたずねました。主はこれに答えて言われました。見よ汝はだ悟らず。汝はひたすらわれに願

「仕事会」

(千九百六十四年一月の第一週)

「末日聖徒の家庭」

考察その十二 財源利用計画

目的—金銭の使用方法を研究し、その優劣を決定して、家族の目標

に広げた方法を採用すること。

今日の世の中に於ては、人が彼自身

の事を管理する責任をとっている時、若し彼と彼の家族が彼ら

の資源及び才能を最大なものにして

ようとすると常に眼を覚まし働いて、一時も無駄にしないように働

させられるのであります。

女性は男性よりも長生きをし、

何時か彼らのことの全部の責任をと

るようになるでしょうから、彼女

たちが金銭を賢明に使うことを学

ぶことは大切なことであります。

各家庭に於て、資源の利用、その

方法の或訓練及び家族の目標のは

っきりした理解の為に計画を持つ

べきであります。

金銭の使い方を如何に決定する

かの訓練は子供が貨幣の価格の相

違を知るようになったらすぐ始め

てもよいのであります。彼はそこ

で家族の計画会に参加してもよい

年令なのです。事実によつて彼は

家族の会員であり、家事を分担し

金銭資源をも分ち合う権利を持つ

ているのであります。彼の分担は、

最初は小さいかも知れませんが彼

がそれが如何に費すべきかを選

択する機会を持つでしょう。子供

たちは余分の仕事に対しては、余

分の報酬を受け支払を受ける仕事

の意味も学ぶのであります。彼が

お金の使い方を学ぶ唯一の道は、

若干持つて使うことであり、節約

を学ぶ唯一の道は節約する計画を

することでありませう。

両親は伝道又は大学教育の為に

貯蓄目標を立てるべきであります

が小さな子供には、この目標は、

あまり離れ過ぎていて重要な意義

を持ちません。貯蓄計画に彼が参

加することは、両親にとつて意義

があり彼らの自覚をうながすも

であります。けれども彼は家族の

計画に参加することを通じて計画

された事項を通じて大きな満足

を得られるのであります。彼は、教

会建築に少しの金を加える喜びを

知り又主の什分の一を別にするこ

とよつて家庭の安定感にあずかる

事が出来ませう。彼は什分の一を

いながらもたらず安定感に感謝する

で

ありませう。社会公共救済の為

に計画された献金は、彼に人道的

な必要というものを自覚させま

す。

「仕事会」

(千九百六十四年一月の第一週)

「末日聖徒の家庭」

考察その十二 財源利用計画

目的—金銭の使用方法を研究し、その優劣を決定して、家族の目標

に広げた方法を採用すること。

今日の世の中に於ては、人が彼自身

の事を管理する責任をとっている時、若し彼と彼の家族が彼ら

の資源及び才能を最大なものにして

ようとすると常に眼を覚まし働いて、一時も無駄にしないように働

させられるのであります。

女性は男性よりも長生きをし、

何時か彼らのことの全部の責任をと

るようになるでしょうから、彼女

たちが金銭を賢明に使うことを学

ぶことは大切なことであります。

各家庭によつてその計画は相違

して居りますが根本的に必要なも

のは同じであります。即ち住居、

食物、衣類などであります。そう

であるなら私たちはどうすれば私

たちは私たちの家庭の必要を充た

し、私たちの資源を賢明に利用出

来するような計画を立てることが出

来るでしょうか？

先づ毎月の支出を記録すること

によつて、私たちが実際に金銭を

どのように取扱つてゐるかを発見

する

する

して見ましよう。封筒に食糧、家賃、衣類、保健(医者、歯科医、医薬) 什分の一及び献金、機密費

その他の張紙をしておくのもよいでしょう。買物がなされ又請求書が支払われたら、受領書をその中に入れるのもよいでしょう。そうすれば月末に合計して直ちに、必要な数字が得られるでしょう。二、三ヶ月このような項目を挙げつづけますと、その数字を基本の目標額としてそのの後計画表に挙げる

ことが来ます。小切手帳を使用することも支出の記録を保つ、一つの方法であります。そしてこの方法は所得税課税の場合の証拠となる利点があります。それは銀行にお金を預けて銀行にその事務をさせる程のお金を必要とします。

貴方が支出の記録を作成する時、貴方は実際にどの位使うかを知り賢明でないと思われる用途は変更することが出来るでしょう。例えば十代の娘が新しい衣服を欲し、彼女の支出記録が、個人的な出費に不釣り合いとなったら彼女は

その使用法を、もっと満足出来るように計画することが出来るでしょう。ほんとうの節約は人が既になし

た誤りに気がついて資源の、よりよい使用法を進展させて行く時に出来るものであります。

一家族として共に計画することは家族に靈的な力を与え、そして彼らがこの世の物質的な価値のみを思わないように授ける人つくりの活動の一つであります。

「社会科学」

(千九百六十四年一月の第四の集りで)

「神の律法と教会制度」

第十課 神権定員会及びその職務の目的—扶助協会会員に定員会組織の重要さ及び定員会会員の義務に就て知らせる。

教会の婦人たちは、その家庭内で大きな感化力を持って居りますから彼女たちがその夫や息子たちの属している神権定員会の組織に就て理解することは極めて大切な事でありませぬ。苦しも彼女たちが定員会の会員である家族の者がその責任を果すのを充分に支持し、勇気づけようとせらるるならばその職責をよく知らねばなりません。次の引用はこれらの義務の重大なことを示しています。

この故に今や神権者皆々々その義務を覚れた己が任命せられた

の務めを全く勤勉に勤むべし。おおよそ、怠惰なる者はその地位に居るに値せず、またその義務を覚らず信任さるるに足る行いを示さざる者は、その地位にある値なき者なり。誠に然り、アーメン。

すべての儀式、最高の栄えにあげらるる為又永遠の生計を得る為のすべの踏まねばならぬ本質的な段階は神権の権能の中に含まれているのであります。それは豊富な人生の完全な方式を含んで居ります。これらの事は真実でありませぬからすべて知識ある人は神権の作用に関心を持ちその効果を受けるべきであります。

神権定員会

その意味と相互関係
神権定員会(メルケゼデク)は成人した兄弟たちが、彼らの神性な使命を果し教会を援けるべく彼らの分担を遂行出来るように訓練する為に組織されたものであります。(メルケゼデク神権手引二十頁)

定員会は会員の忠実性に於て最も興味ある社交状態を呈して居ります。この忠実性は神の實在に就ての個人的な確信によって達成されるのであります。この忠実に順応することに對し、それを命じ又

は要求する処の何らの強制もないのであります。人間の友好に関する限りに於てこの定員会は団体として人間の期待出来る最も強固な友情を保持しているものであります。それは友人の為になることを土台として成立しているのです。それは啓示された真理に立脚し愛が動機となつて居ります。

一、教会制度の中で執行する為に権能者に召されること
教会制度運用の責任は神権を持つて居る人たちの手の内にあります。けれどもメルケゼデク神権を受けていても病を癒すとか直接その家族の上に神権を執行するとかの様な個人的な場合を除きその神権者の属する管理者から権限を委任された時にのみ執行することが出来ます。

定員会の会員としては、神権者は神権に聖任されていても教会制度の内でのその機能を果す権能を持つていないのであります。彼は神権に聖任されているので若し彼が会長会の職に在って管理する鍵を持つて居る者に委任されたら資格ある者となるのであります。

これは何だか矛盾し混乱しているように見えますが正しく理解さ

れば全くはつきりしているの
あります。次の説明がこの理解に
役立つでしょう。末日聖徒イエス
・キリスト教会の扉はすべての人
に開かれ、正しい神権を持った人
にバプテスマと按手礼を受けるこ
とによって入って来る事が出来
ます。祭司の神権を持った人は若
し監督から命ぜられたならばそれ
を執行することが出来ます。これは
指導者組織であります。(教会制
度又は機能に関する)若しもメル
ケゼデク神権保持者が、正しい職
にある機能者から任命された時に
は、彼は人にバプテスマと按手礼
を授けて教会の会員となすことが
出来るのであります。祭司も長老
もどちらもバプテスマを施す能力
を持って居ります。けれどもどち
らも正しい役員への許可がなくては
執行出来ません。(監督、ステー
キ部長など)

二、神権聖任の資格

教会の男の会員で価値あり、霊
的に的に充分に進歩して居れば
神権を受けることが出来ます。年
令の制限はアロン神権にあって
は、その始めが執事は十二才であ
り、この神権の各職の為に約二ケ
年間の訓練期間が許されていま
す。けれども年令よりも、もっと

大切なことは各個人の価値、彼の
福音に就ての理解、及び神権の各
々の召しの義務と責任を知ること
であります。このような状態に於
て祭司が若し価値あるなら通常二
十才で長老に聖任される事が出
来ます。けれども祭司が伝道に含
まれるか又は神殿で結婚する場
合には、もっと早い年令で聖任さ
れる事が出来ます。(アロン神
権の手引き、一九六三、三十一—
三十二頁)

成人した改宗者の聖任の場合
は、この提案された年令と相違し
ています。そのような場合価値と
福音に就ての知識と、神権の責任
に就ての理解が聖任の為の推薦を
決定するのであります。成人した
改完者の為に望ましい手続きは彼
らがメルケゼデク神権を受ける前
に、アロン神権の各職に働らく機
会を持つことであります。

三、定員会の定義

定員会という組織された如何な
る団体にせよ、その会員の大多数
を参照して居ります。末日聖徒に
とっては、これに加えて特別の意
味があります。

教会会員にとつて定員会という
言葉は、長老定員会、大管長定員
会の如く特に選ばれた者として全

会員を参照します。
神権の組織体としての定員会
は、団体行動の理想的な標準、共
通の目的、総意の決定、各会員の
福祉に就ての重要な関心などを表
物して居ります。

大管長定員会、十二使徒定員
会、七十人最高評議員定員会を参
照して主は言つて居られる。而
して、以上の何れの定員会の為す
決議も、ことごとくその一致の挙
手によって為されざるべからず。
すなわちこれら定員会の全令員は
その決議をして互いに等しき効
力、または有効性あらしめんがた
め、一人一人皆その決議に賛同せ
ざるべからず。(教義と聖約百七
〇二十七)この指令は特に教会幹
部の定員会に与えられたものであ
ります。けれども定員会活動の標
準及び定員会会員の本質的な資質
に於ては神権のすべての定員会を
通じて同様であります。実際には
その活動は在席する大部分の会員
を以て運営されて居ります。

アロン神権定員会

アロン神権の内には執事、教
師、祭司の三つの定員会がありま
す。けれどもこの神権には四つの
職があります。執事、教師、祭司
及びアロンの子孫である監督であ

ります。けれども大管長会によつ
て大祭司が、この監督の職に任命
された場合は、正式にアロン神権
の職として参照することは出来ま
せん。

一、執事の定員会

執事は正式には十二人を以て定
員会を構成します。けれども定員
会は十二人の大半即ち七人から十
二人の執事を以ても構成されま
す。彼らは、監督会によってその
会員の内から選ばれ会員によって
支持された会長会によって管理さ
れる。

執事の責任は現世的なものであ
ります。それは集会所の世話をし
たり礼拝に来る人の面倒を見るこ
とであります。聖餐を配り断食献
金を集めることは二つの彼らの任
務であります。彼らは監督の指示
に従つて負しい会員の世話をしま
す。彼らは必要な場合には何時で
も教師を援け、常に善い事を促進
させます。

二、教師の定員会

教師の定員会は二十四人の会員
であります。けれどもこの数の大
半即ち十三人から二十四人の教師
を以て組織することが出来ます。
会長会は執事の定員会の場合と同
様の方法によって選出される。

教師の義務は常に教会員を守護し、彼らと共にありて彼らを強くすべきものとす。また教会員の中に邪曲なきやう、互いの間に頑固なることのなきやう、また虚言、謗口、悪口などもなき様注意すべきものとす。また教会員のしばしば集会することを教員は、またすべての教会員にその義務をつくすやうになさしむ。(教義と聖約二十五三、五十五)

教会員相互間に正しい社交關係を維持して行くには絶えず気を配つていなければならぬのであり、祭司や長老たちの働らきを援けることが出来、彼らはすべての執事の任務を執行することも出来、す。

三、祭司の定員會

祭司の定員會は通常四十八人の會員を容して居ります。けれどもこの数の大半即ち二十五人から四十八人の祭司を以て構成することが出来、監督がその會長であり個人的に定員會を管理致します。祭司は執事又は教師の如何なる任務をも執行することが出来、す。それに加えて彼の任務は、……説き教え、勧め、バプテスマを施し、聖餐式を執り行

べきことなり。また各會員の家庭を訪れ、彼らが声を挙げてみよか、かたて祈りをなし、またすべて家庭の務めにいそしむよう、勧め、また他の祭司、教師、執事を按手聖任することを得。(教義と聖約二十〇四、四十六、四十八)

四、社交のかけ合い

アロン神權の任務である教会の現実的福祉のことを顧みる時、私たちは建物、又は食物、及び衣類の物体のみでなく人々の社交關係をも含んで、ことに気がつき、家族内、ワード部及びステキ部内で共に生活する時に、個人的な相違が争いや敵対の根源となるか、さもなければ、正しい導きの下に適合して紛争なく進取的なふいさの内に解決されるのです。

メルケゼデク神權定員會

教義と聖約百二十四章百二十六節にジョセフ・スミス、シドニー・リグデン、ウィリアム・ローを参照して次のように述べられてあります。全教会のため神話を受けるために定員會なる大管長會を構成せしむ、これがメルケゼデク神權の内の最初の定員會であり、同じ章で次の定員會が指定され、教会の爲に模範となりまし、十二使徒定員會、大祭司定員

會、及び長老定員會であります。メルケゼデク神權の定員會に代表されて居る職に加えて祝福師の職があります。

メルケゼデク神權内の各々の職にそれぞれ異なつた義務と任務があります。定際に於て仕事を分担することは、教会制度の運営に本質的なものであります。この作業の分担は神權者の責任である仕事を効果的に促進させるのであります。

一、教会幹部

定員會で教会幹部を構成して居るのは、大管長會、十二使徒會、七十人最高評議員會及び管理監督會であります。これらの定員會の兄弟たちは皆大祭司に聖任されて居ります。(例外として七十人最高評議員會の會員すべてが大祭司に聖任されませんでした。けれども彼らは又、教会制度の運営にあつた任務と責任の内に含まれる。特別な職及び召しを持つて居るのであります。教会幹部という言葉はこの頃に挙げた定員會と教会の祝福師及び十二使徒會補助に対してのみ適用されます。

二、大祭司定員會

メルケゼデク神權の大祭司は、大管長會の命を受け、自己の地位に在りて靈に關することを執り行う權能を有す。(教義と聖約百七〇十)大祭司は正して召されるならば如何なる役職でも就任して執行出来、す。大管長會の職も大祭司に任命されます。大祭司に任命されます。大祭司定員會はステキ部内の、この職に聖任されたすべての人を包含します。ステキ部内の大祭司はその数が何人であつても定員會と見なされます。彼らはその會員の中から選ばれた三人の會長會によつて管理されます。彼らは月に一度定員會の集會を開きます。けれどもそのステキ部の各ワード部に任じて居る定員會の會員たちは、グループを組織しグループ・リーダー、書記及び教師を持ちます。彼らは毎日曜の朝グループ集會をし、レッスンを受けます。彼らは定員會會長會から指示を受けます。

大管長會の命を受け、自己の地位に在りて靈に關することを執り行う權能を有す。(教義と聖約百七〇十)大祭司は正して召されるならば如何なる役職でも就任して執行出来、す。大管長會の職も大祭司に任命されます。大祭司に任命されます。大祭司定員會はステキ部内の、この職に聖任されたすべての人を包含します。ステキ部内の大祭司はその数が何人であつても定員會と見なされます。彼らはその會員の中から選ばれた三人の會長會によつて管理されます。彼らは月に一度定員會の集會を開きます。けれどもそのステキ部の各ワード部に任じて居る定員會の會員たちは、グループを組織しグループ・リーダー、書記及び教師を持ちます。彼らは毎日曜の朝グループ集會をし、レッスンを受けます。彼らは定員會會長會から指示を受けます。

三、七十人定員會

六十人定員會は七十人の會員から成り立って居ります。七人が會長會に任命されます。このようにこの定員會はその數と組織に於て獨特であります。七十人と云うのは正常の數であつて若し少くとも三十六人の會員が居れば定員會と

見なされます。二つ又はそれ以上のワード部又は支部に及ぶ七十人は一人の七十人定員会を組織することが出来ます。彼らは各ワード部又は支部内で毎週グループとして合会し、定員会としては月例集会を持ちます。彼らは十二使徒会の指示の下に、全世界に福音を説くべく特別の証人として召されます。彼らの集会の様式は大祭司の集会と同様であります。

四、長老定員会

長老定員会は九十六人の会員を以て成立します。その内三人が会長会を組織します。屢々各ワード部に定員会を組織するに充分な程長老が居ります。若しワード部に四十九人の長老(九十六人の大半)が居れば定員会を組織することが出来ます。定員会は毎日曜の朝に集会を開きます。月に一度の集会は定員会の事務処理に当てられ、その他は勉強をします。

教会の方針はすべての長老が定員会に属すべきで或地域に充分な数がない時は、その境堺を調節することが出来ます。二つ又はそれ以上のワード部及び支部の長老たちが一つの長老定員会を組織出来ます。そのような場合、各ワード部の定員会の会員たちは七十人

及び大祭司の場合と同様に通常週、グループ集会をし、月に一度定員会の集会をします。

一般に長老と云う言葉はメルケゼデク神権を持つている如何なる人にも適用されます。屢々十二使徒を参照する場合にも使われます。七十人や大祭司の働らきの報告の時にはこれはよく用いられます。

ユニット(単位)

神権の組織に關連してユニットは二つの場合に使われます。

(一) ステーキ部内で七十人は要求される数より少くても定員会を組織することが出来る。要求される数は三十六か又はそれ以上でしょう。例えばステーキ部内に七十人が二十五人しか居ない場合、リーダーと二人の補助と書記を以てユニットを組織することが出来ます。

(二) 伝道部に於ては七十人のユニットは考えられないが長老のユニットは必要であるかも知れません。伝道部に於て長老が四十八人より少ない場合又は長距離の為、よく集会出来ない時は前述七十人の場合と同様の会長会を以てユニットを組織することが出来ます。七十人及び長老の

定員会のプログラムが大体に於てユニットでも行われます。

神権の目的

教会の使命と定員会の使命は同一であります。それは三つに分けられます。

(一) 伝道の仕事をし、福音のメッセージを全世界の人々にもたらす。

(二) 聖徒たちを完成する、神性な注告と指導の下に各個人の才能を充分に延ばすこと。

(三) 神殿の仕事を執行する、価値ある死者の定成の為に生きた者等と同様の機会を備える。

神権の定員会は、成人した兄弟たちを訓練し彼らが教会を授けてその神聖な使命を達成出来るようにする為に願わされた組織であります。

彼らの使命を完成さす為に定員会は四つの主要な目的を持って居ります。

(一) 福音の教義を教えることによつて福音の学校を促進する。

(二) 教会の為奉仕の機会を準備する。

(三) 定員会の全会員及びその家族の為に物的知的靈的福祉の為世話をする。

(四) すべての定員会員の為に社交

、体育などの行事を通じて充分に友情を養い、親睦をはかる。

神権の能力

ワシントン州のグラント・コウリー・ダムの上立に立つて素晴らしい水の流れを見つめる時、人はこの人造の滝の偉力に驚歎するであります。ダム内部でこの滝の自然力はタービンを廻し、それは発電機を回転して、驚くべき電力を生産するのであります。この力はアメリカ合衆国北西部の産業の動力となると同時に夜には多くの市街及び数千万の家庭の電燈を備えるのであります。この能力は人の才能の創造したものであります。この人の造った能力は神の神権と比べると取るに足らないものであります。けれども神は人の能力を人に授けることによって可能なものとなされました。この能力によつて世界は実在し、創造され、人それ自身生ける者となつたのですが、これが神権者の手の中にあるわけであります。神権は聖徒たちの福祉と完成の為に神聖な律法を通じて与えられたものであります。上記目的の内でメルケゼデク神権保持者の定員会に割当てられた主な任務は教会制度の運営を通じて聖徒たちを完成すること

であります。この運営は人々に作
用し、人々の行動に指示を与え、
人類家族が平和に共同生活する道
を開くであろう。

神権は教会及び神の王国の生命
の血管であります。それは無限の
知識、知恵、能力（勢力）経験及
びすべての神の子に対する神の愛
であります。神権保持者がその能
力を用いるに当っての唯一の制限
は、彼が福音の原則に生活し大い
なる救いの計画に就ての知識と理
解を持つこととあります。彼は彼
の義務を学ぶ怠惰であってはな
らないのであります。

前述した通り人は新しく且く永
遠の結婚誓約をした時にのみ神権
の全きを受けることが出来るので
あります。教義と聖約百三十一〇
二）このようにして女性は神権誓
約の祝福と栄えある約束に完全
にあずかることが出来るのであり
ます。でありますから彼女は福音の
知識を以て彼女の主人や息子さん
たちを授ける機会を持ち又彼ら
が神権の義務を果たすに当って課せら
れた必要なことを知って常に彼ら
の任務遂行の爲の靈感の根源とな
ることが出来るのであります。

参 考

教義と聖約 二十章 百七章

百二十七章
ウイツツオ・ジョン・A
と教会制度 十一章 十二章
十三章
タルメージ・ジェームス・E
信仰箇条の研究 十一章

考察の爲の考え

- 一、何時如何なる条件のもとに神
権定員会は設置されますか？
- 二、神権と教会制度の干渉如何？
- 三、人が神権を受けるに当っての
本質的な資格は何であるとと思
いますか？
- 四、何故神権の内にそのように広
範な分担、又は職及び召しが設
けられてあるのですか？
- 五、神権の作用に当って、その機
会に対する女性の責任は何でし
ようか？

編集だより

明治神宮にぬげる表参道の両側
の街路樹も、ほとんど葉が落ちて
しまつて、かれ枝の美しい模様を
空いっぱい描き出しています。

東京都の副都心といわれる渋谷に
近く、また昔ながらの山ノ風の
音が残っている、といわれるそん
な場所に東京中央支部の大きな純
日本風の屋敷があり、その庭の一
角に編集室があります。

先月原稿のべ切日

について書きました
が、「聖徒の道」を
編集し、製本し、発
送するまでどれぐら
いかかるか、ちよっ
とふれてみましょう。

五日にべ切つて九日まで、原稿
の整理、割りつけ、カットの製作
等の工程を終えて、十日に印刷屋
さんに渡します。これを入稿とい
います。

原稿を渡された印刷屋さんでは
凸版の製作、活字の植字といった
工程を通して、第一回目の校正が
できます。校正する印刷物のことを
ゲラといいますが、これがだいた
い十九日前後。



校正は原則として三校まで取り
（三回校正すること）再び印刷屋
さんに渡して、印刷、製本にかか
ります。そしてでき上るのが三十
一日。

これは毎月一日発行の原則が守
られる訳です。

発送には、約二日間かかり、二
日頃郵便局に持って行って、だい
たいその月の七日頃に支部に到着
する訳です。

これは順調にいった時のことで
一度どこかで狂つて
しまうと、一日発行
が、三日四日に延び
てしまいます。一日
でも早く支部に到着
するように努力をは
らっていますが、執
行者の御協力を願うしだいです。
(K)

▲支部だよりカットは東京西支部
の建物

2. Special Activity: *Word Games*

Suggestions: "Hangman," "Simon Says," "Spelling Bee"

3rd Week

1. Read and discuss the next story. Have the class repeat after you as you read sentence by sentence. Ask the class questions about the story to tell whether or not they understand the context.

2. Special Activity: *English in Music*

Listen to records or tapes. Select songs which are sung in a slow tempo. pause frequently and ask class if they can recognize words or phrases, and have them sing along with the music and mimic. Tapes from home, especially those with children's voices recorded could be used.

4th Week

1. Read last story and discuss briefly. Practice pronunciation by asking class to repeat after you. Discuss meanings of italicized words and ask class to use the words in other sentences.

2. Special Activity: *Thanksgiving Word Game*

This game is printed in the lesson plan and the answers can be filled-in. This game provides a good opportunity to talk about Thanksgiving, its customs, season of the year, etc.

Note: Some of the special activity suggestions may not be adaptable to your particular class or situation. However, there are several good suggestions given in previous editions which you may not have tried yet, or would like to try again. The "magic" ingredient in our "Success" recipe is imagination... try lots of it!

ENGLISH PLAN FOR NOVEMBER

To the Missionaries:

Let's "Share the Gospel" in English class by being better prepared. Here's a recipe to help cook'up more enthusiasm in class for the teacher and students.

Bofore proceeding open Seito no Michi and read suggested plan carefully. Then blend in with the Seito no Michi the following ingredients: *Promptness* and a *big smile* for smoother work; *PMA* for a higher quality product; and a dash of *imagination* for interest. For variety add a few *visual aids*. Serve with a word of personal *prayer*. The finished product is called "*success*".

P.S. Take finished product to MIA with you and share it with all. Don't forget to ask your class to go, too. If the product is good it may earn some STAKE-y rewards.

1st Week

1. Read the story in English and have members of class read it in Japanese. Read the first section and have the class repeat after you sentence by sentence. Then study the italicized words. Ask if there are any questions about the story.
2. Suggested Activity: This week's lesson is long, but if time permits, the following idea is suggested.

CALENDAR READING. Draw calendar on blackboard or on large piece of paper before class begins. Write in the days of the month, and the names of the days over the vertical columns, italicizing the *3rd* and *23rd* which are National holidays in Japan. The calendar can be used as a visual aid in teaching cardinal and ordinal numbers (ex. "on the first day of", "his birthday is November 15", etc.), and the days of the week. Japan's Culture Day and Labor Thanksgiving Day are good topics for discussion.

2nd Week

1. Read and discuss the second part of the first story. Have the class repeat after you as you read sentence or phrase. Study italicized words.

Ask class members to write in English as you *slowly* dictate to them from the story or other source. Dictate words, phrases, or sentences, according to class ability.

A Thanksgiving Guessing Game

COMPLETE EACH WORD



□ N □ □ □

□ O □ □



□ □ □ V □

□ □ □ E □



□ □ M □ □ □ □

□ □ B □ □



□ □ E □

□ □ □ R □ □



L. Holt

At once the sons set to work with *spade and pickax* upon the *long-neglected* fields, and they turned over every sod and clod upon the estate. They discovered no treasure, but they learned to *work!* And when the fields were *sown* and the *harvest* came, lo! the yield was *abundant* because the fields had been tilled so thoroughly. Then it was that the sons discovered the hidden treasure which the *wise* old father had left for them.

—Adapted from smiles' *Thrift*

M E M O

Secret of Success

3rd

Personal achievement is bought at the price of work and sacrifice.

Ask anyone, who has *reached the top in his field*, the secret of his success, whether it be art, music, sports, business, or medicine, and he will say the secret is work—good hard work, day after day of steady, constant practice. He will also say there is *joy and satisfaction* that comes through this effort.

THE SECRET OF CARUSO'S GREATNESS

The most *idolized* of tenors, Enrico Caruso, at one time stood trembling in the wings of the Metropolitan Opera House as he and Edith Mason waited for their entrance. Edith Mason was beginning her career, and Caruso was approaching the *tragic end* of his.

"Why, Caruso," she exclaimed unbelievably, "are you nervous?"

"Mason," he replied in utter sincerity, "other singers must sing 100 *per cent*. Caruso must sing 150."

To attain greatness a man must *excel*. And to *hold his position* he must keep right on excelling. When a man does a job superbly well, he sets a standard for himself that people expect him to live up to. They expect a Babe Ruth to knock home runs, a Joe Lewis to score *knockouts*, a Red Grange to make *touchdowns*, a Hemingway to write *masterpieces*, a Caruso to sing his heart out.

Getting to the top is a *tough assignment*; staying there is tougher. The secret of greatness is simple: Do better work than any man in your field . . . and keep on doing it. The price of being a *top-notch*er is terrific. Few of us are willing to pay it.

—*Friendly Adventure*

Work—The Hidden Treasure

4th

There was once an old farmer who called his three *idle* sons around him as he lay upon his deathbed, to give to them an important *secret*. "My sons, a great treasure lies hidden in the *estate* which I am about to leave you," the old man gasped.

"Where is it hidden?" exclaimed the sons in one breath.

"I am about to tell you," said the old man. "You will have to dig for it—" But his breath failed him before he could *reveal* his valuable secret, and he died.

English Plan for November

THE BOYS ON THE MAOUNTAIN

1st

The two boys decided to climb to the top of the rocky mountain. Here the *lava rock* rose two thousand feet above the Basin where they had camped all night.

At first the climb was fairly easy but then the ledges became *narrower*. Twice it seemed as if they could not go on, but each time as they were almost ready to *give up*, another thin ledge became apparent and the boys climbed slowly up the face of the rocky mountain. Then they realized they could not go back the way they had come. There was nothing else to do but go on. Doug, the older of the two, went ahead.

Suddenly the ledge on which Bill was standing began to crumble. He *grabbed* for a hold above him. *Somehow* his fingers caught into a narrow slit in the rock and he found himself *hanging by his hands* two hundred feet in the air. He yelled for help, but there was no answer. Every minute seemed like an hour as the boy clung desperately to the crack in the mountain. He tried to *call out* again to Doug, but the words caught in his throat. His fingers began to slip. Bill was filled with *panicky fear*.

2nd

And then there flashed through his mind the *memory* of his father whose last words before he died were about the *comfort and help* to be found in prayer. With the memory, the fear eased, and Bill began to pray. The sense of panic left as new strength came to him. He prayed that he could *hang on* until Doug reached him.

The slow seconds went by. Bill's arms and wrists and fingers were *numb* with the strain, but now *he seemed glued* to the ledge. Finally Bill felt someone pushing his feet upward until they were *anchored* in toeholds. In minutes Doug was pulling him to safety.

The sun was setting as the boys *inched* themselves to the rocky top. They found a path on the other side leading down off the mountain. Justice of the United States Supreme Court William O. Douglas had learned the meaning of prayer.

A true story retold by Lucile C. Reading

カルソの偉大さの秘密

テノールの神さまと偶像視されたエンリコ・カルソは曾てメトロポリタン・オペラ・ハウスの舞台側の控室でイデイス・メイソンと出演を待っていた時、ふるえて立っていました。イデイス・メイソンは出世し始めたところでしたがカルソはその業績の悲劇的終末に近づいていたのです。

“どうしたのです。カルソさん貴方は気をもんでいるのですか” 彼女は信じられないように叫びました。

“メイソンさん、他の歌手は百パーセント歌わなければなりません。カルソは百五十パーセント歌わなければなりません” 彼は極めてまじめに答えました。

偉大さに到達するには人は傑出せねばなりません。そして彼の地位を保持する為には、正にその傑出を保ち続けねばなりません。人がその仕事を優秀に為す時は、人々が彼に、そのように生きぬくことを期待する標準を彼自身の為を設定します。彼らはベープ・ルースにホームランを打つことを期待し、ジョー・ルイスに数多くのノックアウトを、レッド・グレンジにタッグダウン（ゴールに入れる）を、ヘミングウェイに傑作を、カルソに全心を以て歌うことを期待して居ります。

第一人者となるのは容易な任務ではありません。そしてその地位に留めることは更に困難であります。

偉大さの秘密は簡単であります。貴女の分野で誰よりも、よい働らきをしなさい。そしてそれを持続しなさい。

頂点を占めること（記録保持）の代価はものすごいです。私たちの間でそれを支払おうとする者は、わずかししか居りません。

第 四 週

かって一人の老農夫が居りました。彼は三人の怠惰な息子たちを臨終のベットに呼んで重要な秘密を与えました。 “息子たちよ、私がお前たちに遺そうとしている土地に大きな宝がかくされている” 老人は息切れた、“それは何処にかくされているのですか？” 息子たちは一息に叫びました。

“今告げるが……お前たちはそれを掘り出さなければならない……” けれども彼がその価値ある秘密を打ちあける前に息が止み死にました。

息子たちは直ちにスキとツルハシを持って長い間、ほったらかしていた畑で働らくことにしました。そして彼らはその土地のすべての芝生や土塊をひっくり返しました。彼らは宝を発見しませんでした。けれども彼らは働らくことを学びました。そして畑に種がまかれ収穫が来た時、見よ、その産物はあふれるばかりであったのです。何となれば畑は完全に耕されていたからであります。

そこで息子たちは賢明な老父が彼らの為に遺した、かくされた宝を発見したことになったわけであります。

山 上 の 少 年 たち

二人の少年が岩山の頂上に登ろうと決定しました。ここに彼らが夜を通してキャンプした盆地から二千呎も溶岩が聳え立っています。

最初は登ることは全く容易でありましたが、だんだん岩壁上の細道は狭くなって来ました。そしてその道は二度、彼らがそれより先に進めないように見えました。けれどもその都度、彼らが殆ど断念しようとしていた時に、他の細い道が、はっきりして来て、少年たちはゆっくりと岩山の面によじ登りました。そこで彼らは来た道に戻る事が出来ないことを自覚しました。そこには前進するより他に道はなかったのであります。二人の内の年長者であるダウグが先頭を進みました。

突然ピルの立っていた岩壁上の細道が崩れ始めました。彼は上の方のささえを求めて手をつかみました。彼の指は何とか狭い岩の裂け目につかみ入り、その手で二百フィートの高さの空間にぶらさがってしまったのです。彼は援けを求めて叫びましたが返事はありませんでした。山のひびにぶらさがった絶望的な少年にとって一分は一時間のように感ぜられました。彼は再びダウグを呼ぼうとしましたが言葉はのどにつまってしまいました。彼の指はすべり始めました。ピルは全くあわておののきました。

第 二 週

その時彼の心に父親が死ぬ前に最後に言った“祈りの中に慰めと授けが見出される”と言う言葉がひらめいた。その思出によっておそれはおさまりました。ピルは祈り始めました。ろうばいした感じは消え去り新しい力がわいて来ました。彼は祈ってダウグが彼の処に到達する迄、ぶらさがって居ることが出来たのです。

時のたつのがおそく感ぜられました。ピルの腕も手も指も張り切っていたのでしびれてしまいました。けれども、もう彼はその岩壁にくっついてしまったような気がしました。遂にピルは誰かが彼の足を押し上げて踏台にそのつま先を降ろしてくれたのを感じました。まもなくダウグは無事に彼を引き取りました。

少年たちが岩山の頂上にたどりついた時には日は沈みかかっていた。彼らは山の向う側に降りる道を見出しました。

アメリカ合衆国最高裁判所判事ウイリアム・オーダグラスは祈りの意味を学びました。
(ルシール・シー・リーディングによって聞き伝えられた実話)

第 三 週

個人の業績は働らきと犠牲の価によって買われます。

如何なる人でも彼の分野で頂点に到達した人に、それが芸術、音楽、スポーツ、事業又は医術の何れにせよ彼の成功の秘訣を、たずねてごらん下さい。彼はその秘訣は働らき一日に日をついで着実によく苦勞して働らく、不断の実習であると答えるでしょう。彼はまたこの努力からそこに喜びと満足がもたらされると言うでしょう。

教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本	1 1 0 0 円
教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	合本	3 0 0 円
モルモン経	(新訳)	3 0 0 円
信仰箇条の研究		3 3 0 円
モルモンとは?	(新版)	1 5 0 円
完成への道		2 0 0 円
初等協会教科書		1 5 0 円
総合聖句の手引		1 5 0 円
日本系図探究要覧		1 0 0 円
アロン神権者用学科課程		1 5 0 円
メルケゼデク神権、教師と生徒用 「モルモン経の読み方の手引」		2 0 0 円
ナザレのイエス		1 0 0 円
正しい日本史		1 0 0 円
家督権の祝福		1 0 0 円
料理の作り方		5 0 円
求道者教育法		1 2 0 円

日曜学校用

旧約聖書物語	1 5 0 円
家族の昇栄	2 0 0 円
福音の実践	2 0 0 円
奇しきみわざ	2 0 0 円
我等の標準聖典	2 0 0 円
古代の使徒	1 5 0 円
福音の紹介	2 0 0 円
シオン山の救い手たち	2 0 0 円
教義と聖約の教え	2 0 0 円

M I A 用

我らは奉仕する	1 5 0 円
生活の目標	1 5 0 円
モルモン経研究ガイド	1 0 0 円
M I A ・エンサイン・ローレルの手引	1 5 0 円
演説が上手になる法	1 5 0 円
素晴しき考え	2 0 0 円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	4 0 0 円
レクリエーション歌集	4 0 0 円

……………注文は各支部長へ……………

聖徒の道

1958年3月17日
 第3種郵便物認可第7卷第11号
 振替口座東京76226番

発行人兼編集人 ダウエン・N・アンダーセン
 発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
 北部極東伝道部
 東京都港区麻布広尾町14

支 部 所 在 地

北海道地方部
 旭川市八条五丁目
 MIA集会場 旭川公会堂
 電話(二一五五四)

室蘭市幸町八九
 電話(七〇五四)

小樽市富岡町一ノ三五
 電話(二一八二二四)

札幌市北三条西二四丁目
 電話(二一八二二四)

東中央地方部
 高崎市並榎町二七五
 甲府市山田町六三
 松本市同心町六一二
 新潟市中大畑町五五七
 電話(二一八六六〇)

仙台市光禪寺通り二八
 電話(二五〇八九七)

東京中央
 東京都港区青山北町六ノ三四
 電話(四〇八三三〇)

東京北
 東京都豊島区高田本町二ノ一四八七
 集会場 日曜学校 武蔵野ドレメ
 MIA 徳川生物研究所

東京東
 東京都江戸川区小岩町六一七八〇
 電話(六五七一五二三)

東京南
 東京都大田区南千束町二四九
 電話(七二九一六三一)

東京西
 東京都港区青山北町六ノ三四
 山形市七日町柳町一一八
 横浜市港北区篠原町二九
 (電話四九一八七七二)

西中央地方部
 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
 電話(六五一八三二七)

阿倍野
 福岡市西警固町三六一二
 電話(三六一二)

福岡
 広島市古田町古江四〇〇ノ三
 (電話三一六一三五)

金沢
 金沢市上胡桃町一一
 電話(七三二四二一〇)

京都
 京都市左京区松ヶ崎桜木町一四
 電話(七三二四二一〇)

名古屋
 名古屋市昭和区北山町三ノ四一
 電話(五一一四一)

岡宮
 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
 電話(二一一二二六)

岡山
 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
 電話(二一一二二六)

岡山市北方七〇

神戸市灘区篠原本町四ノ三五
 電話(八六一二六〇二)

山口県柳井市今市三九一

柳井
 沖繩宜野湾市野嵩区三二八
 沖繩那覇市松尾区一三九

普天間
 那覇

建築部事務所
 東京都港区青山北町六一三四(四〇二一四〇一〇)



↑ 横浜支部コーラス



この教会堂を建築したカトリック長老の話 →

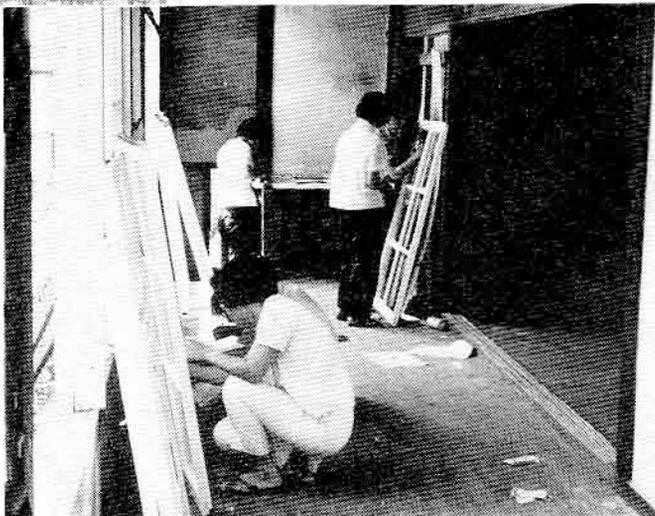


↑
きれいに整備なった教会堂

山形支部

新教会堂を整備し、静かな環境
のもとで集会が開かれるよう
になりました。

(支部だより参照)



作業中の会員たち →